

令和 3 （2021） 年度

人権に関する 市民意識調査報告書



日 田 市

は じ め に

日田市では、『日田市部落差別等をなくし人権を守る条例』及び『日田市人権施策基本計画』に基づき、「市民一人ひとりがお互いに人権を尊重し合う 明るく安心して暮らせる心豊かな共生社会の実現をめざして」を基本目標に掲げ、あらゆる機会を通じて、人権尊重の意識の醸成を図るため、人権教育・啓発に取り組んでまいりました。

平成8年からは5年ごとに、これまでの取組を検証するとともに新たな人権施策の推進に資することを目的として「人権に関する市民意識調査」を実施しており、今回、令和3年6月に実施した調査結果を本報告書にまとめました。

人権に関する課題は、今なお残る部落差別問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性的少数者などに対する偏見や差別、インターネット上での人権侵害、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷など、新たな人権問題も発生しており、人権をめぐる社会情勢はますます複雑化・深刻化しているため、より一層の取組が求められています。

今後も部落差別をはじめとするあらゆる差別を解消し、すべての人の基本的人権が尊重されるまちづくりを目指すとともに、SDGsの基本の理念である「誰一人取り残さない」地域社会の実現に向けて、この調査の結果を活用し、家庭や地域、学校や職場における人権教育・啓発の推進に努めてまいります。

最後に、今回の調査にご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、関係者の方に心から厚くお礼を申し上げますとともに、人権教育・啓発の推進につきまして一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年3月

日田市長 原 田 啓 介

	目次	ページ
1.	調査の概要	1
2.	回答者の構成	2
3.	調査結果の概要	
問1	新 人権の尊重意識	4
問2	関心のある人権問題	5
問3	人権宣言や法律等の認知度	6
問4	人権侵害の経験と内容	12
問5	人権侵害を受けた時の対応	14
問6	新 人権相談機関の認知度	15
問7	女性に関する人権で問題となる項目	16
問8	子どもに関する人権で問題となる項目	17
問9	高齢者に関する人権で問題となる項目	18
問10	障がい者に関する人権で問題となる項目	19
問11	外国人に関する人権で問題となる項目	20
問12	感染患者等に関する人権で問題となる項目	21
問13	性的少数者に関する人権で問題となる項目	22
問14	新 犯罪被害者等に関する人権問題で問題となる項目	23
問15	インターネット上の人権で問題となる項目	24
問16	新 インターネットによる人権侵害閲覧経験	25
問17	住まいを選ぶ際の条件	27
問18	部落差別問題の認知とその時期	30
問19	部落差別問題を知ったきっかけ	32
問20	部落差別問題について「初めて知ったとき」	33
問21	部落差別問題について「現在」	34
問22	部落差別問題に対する気持ちの変化のきっかけ	35
問23	部落差別問題の中で特に問題となる項目	36
問24	新 部落差別発言に出会った時の態度	37
問25	被差別地区の人とのつきあい「地区出身とわかった場合」	38
問26	被差別地区の人との結婚「自分の子どもの場合」	39
問27	被差別地区の人との結婚「自分の場合」	40
問28	部落差別問題に対する考え	41
問29	新 部落差別問題が存在する理由	42
問30	部落差別問題の解決方法	43
問31	被差別地区の人に対する差別意識	44
問32	被差別地区の人に対する就職や結婚差別はなくせるか	45
問33	被差別地区出身者と判断する理由	46
問34	学校等で受けた部落差別問題についての教育・啓発	47
問35	新 問34で受けた内容	50
問36	部落差別問題と今後の教育や啓発のあり方	51
問37	人権問題の解決と自分の関係	52
問38	研修会や講演会への参加状況	53
問39	研修会等に参加した内容についての印象	57
問40	研修会等に参加しなかった理由	58
問41	広報ひた、ホームページ等人権記事の閲覧状況	59
問42	「本人通知制度」の認知度	60
問43	新 人権の大切さを知ってもらうための方法	61
問44	自由意見	62
4.	まとめ	63
5.	クロス集計表 問2.3.5.6.17.20.21.24.30.37.42	73
6.	平成28年に施行された法律	
7.	差別をなくす日田市民集会宣言文	

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

6回目となる今回の調査は、これまでの人権教育・啓発の成果や問題点をより正確に把握するとともに、SDGsにおける「誰一人取り残さない」という理念を踏まえ、今後の本市におけるより適正かつ効果的な人権教育・啓発活動や施策の推進を図ることを目的に実施しました。

(2) 実施時期 令和3年6月10日から30日までの21日間

(3) 実施方法 配布：郵送
回収：郵送又はインターネット
今回の調査から、インターネットによる回答を導入

(4) 調査対象者 令和3年5月末現在の住民基本台帳に記載された18歳以上の1,200名（男女各600名）を対象
内訳は、居住地別に合併前の旧日田市から1,020名、旧郡部から180名とし、人口構成比により年代別に分けて下表のとおりとしました。

[調査対象者区分]

単位：人

区分	旧日田市		旧郡部		合計
	男	女	男	女	
18～29歳	56	56	7	7	126
30～39歳	57	57	6	6	126
40～49歳	77	77	9	8	171
50～59歳	75	74	12	13	174
60～69歳	90	90	20	19	219
70～79歳	84	84	19	19	206
80歳以上	71	72	17	18	178
合 計	510	510	90	90	1,200

(5) 抽出方法 住民登録者から上記内訳により無作為に抽出

(6) 調査票の回収状況

調査票の回収は677件でしたが、未記入が5件あり、有効回収数は672件でした。また、宛先不明による差し戻しが4件ありましたので、有効回収率は56.2%でした。

なお、郵送（紙）の回答は615件（91.5%）、インターネットによる回答は57件（8.5%）でした。

(7) 調査票の集計及び分析

調査票の集計及び分析は、「大分県人権問題調査研究会」（代表 吉良伸一 大分県立芸術文化短期大学名誉教授）に委託しました。なお、本報告書は研究会の報告書のデータを基に作成しています。

2. 回答者の構成

(1) 性別構成

区分	今回(R3)			前回(H28)			前々回(H23)		
	有効回答数	配布数	有効回収率	有効回答数	配布数	有効回収率	有効回答数	配布数	有効回収率
男 性	302	600	50.3	288	600	48.0	195	600	32.5
女 性	358	600	59.7	304	600	50.7	245	600	40.8
答えることに抵抗を感じる	7	-	1.2	-	-	-	-	-	-
性別無記入	5	-	0.8	12	-	-	15	-	-
合 計	672	1,200	56.2	604	1,200	50.6	455	1,200	39.6

※有効回収率の合計は配布数から宛先不明（4）を差引し除しているもの

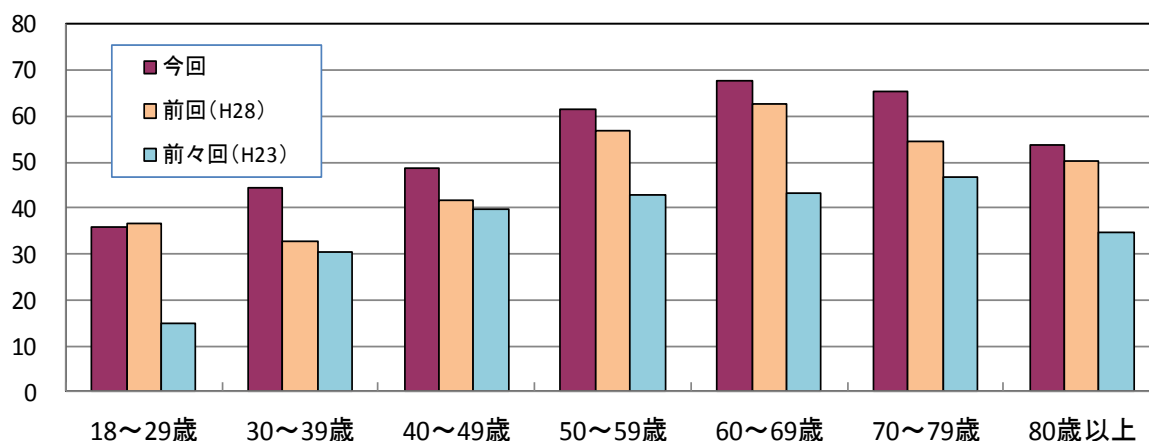
前回と比べた有効回収率は全体で5.6ポイント上がり、男性は2.3ポイント高く、女性は9.0ポイント高くなっています。また、今回から、男女以外の項目を設定しています。
性別の有効回収率は、前回同様に女性が男性よりも高くなっています。

(2) 年代別構成

区分	今回(R3)			前回(H28)			前々回(H23)		
	有効回答数	配布数	有効回収率	有効回答数	配布数	有効回収率	有効回答数	配布数	有効回収率
18～29歳	45	126	35.7	42	115	36.5	19	126	15.1
30～39歳	56	126	44.4	48	147	32.7	50	164	30.5
40～49歳	83	171	48.5	72	173	41.6	65	164	39.6
50～59歳	107	174	61.5	105	185	56.8	88	206	42.7
60～69歳	148	219	67.6	152	242	62.8	93	216	43.1
70～79歳	135	206	65.5	93	171	54.4	84	180	46.7
80歳以上	96	178	53.9	84	167	50.3	50	144	34.7
不 明	2	-	-	8	-	-	6	-	-
合 計	672	1,200	56.2	604	1,200	50.6	455	1,200	39.6

※今回（令和3年度）から、対象年齢を満20歳以上から満18歳以上に引き下げています。

有効回収率



調査結果の表の見方

- ※ 本書の表等の単位は、「回答数」は「人数」、その他は「割合 (%)」を表しています。
- ※ 本書の表等の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答を求めている設問では合計の比率が100%を超えています。
- ※ 調査結果を本文中で説明する場合には、設問の質問及び選択肢については、その内容に沿ってできるだけ簡略化した表記としています。
- ※ 本書の表中の「－」表示は、項目やデータが無いことを表示しています。
- ※ 本書の表中の  は、選択肢の中で回答率第1位を表示しています。(無回答を除く)
- ※ 「抵抗を感じる」と答えた人についても、回答率第1位の表示をしていますが、回答数が7人と少なく、1つの回答に対する割合(%)が高くなるため、個別の説明は省いています。
- ※ 大分県調査結果(H30)を表示していますが、複数選択項目や質問表現等において、県と市の形式に相違があるため、説明は省いています。
- ※ **新**の表示は、今回新規で追加しているものです。

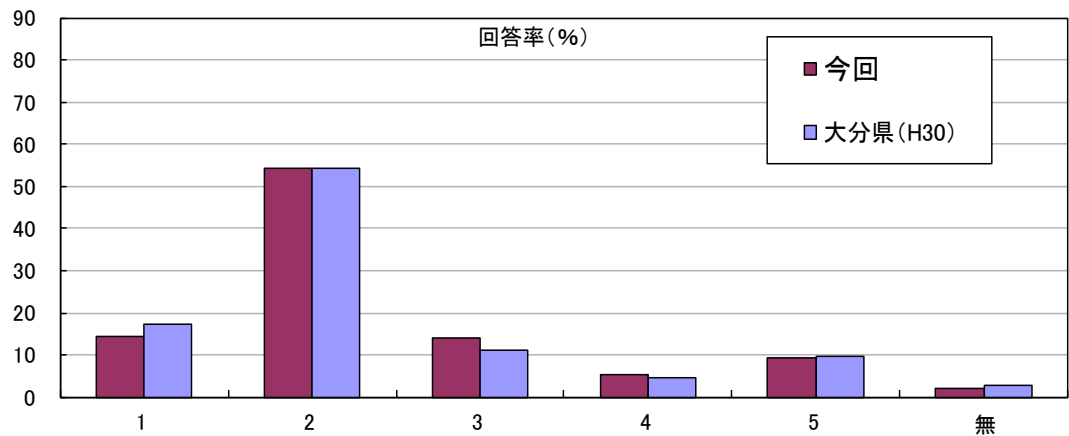
クロス集計について

- ※ 今回の報告書では、性別や年代別のほか、関心のある人権問題、法律等の認知度、人権侵害を受けたときの対応、部落差別問題に関する対応、人権問題の解決方法等について、「人権に関する研修会・講演会への参加」並びに「広報ひたや市ホームページ等の「人権コラム」を読んだことがあるか」の質問とクロス集計を行い、統計学的に特に有意な(偶然起きたものと考えにくいもの)関連があるものについて記述しています。よって、表中の割合(%)の高低と一致するものではありません。

3. 調査結果の概要

問1 あなたは、今の日本で、人権は尊重されていると思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○をつけてください）

新

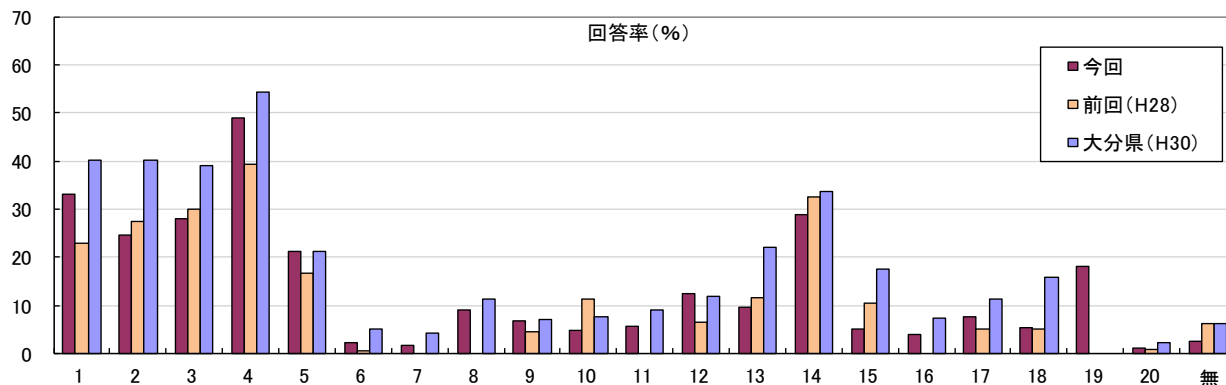


項目	1	2	3	4	5	無
回答内容	い尊重 重さ と思れ うて	とさいど 思れえち うてばら い尊か る重と	いさいど とれえち 思てばら うい尊か な重と	うい尊 な重 いさ とれ 思て	わ か ら な い	無 回 答
回答数	97	366	95	36	63	15
回答率 (%)	14.4	54.5	14.1	5.4	9.4	2.2
大分県 (H30)	17.3	54.5	11.2	4.7	9.6	2.8
男性	18.9	55.3	11.9	5.0	7.9	1.0
女性	11.2	54.5	16.2	5.3	10.1	2.8
抵抗を感じる	0.0	28.6	0.0	28.6	42.9	0.0
無記入	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0
18～29歳	17.8	53.3	13.3	2.2	13.3	0.0
30～39歳	12.5	57.1	14.3	8.9	7.1	0.0
40～49歳	8.4	57.8	19.3	3.6	10.8	0.0
50～59歳	15.0	57.9	13.1	5.6	6.5	1.9
60～69歳	10.8	55.4	17.6	5.4	8.8	2.0
70～79歳	11.9	57.8	9.6	6.7	10.4	3.7
80歳以上	28.1	41.7	12.5	4.2	10.4	3.1

【結果】

- ①「どちらかといえば尊重されていると思う」が高く、次いで「尊重されていると思う」、「どちらかといえば尊重されていないと思う」の順となっています。
- ②性別、年代別でも「どちらかといえば尊重されていると思う」が高くなっています。

問2 日本の社会には、人権に関わるさまざまな問題がありますが、あなたは、どの人権問題に関心がありますか。（あてはまる番号に3つまで○をつけてください）



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	無
回答内容	女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題	アイヌの人々	中国帰国者（中国在留邦人）	在日韓国人・朝鮮人	外国人	H I V 感染者等	ハンセン病患者・元患者	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族	インターネットなどによる人権侵害	拉致された被害者等	北朝鮮当局によって	性的少数者	東日本大震災やそれに伴う福島原発事故の被害者	新型コロナウイルス感染者等	その他	無回答
回答数	223	165	189	329	143	15	11	61	45	33	38	83	64	195	34	27	52	36	122	8	17
回答率(%)	33.2	24.6	28.1	49.0	21.3	2.2	1.6	9.1	6.7	4.9	5.7	12.4	9.5	29.0	5.1	4.0	7.7	5.4	18.2	1.2	2.5
前回 (H28)	22.8	27.5	30.0	39.4	16.6	0.7	-	-	4.6	11.3	-	6.5	11.6	32.5	10.6	-	5.0	5.1	-	0.8	6.1
大分県 (H30)	40.3	40.3	39.1	54.4	21.1	5.0	4.2	11.4	7.1	7.7	9.1	11.8	22.0	33.6	17.5	7.4	11.4	16.0	-	2.2	6.1
男性	26.8	20.2	26.2	47.7	26.8	2.0	1.7	11.3	8.6	4.3	7.6	12.3	10.3	27.8	4.6	5.3	6.6	5.3	18.9	1.0	3.0
女性	38.5	28.2	30.4	50.3	16.8	2.5	1.7	7.5	5.0	5.6	3.9	12.6	9.2	30.7	5.6	3.1	8.7	5.6	17.9	1.4	1.4
抵抗を感じる	42.9	42.9	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
無記入	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0
18～29歳	46.7	24.4	8.9	46.7	8.9	2.2	2.2	8.9	22.2	2.2	2.2	6.7	6.7	26.7	0.0	2.2	20.0	4.4	22.2	0.0	2.2
30～39歳	48.2	32.1	12.5	42.9	16.1	3.6	3.6	8.9	8.9	1.8	5.4	5.4	16.1	48.2	3.6	5.4	17.9	5.4	19.6	3.6	0.0
40～49歳	36.1	24.1	21.7	45.8	19.3	3.6	2.4	12.0	8.4	3.6	3.6	14.5	7.2	38.6	1.2	6.0	13.3	3.6	22.9	0.0	0.0
50～59歳	43.9	30.8	16.8	50.5	23.4	0.9	1.9	8.4	9.3	3.7	4.7	11.2	14.0	44.9	3.7	2.8	9.3	4.7	24.3	1.9	0.9
60～69歳	31.8	22.3	27.7	55.4	25.7	2.7	2.0	8.1	2.7	7.4	7.4	12.8	9.5	25.7	4.1	2.0	3.4	4.1	16.9	0.7	2.0
70～79歳	24.4	23.7	35.6	48.9	20.7	2.2	0.7	9.6	4.4	5.9	5.9	12.6	5.9	19.3	7.4	4.4	2.2	8.1	13.3	1.5	3.7
80歳以上	18.8	18.8	55.2	45.8	24.0	1.0	0.0	8.3	3.1	5.2	7.3	17.7	9.4	12.5	11.5	6.3	4.2	6.3	13.5	1.0	5.2

* 大分県調査は回答の選択数が違うため、日田市の調査結果より全体的に割合が高くなっています。

* 項目17の内訳は、性的指向は7.4%、性同一性障害は9.4%となっています。

【結果】

- ①関心のある人権問題は、「障がい者」が49.0%と最も高く、次いで「女性」、「インターネット」の順となっています。
- ②性別・年代別でも、「障がい者」への関心は前回同様に高く、29歳以下で「障がい者」と「女性」が同率で高く、30歳代の関心は「女性」と「インターネット」が同率で高くなっています。また、80歳以上では「高齢者」の関心が高くなっています。

※クロス集計表(問2)が巻末にあります (P73)

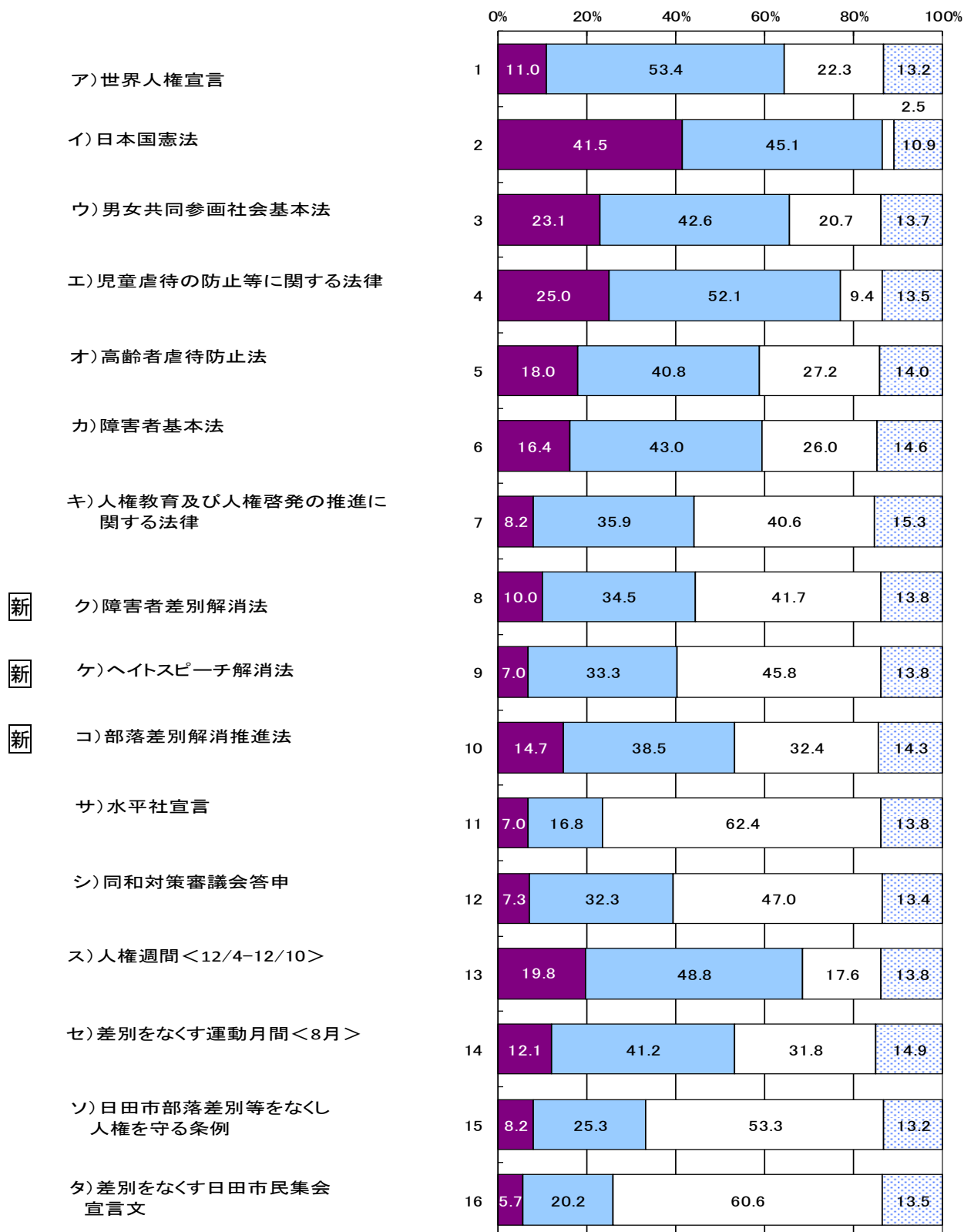
問3 あなたは、次の人権に関する宣言や法律などについてどの程度ご存じですか。(ア～タのそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

■ 内容を
知っている

□ 名前だけ
知っている

□ 名前も
知らない

□ 無回答



ア 世界人権宣言

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前だけ知っている	名前も知らない	無回答
回答数	74	359	150	89
回答率(%)	11.0	53.4	22.3	13.2
前回(H28)	17.7	46.0	20.2	16.1
男性	9.6	55.0	23.5	11.9
女性	11.7	52.5	21.8	14.0
抵抗を感じる	42.9	28.6	14.3	14.3
無記入	0.0	60.0	0.0	40.0
18～29歳	11.1	71.1	13.3	4.4
30～39歳	19.6	48.2	25.0	7.1
40～49歳	8.4	68.7	21.7	1.2
50～59歳	13.1	58.9	24.3	3.7
60～69歳	8.8	58.1	26.4	6.8
70～79歳	10.4	48.1	17.8	23.7
80歳以上	10.4	29.2	24.0	36.5

イ 日本国憲法

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前だけ知っている	名前も知らない	無回答
回答数	279	303	17	73
回答率(%)	41.5	45.1	2.5	10.9
前回(H28)	56.1	26.7	3.8	13.4
男性	43.7	43.0	2.3	10.9
女性	39.4	47.5	2.8	10.3
抵抗を感じる	71.4	14.3	0.0	14.3
無記入	20.0	40.0	0.0	40.0
18～29歳	53.3	42.2	0.0	4.4
30～39歳	57.1	35.7	0.0	7.1
40～49歳	45.8	49.4	3.6	1.2
50～59歳	56.1	42.1	1.9	0.0
60～69歳	34.5	58.8	1.4	5.4
70～79歳	31.1	45.9	3.7	19.3
80歳以上	32.3	30.2	5.2	32.3

ウ 男女共同参画社会基本法

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前だけ知っている	名前も知らない	無回答
回答数	155	286	139	92
回答率(%)	23.1	42.6	20.7	13.7
前回(H28)	28.1	32.6	22.0	17.2
男性	23.8	43.4	19.9	12.9
女性	22.1	42.7	21.2	14.0
抵抗を感じる	57.1	14.3	14.3	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	44.4	44.4	6.7	4.4
30～39歳	37.5	46.4	10.7	5.4
40～49歳	19.3	48.2	31.3	1.2
50～59歳	26.2	43.9	26.2	3.7
60～69歳	18.9	50.0	24.3	6.8
70～79歳	20.7	37.0	15.6	26.7
80歳以上	14.6	30.2	18.8	36.5

エ 児童虐待の防止等に関する法律

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前だけ知っている	名前も知らない	無回答
回答数	168	350	63	91
回答率(%)	25.0	52.1	9.4	13.5
前回(H28)	28.8	41.7	13.6	15.9
男性	24.2	51.3	11.3	13.2
女性	26.0	53.1	7.3	13.7
抵抗を感じる	28.6	28.6	28.6	14.3
無記入	0.0	60.0	20.0	20.0
18～29歳	35.6	44.4	15.6	4.4
30～39歳	35.7	42.9	14.3	7.1
40～49歳	21.7	67.5	9.6	1.2
50～59歳	26.2	61.7	9.3	2.8
60～69歳	26.4	58.8	8.1	6.8
70～79歳	23.0	47.4	5.2	24.4
80歳以上	16.7	34.4	10.4	38.5

オ 高齢者虐待防止法

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容 を知る	知名 つ前 てだ いける	ない 名前 も知 ら	無 回答
回答数	121	274	183	94
回答率(%)	18.0	40.8	27.2	14.0
前回(H28)	22.5	38.4	22.2	16.9
男性	14.9	39.7	31.8	13.6
女性	20.9	42.2	22.9	14.0
抵抗を感じる	14.3	28.6	42.9	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	17.8	44.4	33.3	4.4
30～39歳	26.8	35.7	30.4	7.1
40～49歳	12.0	47.0	38.6	2.4
50～59歳	17.8	44.9	33.6	3.7
60～69歳	16.9	52.7	25.0	5.4
70～79歳	21.5	32.6	19.3	26.7
80歳以上	15.6	26.0	19.8	38.5

カ 障害者基本法

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容 を知る	知名 つ前 てだ いける	ない 名前 も知 ら	無 回答
回答数	110	289	175	98
回答率(%)	16.4	43.0	26.0	14.6
前回(H28)	20.0	34.3	28.6	17.1
男性	14.9	44.0	27.2	13.9
女性	17.9	42.2	25.1	14.8
抵抗を感じる	14.3	57.1	14.3	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	24.4	46.7	24.4	4.4
30～39歳	25.0	33.9	33.9	7.1
40～49歳	12.0	54.2	32.5	1.2
50～59歳	19.6	44.9	32.7	2.8
60～69歳	12.2	57.4	23.6	6.8
70～79歳	17.0	36.3	19.3	27.4
80歳以上	13.5	22.9	21.9	41.7

キ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容 を知る	知名 つ前 てだ いける	ない 名前 も知 ら	無 回答
回答数	55	241	273	103
回答率(%)	8.2	35.9	40.6	15.3
前回(H28)	11.1	27.2	43.2	18.5
男性	8.3	36.4	41.4	13.9
女性	7.8	36.3	39.7	16.2
抵抗を感じる	28.6	0.0	57.1	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	8.9	37.8	48.9	4.4
30～39歳	16.1	30.4	44.6	8.9
40～49歳	7.2	33.7	57.8	1.2
50～59歳	10.3	41.1	45.8	2.8
60～69歳	5.4	44.6	41.2	8.8
70～79歳	6.7	33.3	31.9	28.1
80歳以上	8.3	25.0	25.0	41.7

新

ク 障害者差別解消法

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容 を知る	知名 つ前 てだ いける	ない 名前 も知 ら	無 回答
回答数	67	232	280	93
回答率(%)	10.0	34.5	41.7	13.8
前回(H28)	—	—	—	—
男性	9.6	34.1	43.7	12.6
女性	10.1	35.8	39.7	14.5
抵抗を感じる	28.6	0.0	57.1	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	15.6	40.0	40.0	4.4
30～39歳	14.3	33.9	46.4	5.4
40～49歳	8.4	38.6	51.8	1.2
50～59歳	8.4	34.6	55.1	1.9
60～69歳	8.8	40.5	43.9	6.8
70～79歳	11.1	31.1	31.1	26.7
80歳以上	8.3	25.0	27.1	39.6

新

ケ ヘイトスピーチ解消法

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容を 知っている	知名 前つ でい ける	ない 名前 も知 ら	無 回 答
回答数	47	224	308	93
回答率(%)	7.0	33.3	45.8	13.8
前回(H28)	—	—	—	—
男性	7.9	37.1	42.1	12.9
女性	5.9	30.7	49.2	14.2
抵抗を感じる	28.6	28.6	28.6	14.3
無記入	0.0	0.0	60.0	40.0
18～29歳	6.7	46.7	40.0	6.7
30～39歳	10.7	39.3	42.9	7.1
40～49歳	9.6	37.3	51.8	1.2
50～59歳	8.4	43.9	45.8	1.9
60～69歳	8.1	35.1	50.7	6.1
70～79歳	3.7	27.4	43.7	25.2
80歳以上	4.2	14.6	40.6	40.6

新

コ 部落差別解消推進法

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容を 知っている	知名 前つ でい ける	ない 名前 も知 ら	無 回 答
回答数	99	259	218	96
回答率(%)	14.7	38.5	32.4	14.3
前回(H28)	—	—	—	—
男性	15.6	40.1	31.1	13.2
女性	13.7	37.7	33.8	14.8
抵抗を感じる	42.9	14.3	28.6	14.3
無記入	0.0	40.0	20.0	40.0
18～29歳	15.6	40.0	37.8	6.7
30～39歳	19.6	35.7	35.7	8.9
40～49歳	10.8	44.6	43.4	1.2
50～59歳	16.8	36.4	44.9	1.9
60～69歳	16.2	48.0	28.4	7.4
70～79歳	13.3	36.3	24.4	25.9
80歳以上	12.5	26.0	21.9	39.6

サ 水平社宣言

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容を 知っている	知名 前つ でい ける	ない 名前 も知 ら	無 回 答
回答数	47	113	419	93
回答率(%)	7.0	16.8	62.4	13.8
前回(H28)	9.9	13.1	59.9	17.1
男性	6.0	19.5	61.6	12.9
女性	7.3	14.8	63.7	14.2
抵抗を感じる	42.9	0.0	42.9	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	13.3	26.7	53.3	6.7
30～39歳	12.5	32.1	50.0	5.4
40～49歳	6.0	18.1	74.7	1.2
50～59歳	9.3	20.6	69.2	0.9
60～69歳	6.1	11.5	75.7	6.8
70～79歳	5.2	11.9	57.0	25.9
80歳以上	3.1	13.5	42.7	40.6

シ 同和対策審議会答申

項目	1	2	3	無
回答内容	て内容を 知っている	知名 前つ でい ける	ない 名前 も知 ら	無 回 答
回答数	49	217	316	90
回答率(%)	7.3	32.3	47.0	13.4
前回(H28)	9.9	25.8	46.0	18.2
男性	7.6	32.5	47.0	12.9
女性	6.4	32.7	47.5	13.4
抵抗を感じる	42.9	0.0	42.9	14.3
無記入	0.0	40.0	20.0	40.0
18～29歳	4.4	15.6	71.1	8.9
30～39歳	8.9	26.8	57.1	7.1
40～49歳	8.4	25.3	65.1	1.2
50～59歳	8.4	36.4	54.2	0.9
60～69歳	6.1	44.6	42.6	6.8
70～79歳	7.4	32.6	35.6	24.4
80歳以上	7.3	26.0	29.2	37.5

ス 人権週間＜12月4日～10日＞

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前が前まで知られていた	名前が前まで知られていない	無回答
回答数	133	328	118	93
回答率(%)	19.8	48.8	17.6	13.8
前回(H28)	30.8	37.4	14.7	17.1
男性	17.5	49.3	19.9	13.2
女性	21.8	48.3	15.9	14.0
抵抗を感じる	28.6	42.9	14.3	14.3
無記入	0.0	60.0	0.0	40.0
18～29歳	13.3	40.0	40.0	6.7
30～39歳	35.7	35.7	23.2	5.4
40～49歳	13.3	66.3	19.3	1.2
50～59歳	28.0	54.2	16.8	0.9
60～69歳	18.9	62.8	11.5	6.8
70～79歳	16.3	40.7	15.6	27.4
80歳以上	16.7	29.2	15.6	38.5

セ 差別をなくす運動月間＜8月＞

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前が前まで知られていた	名前が前まで知られていない	無回答
回答数	81	277	214	100
回答率(%)	12.1	41.2	31.8	14.9
前回(H28)	15.1	29.3	37.9	17.7
男性	10.3	41.7	33.8	14.2
女性	13.7	41.1	30.2	15.1
抵抗を感じる	14.3	28.6	42.9	14.3
無記入	0.0	40.0	20.0	40.0
18～29歳	6.7	35.6	53.3	4.4
30～39歳	14.3	42.9	35.7	7.1
40～49歳	7.2	59.0	32.5	1.2
50～59歳	20.6	45.8	32.7	0.9
60～69歳	13.5	48.0	31.1	7.4
70～79歳	11.1	32.6	28.9	27.4
80歳以上	7.3	25.0	22.9	44.8

ソ 日田市部落差別等をなくし人権を守る条例

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前が前まで知られていた	名前が前まで知られていない	無回答
回答数	55	170	358	89
回答率(%)	8.2	25.3	53.3	13.2
前回(H28)	8.8	23.0	51.7	16.6
男性	8.6	21.2	57.9	12.3
女性	7.8	29.3	49.2	13.7
抵抗を感じる	14.3	0.0	71.4	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	6.7	6.7	80.0	6.7
30～39歳	8.9	19.6	64.3	7.1
40～49歳	3.6	22.9	72.3	1.2
50～59歳	12.1	27.1	59.8	0.9
60～69歳	7.4	32.4	54.1	6.1
70～79歳	8.1	28.1	41.5	22.2
80歳以上	9.4	22.9	26.0	41.7

タ 差別をなくす日田市民集会宣言文

項目	1	2	3	無
回答内容	知っている内容を知っている	名前が前まで知られていた	名前が前まで知られていない	無回答
回答数	38	136	407	91
回答率(%)	5.7	20.2	60.6	13.5
前回(H28)	4.0	18.9	59.4	17.7
男性	6.3	16.2	64.6	12.9
女性	5.0	24.0	57.3	13.7
抵抗を感じる	14.3	0.0	71.4	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	4.4	11.1	77.8	6.7
30～39歳	8.9	12.5	71.4	7.1
40～49歳	2.4	21.7	74.7	1.2
50～59歳	8.4	22.4	68.2	0.9
60～69歳	5.4	23.6	64.9	6.1
70～79歳	5.2	20.0	51.1	23.7
80歳以上	5.2	20.8	32.3	41.7

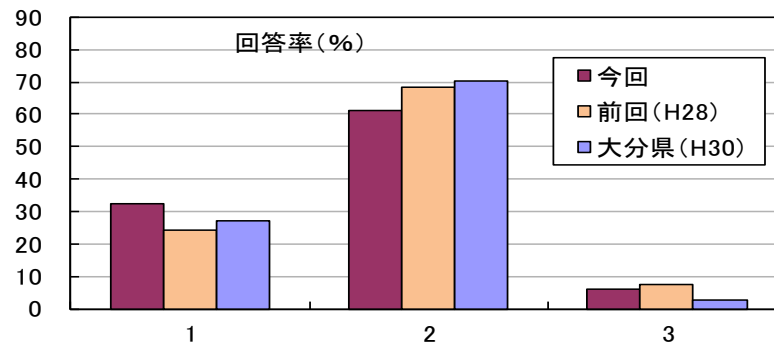
【結果】

- ①「内容を知っている」は「日本国憲法」が41.5%と高く、次いで「児童虐待の防止等に関する法律」が25.0%、「男女共同参画社会基本法」が23.1%の順となっています。
- 「名前だけ知っている」は、「世界人権宣言」が53.4%と高く、次いで「児童虐待の防止等に関する法律」が52.1%、「人権週間」が48.8%の順となっています。
- 「名前も知らない」は、「水平社宣言」が62.4%と高く、次いで「差別をなくす日田市民集会宣言文」が60.6%、「日田市部落差別等をなくし人権を守る条例」が53.3%の順となっています。
- ②性別・全年代においても、全体の傾向とほぼ同様です。
- ③前回調査では「知っている」との回答選択項目でしたが、今回「内容を知っている」としたことにより、全体的に「内容を知っている」の回答率が低くなり、「名前だけ知っている」と答えた人の割合が高くなっています。
- 世界人権宣言、日本国憲法、男女共同参画社会基本法、児童虐待の防止等に関する法律、高齢者虐待防止法、障害者基本法、部落差別解消推進法、人権週間、差別をなくす運動月間は、「名前だけ知っている」が高くなっています。
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、水平社宣言、同和対策審議会答申、日田市部落差別等をなくし人権を守る条例、差別をなくす日田市民集会宣言文は、「名前も知らない」が高くなっています。

※クロス集計表(問3)は巻末にあります(P74~77)

問 4-1 あなたは今までに自己的人権が侵害されたと感じたことがありますか。

(人権侵害された経験)



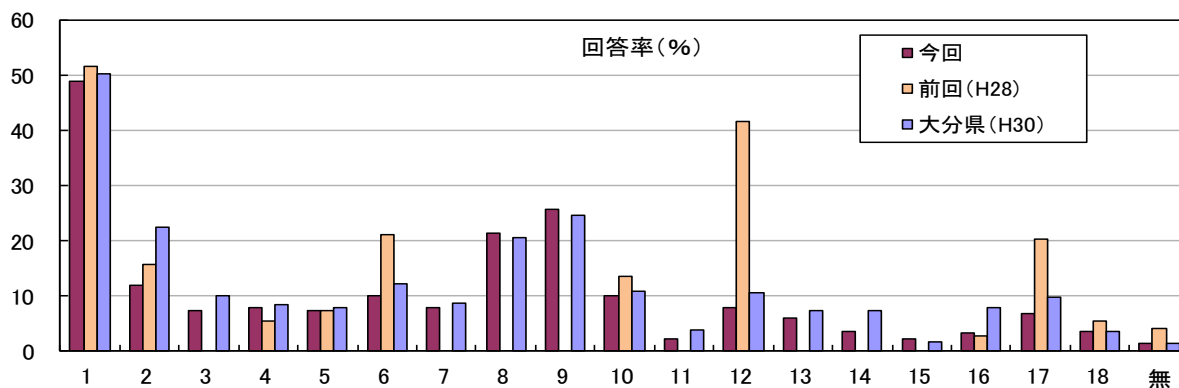
項目	1	2	無
回答内容	ある	ない	無回答
回答数	219	412	41
回答率(%)	32.6	61.3	6.1
前回(H28)	24.3	68.4	7.3
大分県(H30)	27.3	70.2	2.5
男性	28.5	64.2	7.3
女性	35.8	58.9	5.3
抵抗を感じる	42.9	57.1	0.0
無記入	40.0	60.0	0.0
18～29歳	26.7	73.3	0.0
30～39歳	39.3	60.7	0.0
40～49歳	43.4	54.2	2.4
50～59歳	34.6	65.4	0.0
60～69歳	31.8	62.8	5.4
70～79歳	31.1	58.5	10.4
80歳以上	22.9	59.4	17.7

【結果】

- ①人権侵害されたことが「ない」が61.3%と高くなっていますが、前回と比べて減少し、「ある」が増加しています。
- ②性別や全年代においても、「ない」が高くなっています。

問4-2 (問4-1で)「ある」と答えた人は、どのような内容でしたか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

(人権侵害の内容)

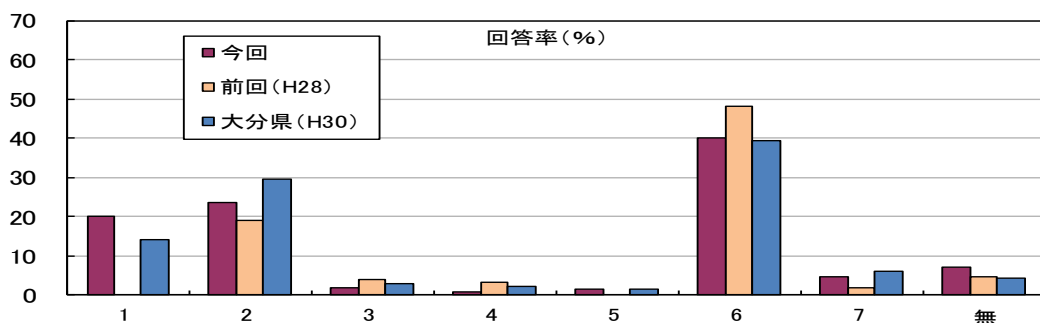


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	無
回答内容	口、あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用の毀損、侮辱	扱い	警察官等の公務員の不当な暴力、脅迫、強要等	悪臭や騒音などの生活妨害	差別待遇(就職や結婚等で不平等や不利益)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	時間外労働の強制等	社会福祉施設職員による不当な扱い	ブライバシーの侵害	セクシャルハラスメント	ドメスティックバイオレンス	児童虐待	その他	なんとなく差別されているような感じ	答えたくない	無回答
回答数	107	26	16	17	16	22	17	47	56	22	5	17	13	8	5	7	15	8	3
回答率(%)	48.9	11.9	7.3	7.8	7.3	10.0	7.8	21.5	25.6	10.0	2.3	7.8	5.9	3.7	2.3	3.2	6.8	3.7	1.4
前回(H28)	51.7	15.6	-	5.4	7.5	21.1	-	-	-	13.6	-	41.5	-	-	-	2.7	20.4	5.4	4.1
大分県(H30)	50.3	22.4	10.1	8.4	7.9	12.3	8.6	20.6	24.6	10.8	4.0	10.6	7.3	7.3	1.7	7.9	9.7	3.5	1.5
男性	45.3	11.6	10.5	9.3	7.0	8.1	5.8	24.4	19.8	10.5	0.0	8.1	1.2	1.2	2.3	2.3	8.1	7.0	1.2
女性	51.6	11.7	4.7	7.0	7.8	10.9	8.6	20.3	30.5	9.4	3.9	7.0	9.4	5.5	1.6	3.1	5.5	1.6	1.6
抵抗を感じる	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
無記入	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	83.3	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	8.3	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
30～39歳	50.0	0.0	4.5	9.1	4.5	13.6	0.0	22.7	18.2	13.6	4.5	4.5	9.1	0.0	4.5	13.6	18.2	9.1	0.0
40～49歳	52.8	13.9	8.3	11.1	5.6	5.6	0.0	30.6	27.8	19.4	0.0	8.3	5.6	2.8	2.8	5.6	2.8	0.0	0.0
50～59歳	48.6	21.6	5.4	8.1	16.2	10.8	2.7	32.4	45.9	13.5	5.4	10.8	5.4	5.4	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0
60～69歳	51.1	8.5	12.8	12.8	2.1	6.4	8.5	14.9	25.5	8.5	2.1	6.4	6.4	4.3	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0
70～79歳	42.9	14.3	4.8	0.0	9.5	9.5	14.3	16.7	14.3	2.4	2.4	9.5	2.4	4.8	2.4	2.4	9.5	7.1	2.4
80歳以上	27.3	4.5	4.5	0.0	9.1	18.2	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	4.5	4.5	4.5	0.0	13.6	4.5	9.1

【結果】

- ① 「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が48.9%と高く、次いで「職場での嫌がらせ」、「学校でのいじめ」の順となっています。
- ②性別では、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、すべての年代で「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が高くなっています。

問5 問4で、「ある」と答えた人におたずねします。そのとき、あなたはどのようなことをしましたか。（あてはまる番号に1つだけ○をつけてください）



項目	1	2	3	4	5	6	7	無
回答内容	相手に抗議した	身近な人に相談した	相談機関に相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	抗議も相談もしなかった	その他	無回答
回答数	44	52	4	2	3	88	10	16
回答率(%)	20.1	23.7	1.8	0.9	1.4	40.2	4.6	7.3
前回(H28)	—	19.0	4.1	3.4	—	48.3	2.0	4.8
大分県(H30)	14.1	29.5	2.8	2.4	1.5	39.3	6.1	4.4
男性	19.8	18.6	2.3	1.2	2.3	41.9	8.1	5.8
女性	19.5	28.1	1.6	0.8	0.8	39.1	2.3	7.8
抵抗を感じる	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無記入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
18～29歳	0.0	66.7	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0
30～39歳	18.2	18.2	4.5	4.5	0.0	45.5	9.1	0.0
40～49歳	25.0	8.3	2.8	0.0	0.0	52.8	8.3	2.8
50～59歳	32.4	13.5	0.0	0.0	0.0	54.1	0.0	0.0
60～69歳	14.9	34.0	0.0	0.0	2.1	42.6	0.0	6.4
70～79歳	19.0	23.8	2.4	0.0	2.4	31.0	7.1	14.3
80歳以上	18.2	27.3	0.0	4.5	4.5	18.2	4.5	22.7

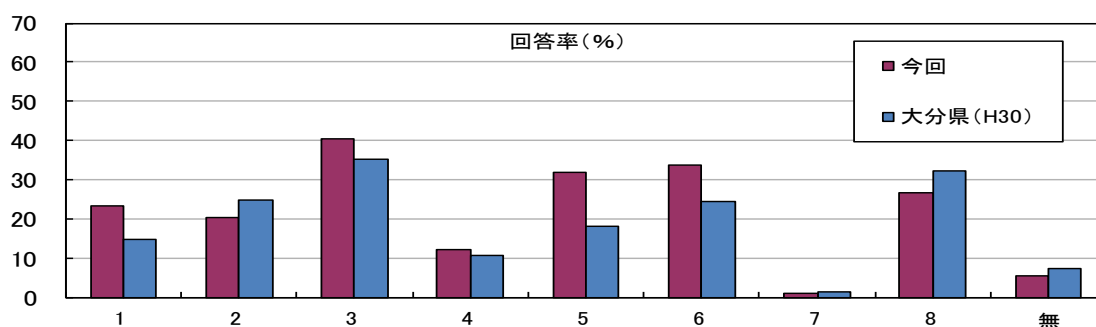
【結果】

- ①「抗議も相談もしなかった」が40.2%と高く、次いで「身近な人に相談した」、「相手に抗議した」の順となっています。
- ②性別では、男女とも「抗議も相談もしなかった」が高くなっています。
- ③年代別では、30歳から79歳以下は「抗議も相談もしなかった」が高くなっていますが29歳以下と80歳以上は「身近な人に相談した」が高くなっています。全体的に弁護士や警察、相談機関への相談が低い、または、されていないことがわかります。

※クロス集計表(問5)が巻末にあります(P78)

問6 あなたは差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関（場所）があることを知っていますか。知っている機関（場所）があれば教えてください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

新



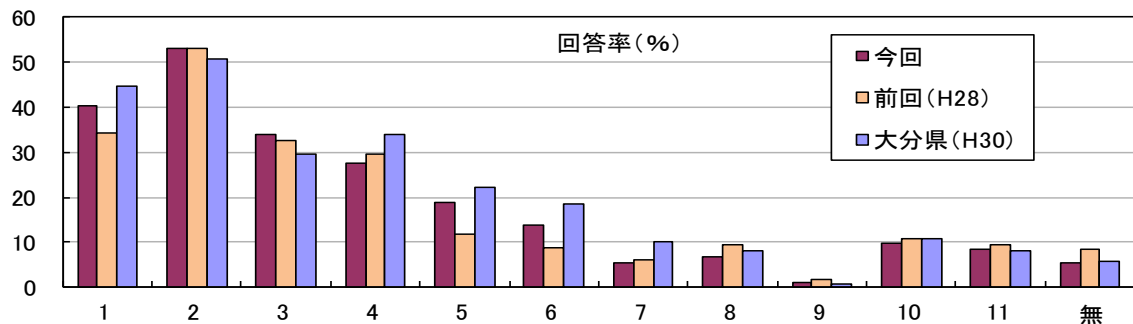
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	無
回答内容	法務局	人権擁護委員	市役所や県庁の担当課	NPO等の民間団体	警察署	弁護士	その他	知らない	無回答
回答数	155	136	271	82	214	226	6	179	37
回答率(%)	23.1	20.2	40.3	12.2	31.8	33.6	0.9	26.6	5.5
大分県(H30)	14.6	24.8	35.1	10.7	18.2	24.3	1.2	32.1	7.3
男性	27.8	24.8	42.4	11.3	29.8	35.8	0.3	25.2	5.6
女性	19.3	16.8	39.4	13.1	34.4	32.4	1.4	27.7	5.0
抵抗を感じる	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	14.3
無記入	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
18～29歳	6.7	4.4	33.3	17.8	42.2	37.8	0.0	31.1	2.2
30～39歳	14.3	12.5	28.6	12.5	28.6	39.3	0.0	37.5	0.0
40～49歳	14.5	16.9	33.7	19.3	32.5	34.9	0.0	38.6	2.4
50～59歳	23.4	17.8	48.6	17.8	33.6	45.8	0.9	23.4	0.0
60～69歳	19.6	18.2	46.6	10.8	31.1	32.4	0.7	24.3	5.4
70～79歳	28.1	28.9	41.5	5.2	30.4	24.4	2.2	28.1	8.1
80歳以上	40.6	29.2	36.5	9.4	30.2	28.1	1.0	13.5	14.6

【結果】

- ①「市役所や県庁の担当課」が40.3%と高く、次いで「弁護士」、「警察署」の順となっています。
- ②性別でも、男女ともに「市役所や県庁の担当課」が高くなっています。
- ③年代別では、全ての年代で「市役所や県庁の担当課」が高い傾向にあります。ただし、40歳代では「知らない」が高く、「知らない」は他の年代でも上位にあります。80歳以上では「法務局」が高い結果が出ていますが、全体的に「法務局」、「人権擁護委員」は相談機関として認識が低い傾向にあります。

※クロス集計表(問6)が巻末にあります(P78)

問7 女性に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

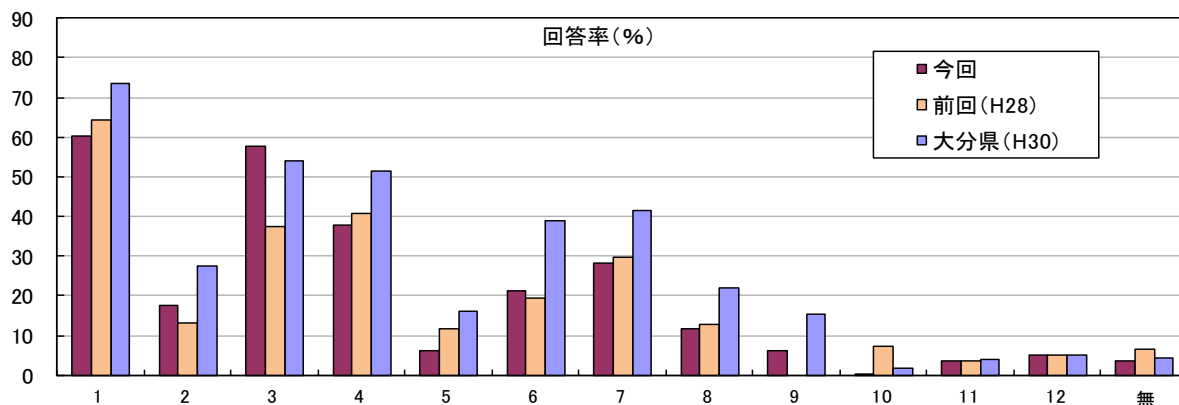


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無
回答内容	男女の固定的な役割分担意識	職場における差別待遇	ドメスティック・バイオレンス	セクシュアル・ハラスメント	強制的な性交罪や強制わいせつ罪等の性交犯罪	女性のスリッド写真など女性性の対象ととらえる風潮	女性の働く風俗営業	女性だけに用いられる言葉	その他	特にな	わからない	無回答
回答数	271	356	229	185	126	92	36	45	8	66	56	37
回答率 (%)	40.3	53.0	34.1	27.5	18.8	13.7	5.4	6.7	1.2	9.8	8.3	5.5
前回 (H28)	34.4	53.1	32.5	29.5	11.8	8.9	6.0	9.4	1.8	10.8	9.3	8.4
大分県 (H30)	44.6	50.7	29.5	34.1	22.3	18.6	10.1	8.2	0.8	10.9	8.0	5.8
男性	40.1	52.0	34.8	32.1	16.9	12.6	4.3	5.6	0.7	12.6	8.3	4.6
女性	40.5	53.6	34.6	24.0	20.7	14.5	6.4	7.5	1.4	7.8	8.4	5.3
抵抗を感じる	42.9	57.1	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6
無記入	40.0	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
18～29歳	66.7	66.7	31.1	44.4	17.8	15.6	2.2	11.1	2.2	2.2	6.7	0.0
30～39歳	44.6	60.7	41.1	30.4	16.1	10.7	1.8	5.4	1.8	7.1	10.7	1.8
40～49歳	47.0	59.0	43.4	44.6	22.9	7.2	4.8	3.6	0.0	8.4	8.4	1.2
50～59歳	43.9	67.3	49.5	41.1	21.5	15.0	6.5	7.5	1.9	3.7	1.9	0.0
60～69歳	38.5	52.0	35.1	26.4	20.9	10.8	4.7	6.8	0.0	10.8	4.7	4.7
70～79歳	30.4	43.7	27.4	16.3	19.3	16.3	7.4	3.7	0.7	16.3	10.4	9.6
80歳以上	33.3	36.5	14.6	6.3	10.4	19.8	6.3	11.5	3.1	12.5	17.7	13.5

【結果】

- ①「職場における差別待遇」が53.0%と高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識」、「ドメスティック・バイオレンス」の順となっています。
- ②性別では、「職場における差別待遇」が男女ともに高くなっています。
- ③全年代でも、「職場における差別待遇」が高くなっています。なお、29歳以下は、「男女の固定的な役割分担意識」が他の年代よりも高い割合を示しています。

問8 子どもに関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。
(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

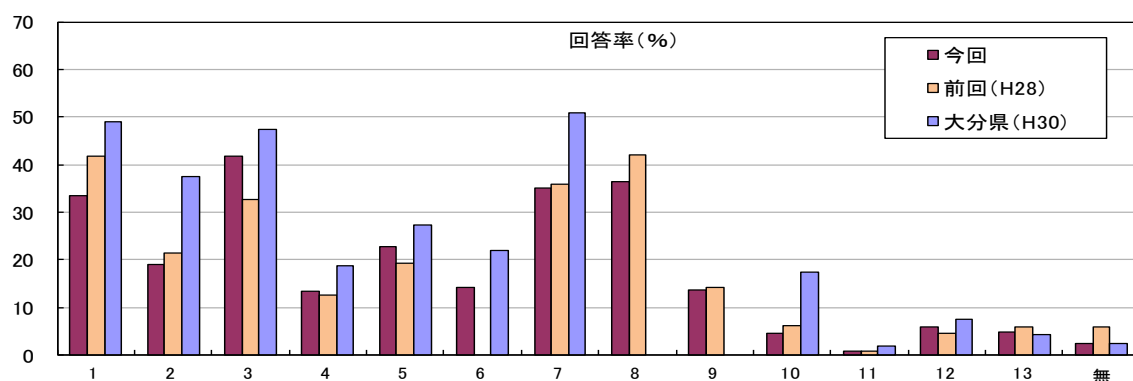


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無
回答内容	いじめを受けること	体罰を受けること	虐待を受けること	いじめ等を見て見ぬふりをする事	子どもの希望を大人が無視すること	学力評価が優先され、多様な能力が評価されないこと	経済状況が理由で、自己実現できないこと	児童ポルノ、児童買春、児童売春	性的行為や暴力シーンを子どもに見せること	その他	特にない	わからない	無回答
回答数	405	118	387	254	42	143	189	78	42	3	24	35	25
回答率(%)	60.3	17.6	57.6	37.8	6.3	21.3	28.1	11.6	6.3	0.4	3.6	5.2	3.7
前回(H28)	64.4	13.1	37.6	40.9	11.8	19.4	29.6	12.9	-	7.3	3.5	5.1	6.5
大分県(H30)	73.4	27.5	53.9	51.3	16.2	38.9	41.4	22.1	15.4	1.7	4.1	5.2	4.4
男性	62.3	18.9	57.6	39.7	5.0	20.9	26.8	9.9	5.3	0.3	4.3	4.6	3.3
女性	59.2	17.0	57.8	36.3	7.3	21.8	29.3	13.1	7.0	0.6	3.1	5.9	3.4
抵抗を感じる	57.1	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
無記入	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
18～29歳	55.6	22.2	55.6	46.7	13.3	26.7	44.4	11.1	6.7	2.2	0.0	4.4	0.0
30～39歳	60.7	21.4	69.6	33.9	7.1	26.8	21.4	7.1	5.4	0.0	5.4	3.6	1.8
40～49歳	59.0	21.7	63.9	38.6	4.8	21.7	33.7	18.1	8.4	1.2	0.0	4.8	0.0
50～59歳	63.6	15.0	75.7	39.3	11.2	19.6	38.3	10.3	5.6	0.0	0.9	1.9	0.9
60～69歳	70.9	17.6	57.4	43.2	2.7	23.0	26.4	10.1	6.1	0.0	2.7	2.7	2.0
70～79歳	58.5	14.1	48.1	35.6	3.7	17.0	20.7	12.6	4.4	0.0	7.4	7.4	5.2
80歳以上	46.9	17.7	40.6	29.2	7.3	20.8	21.9	11.5	8.3	1.0	6.3	11.5	11.5

【結果】

- ①「いじめを受けること」が60.3%と高く、次いで「虐待を受けること」、「いじめ等を見て見ぬふりをする事」の順となっています。
- ②性別でも、「いじめを受けること」が男女ともに高くなっています。
- ③全年代において「いじめを受けること」「虐待を受けること」「いじめ等を見て見ぬふりをする事」が高い傾向にあります。年代別では、29歳以下で「いじめを受けること」と「虐待を受けること」が同率で高く、30歳から59歳以下で「虐待を受けること」が、60歳以上で「いじめを受けること」が高くなっています。

問9 高齢者に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。（あてはまる番号に3つまで○をつけてください）

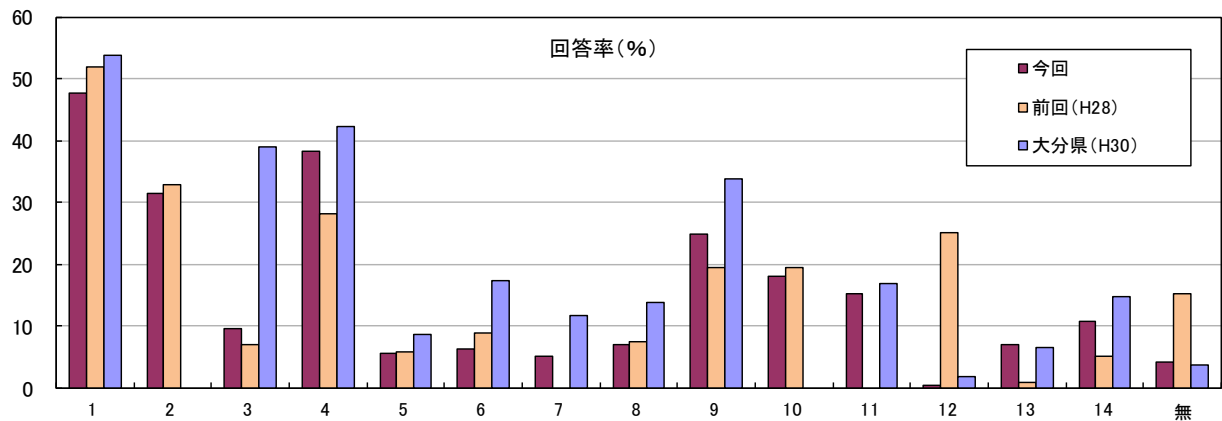


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	無
回答内容	と 経済的な自立が困難なこと	働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	の 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと	を 家庭内で嫌がらせや虐待を受けること	等 病院・施設において虐待を受けること	に 邪魔者扱い・つまはじきにされること	ど 一人暮らし、寝たきりなどへの不安や不便があること	の 施設への入居など、老後の不安があること	見 認知症に対する誤解や偏見による不当な扱いを受偏けること	否 アパート等への入居を拒否されること	その他	特にない	わからない	無回答
回答数	226	128	281	91	154	96	236	244	93	31	5	40	32	17
回答率 (%)	33.6	19.0	41.8	13.5	22.9	14.3	35.1	36.3	13.8	4.6	0.7	6.0	4.8	2.5
前回 (H28)	41.7	21.5	32.8	12.7	19.4	-	35.8	42.1	14.1	6.3	0.8	4.5	6.0	6.0
大分県 (H30)	49.1	37.5	47.5	18.7	27.4	22.0	51.0	-	-	17.3	1.8	7.4	4.2	2.3
男性	31.5	19.2	40.7	11.9	19.9	14.2	36.4	33.1	15.9	5.6	0.3	6.6	4.3	2.0
女性	35.8	19.3	42.7	14.8	25.7	14.0	34.1	39.4	12.6	3.9	1.1	5.3	5.0	2.5
抵抗を感じる	14.3	0.0	57.1	14.3	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
無記入	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
18～29歳	31.1	26.7	53.3	33.3	31.1	15.6	35.6	22.2	13.3	13.3	0.0	2.2	2.2	2.2
30～39歳	26.8	14.3	42.9	21.4	30.4	17.9	26.8	19.6	10.7	8.9	0.0	5.4	8.9	3.6
40～49歳	30.1	18.1	36.1	16.9	30.1	14.5	39.8	38.6	20.5	1.2	0.0	1.2	6.0	0.0
50～59歳	31.8	26.2	49.5	15.0	30.8	14.0	41.1	39.3	14.0	5.6	0.0	0.9	0.9	0.9
60～69歳	33.8	16.2	41.9	7.4	23.6	12.8	35.8	43.2	14.2	4.7	0.0	5.4	4.7	1.4
70～79歳	39.3	17.0	35.6	9.6	18.5	15.6	33.3	35.6	14.1	1.5	0.7	10.4	3.7	5.2
80歳以上	35.4	17.7	41.7	10.4	5.2	11.5	31.3	38.5	9.4	4.2	4.2	12.5	8.3	3.1

【結果】

- ①「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多い」が41.8%と高く、次いで「施設への入居など老後の不安」、「一人暮らし、寝たきりなどへの不安や不便」の順になっています。
- ②性別では、男女とも「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多い」が高くなっています。
- ③年代別では、「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多い」、「施設への入所など老後の不安」、「一人暮らし、寝たきりなどへの不安や不便」、「経済的な自立が困難」が、全年代で高い傾向にありますが、39歳以下及び50歳代、80歳以上で「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多い」、40歳代で「一人暮らし、寝たきりなどへの不安や不便」、60歳代で「施設への入居など、老後の不安がある」、70歳代では「経済的な自立が困難」がそれぞれ高くなっています。

問10 障がい者に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

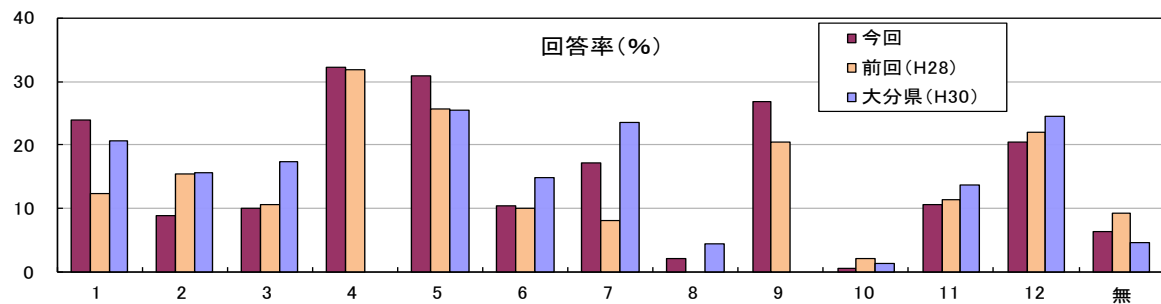


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	無
回答内容	就職・職場で不利な扱いをされること	施設整備が十分でないこと	結婚問題で反対を受けること	差別的な取扱・言動をされること	悪徳商法の被害者が多いこと	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設や店舗等への入居を拒否されること	スポーツ参加できないこと	こと、避けられ見たりすること	とに障がい者の意見や行動が得られないこと	に必要な社会支援を受けられないこと	その他	特になし	分からない	無回答
回答数	320	211	65	258	38	42	35	47	167	121	103	3	48	72	29
回答率(%)	47.6	31.4	9.7	38.4	5.7	6.3	5.2	7.0	24.9	18.0	15.3	0.4	7.1	10.7	4.3
前回 (H28)	51.8	32.9	7.0	28.1	6.0	8.9	-	7.5	19.4	19.4	-	25.1	1.0	5.1	15.2
大分県 (H30)	53.7	-	39.1	42.2	8.6	17.5	11.8	13.9	33.8	-	17.0	2.0	6.5	14.7	3.7
男性	47.4	31.1	11.6	37.4	4.0	7.3	4.3	9.9	24.5	18.5	15.6	0.3	7.6	7.6	3.3
女性	48.6	31.6	8.4	39.4	7.0	5.3	6.1	4.7	24.9	18.2	15.4	0.6	7.0	13.1	4.2
抵抗を感じる	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6
無記入	20.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
18～29歳	71.1	31.1	11.1	53.3	4.4	20.0	6.7	6.7	31.1	17.8	13.3	0.0	0.0	4.4	4.4
30～39歳	44.6	30.4	7.1	44.6	5.4	5.4	5.4	1.8	32.1	23.2	16.1	0.0	5.4	17.9	1.8
40～49歳	47.0	27.7	7.2	44.6	1.2	10.8	6.0	8.4	19.3	25.3	13.3	0.0	2.4	13.3	1.2
50～59歳	50.5	39.3	6.5	49.5	7.5	3.7	7.5	4.7	25.2	21.5	22.4	0.0	7.5	7.5	0.9
60～69歳	50.7	36.5	8.8	36.5	4.1	5.4	4.7	4.7	31.1	13.5	16.2	0.0	5.4	10.1	2.0
70～79歳	44.5	23.7	8.9	31.1	6.7	3.7	3.7	9.6	17.8	20.7	14.1	0.7	11.1	11.9	6.7
80歳以上	36.5	30.2	18.8	24.0	9.4	4.2	4.2	11.5	22.9	8.3	10.4	2.1	12.5	10.4	10.4

【結果】

- ①「就職・職場で不利な扱いをされること」が47.6%と高く、次いで「差別的な取扱・言動をされること」、「施設整備が十分でないこと」の順となっています。
- ②性別でも、「就職・職場で不利な扱いをされること」が高くなっています。
- ③年代別でも、全年代で「就職・職場で不利な扱いをされること」が高くなっており、30歳代では「差別的な取扱・言動をされること」と同率で高くなっています。

問 1 1 日本に居住している外国人に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

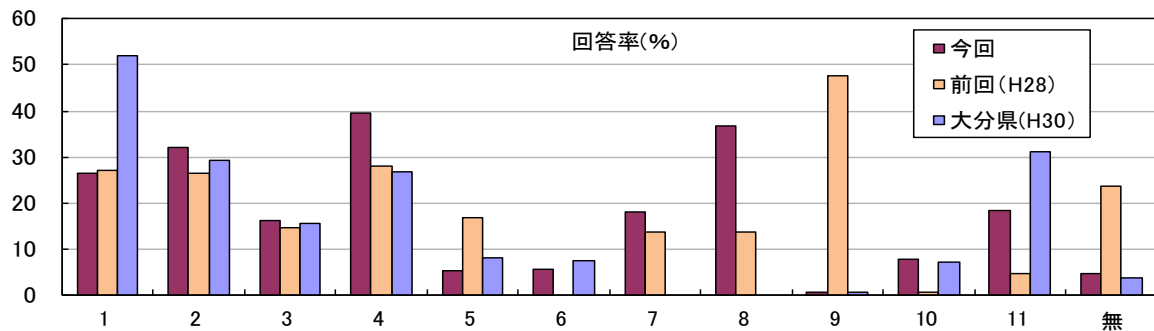


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無
回答内容	職場や学校で不利な扱いを受けること	アパート等への入居を拒否されること	結婚問題で反対を受けること	外国語で対応できる施設などの整備が不十分であること	文化や習慣の違いや地域とのふれあいが少ないこと	じろじろと見られたり、避けられたりすること	ヘイトスピーチなど差別的な言動をされること	宿泊施設等への入店や利用を拒否されること	偏見と先入観で、一個人として見られないこと	その他	特にない	わからない	無回答
回答数	161	59	68	217	207	70	115	15	181	4	72	138	42
回答率 (%)	24.0	8.8	10.1	32.3	30.8	10.4	17.1	2.2	26.9	0.6	10.7	20.5	6.3
前回 (H28)	12.4	15.4	10.6	31.8	25.7	10.1	8.1	-	20.4	2.2	11.3	22.0	9.3
大分県 (H30)	20.6	15.7	17.3	-	25.5	14.9	23.5	4.5	-	1.4	13.8	24.5	4.6
男性	22.5	9.9	11.6	30.8	32.5	11.3	17.9	2.0	27.8	1.0	12.6	17.5	5.0
女性	25.1	8.1	9.2	34.1	30.2	9.8	16.2	2.5	26.5	0.3	9.2	22.9	6.4
抵抗を感じる	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6
無記入	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0
18～29歳	37.8	11.1	17.8	44.4	35.6	24.4	20.0	6.7	40.0	0.0	4.4	8.9	4.4
30～39歳	30.4	12.5	7.1	35.7	25.0	17.9	12.5	3.6	42.9	0.0	7.1	16.1	3.6
40～49歳	27.7	10.8	12.0	41.0	30.1	8.4	15.7	2.4	34.9	0.0	4.8	16.9	2.4
50～59歳	31.8	12.1	6.5	45.8	44.9	10.3	20.6	0.9	31.8	0.9	7.5	14.0	0.9
60～69歳	24.3	4.7	6.1	29.7	30.4	8.1	25.7	0.7	23.0	1.4	9.5	25.0	2.0
70～79歳	14.8	8.1	14.1	23.0	26.7	12.6	12.6	0.7	17.8	0.0	20.7	23.0	10.4
80歳以上	14.6	7.3	11.5	19.8	24.0	2.1	9.4	5.2	18.8	1.0	12.5	29.2	16.7

【結果】

- ①「外国語で対応できる施設などの整備が不十分」が 32.3%と高く、次いで、「文化や習慣の違いや地域とのふれあいが少ない」、「偏見と先入観で、一個人として見られない」の順となっています。
- ②性別では、男性は「文化や習慣の違いや地域とのふれあいが少ない」が、女性では「外国語で対応できる施設などの整備が不十分」が高くなっています。
- ③年代別では、全体的に「外国語で対応できる施設などの整備が不十分」、「文化や習慣の違いや地域とのふれあいが少ない」、「偏見と先入観で、一個人として見られない」が高い傾向にあります。29 歳以下と 40 歳から 59 歳以下で「外国語で対応できる施設などの整備が不十分」が、30 歳代で「偏見と先入観で、一個人として見られない」が、60 歳から 79 歳以下で「文化や習慣の違いや地域とのふれあいが少ない」が、80 歳以上で「わからない」が高くなっています。

問 1 2 感染症患者（ハンセン病患者・元患者、HIV 感染者、エイズ患者、新型コロナウイルス感染者など）やその家族に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。（あてはまる番号に3つまで○をつけてください）

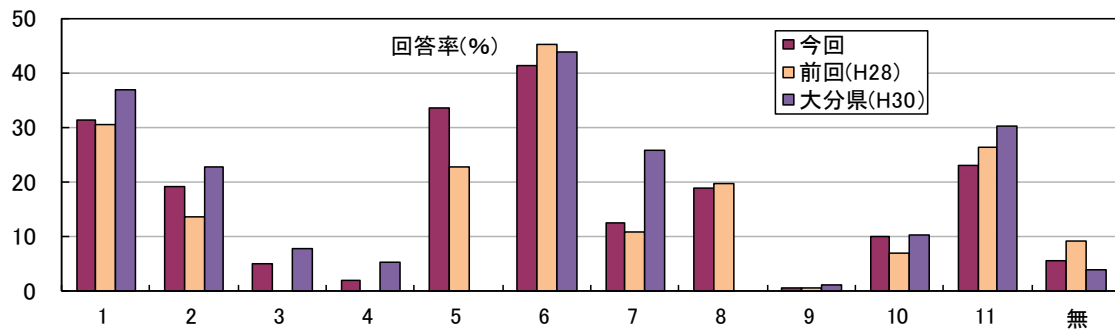


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無
回答内容	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職や職場・学校で不利な扱いを受けること	病院での治療や入院を拒否されること	差別的な言動をされること	宿泊施設、店舗等への入店等を拒否されること	アパート等への入居を拒否されること	避けられたいと見られたり、じろじろと見られたりすること	正しい知識や理解が得られていないこと	その他	特になし	わからない	無回答
回答数	179	216	108	267	36	37	122	247	4	52	124	31
回答率(%)	26.6	32.1	16.1	39.7	5.4	5.5	18.2	36.8	0.6	7.7	18.5	4.6
前回 (H28)	27.0	26.5	14.6	28.1	16.9	-	13.6	13.6	47.5	0.8	4.8	23.7
大分県 (H30)	52.0	29.2	15.6	26.9	8.2	7.6	-	-	0.7	7.3	31.2	3.9
男性	27.2	33.1	17.2	41.4	4.3	5.6	20.2	32.5	0.3	10.3	17.5	3.3
女性	26.5	31.6	15.6	38.3	6.1	5.6	16.2	40.5	0.8	5.9	19.0	5.0
抵抗を感じる	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	28.6
無記入	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0
18～29歳	35.6	55.6	26.7	55.6	2.2	6.7	8.9	48.9	0.0	4.4	11.1	4.4
30～39歳	21.4	41.1	19.6	41.1	5.4	3.6	26.8	42.9	3.6	5.4	16.1	1.8
40～49歳	24.1	30.1	20.5	33.7	3.6	6.0	26.5	42.2	0.0	3.6	19.3	1.2
50～59歳	29.0	39.3	17.8	55.1	8.4	3.7	21.5	49.5	0.0	0.9	9.3	0.9
60～69歳	22.3	33.1	14.2	43.2	4.7	3.4	16.2	37.2	0.7	6.1	23.0	2.7
70～79歳	28.9	23.0	11.1	29.6	6.7	6.7	17.0	27.4	0.0	15.6	19.3	8.9
80歳以上	29.2	21.9	13.5	29.2	4.2	9.4	11.5	20.8	1.0	13.5	25.0	9.4

【結果】

- ①「差別的な言動をされること」が39.7%と高く、次いで「正しい知識や理解が得られていないこと」、「就職や職場・学校で不利な扱いを受けること」の順になっています。
- ②性別では、男性は「差別的な言動をされること」が、女性では「正しい知識や理解が得られていないこと」が高くなっています。
- ③年代別でも全体的に「差別的な言動をされること」に続き、「正しい知識や理解が得られていないこと」、「就職や職場・学校で不利な扱いを受けること」が高い傾向にあります。29歳以下は同率で「就職や職場・学校で不利な扱いを受けること」が、30歳から49歳以下は、「正しい知識や理解が得られていないこと」が一番高く、80歳以上では同率で「結婚問題で周囲の反対を受けること」が高くなっています。

問 1 3 性的少数者に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)



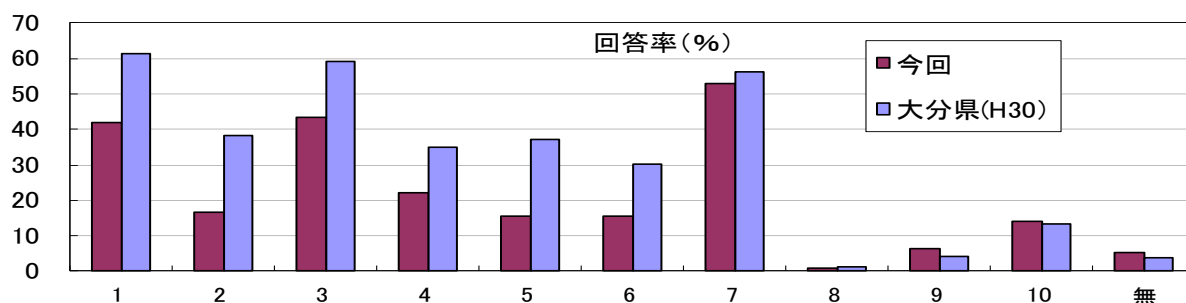
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無
回答内容	地域、職場や学校などで差別的な言動を受けること	就職や仕事、待遇などで不利な扱いを受けること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への利用を拒否されること	同性パートナーシップ制度などの整備が十分でないこと	社会的理解が低い、誤解や偏見があること	じろじろと見られたり、避けられたりすること	相談や支援体制、施設などで配慮が十分でないこと	その他	特にな	わからない	無回答
回答数	212	129	35	15	226	278	84	128	4	67	155	38
回答率(%)	31.5	19.2	5.2	2.2	33.6	41.4	12.5	19.0	0.6	10.0	23.1	5.7
前回(H28)	30.5	13.7	-	-	22.8	45.4	10.9	19.9	0.8	7.0	26.5	9.4
大分県(H30)	37.1	22.9	7.9	5.5	-	43.8	26.0	-	1.3	10.3	30.4	3.9
男性	31.8	19.9	4.3	2.3	32.1	40.7	14.6	21.9	1.0	11.9	19.5	4.0
女性	31.3	19.0	5.9	2.2	34.4	42.7	10.9	17.0	0.3	8.4	26.3	6.4
抵抗を感じる	28.6	0.0	14.3	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6
無記入	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0
18～29歳	48.9	26.7	8.9	4.4	62.2	48.9	17.8	13.3	0.0	0.0	15.6	2.2
30～39歳	48.2	21.4	3.6	3.6	42.9	50.0	7.1	17.9	0.0	7.1	17.9	1.8
40～49歳	32.5	20.5	3.6	1.2	41.0	54.2	20.5	19.3	0.0	2.4	20.5	1.2
50～59歳	38.3	22.4	4.7	2.8	49.5	52.3	11.2	30.8	0.0	4.7	15.9	0.0
60～69歳	26.4	20.3	4.7	0.0	31.1	44.6	13.5	18.9	1.4	8.8	25.7	3.4
70～79歳	28.9	15.6	5.2	1.5	22.2	28.9	11.9	15.6	0.0	17.8	27.4	10.4
80歳以上	16.7	13.5	7.3	5.2	11.5	22.9	7.3	14.6	2.1	19.8	30.2	15.6

【結果】

- ①「社会的理解が低い、誤解や偏見がある」が41.4%と高く、次いで「同性パートナーシップ制度などの整備が十分でないこと」、「地域、職場や学校などで差別的な言動を受ける」の順になっています。
- ②性別では、「社会的理解が低い、誤解や偏見がある」が男女とも高くなっています。
- ③全体的に年代別でも、「社会的理解が低い、誤解や偏見がある」が高い傾向にあります。29歳以下で「同性パートナーシップ制度などの整備が十分でない」が、70歳代では同率で「地域、職場や学校などで差別的な言動を受ける」が、80歳以上では「わからない」が高くなっています。

問 1 4 犯罪被害者やその家族等に関する人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

新

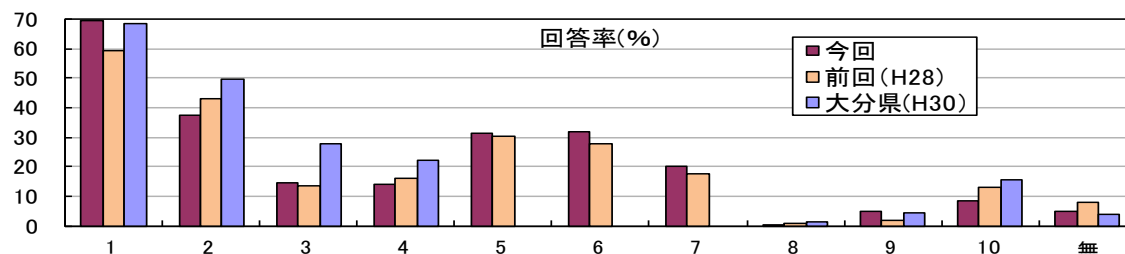


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無
回答内容	精神的なショックを受けること	経済的負担を受けること	周囲でうわさ話をされること	警察に相談しても結果が得られないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事手続きに被害者の声が十分反映されないこと	プライバシーが公表され、私生活の平穩が保てなくなる	その他	特にな	わからない	無回答
回答数	283	113	291	149	104	104	355	5	44	94	34
回答率(%)	42.1	16.8	43.3	22.2	15.5	15.5	52.8	0.7	6.5	14.0	5.1
大分県(H30)	61.5	38.4	59.0	35.1	37.0	30.2	56.1	1.4	4.1	13.3	3.7
男性	41.7	20.2	45.7	23.5	15.2	14.9	51.7	0.3	7.3	12.9	3.6
女性	42.7	14.5	41.9	21.2	15.9	15.9	54.5	1.1	5.9	14.5	5.3
抵抗を感じる	28.6	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	28.6
無記入	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	40.0
18～29歳	57.8	24.4	57.8	22.2	15.6	11.1	66.7	0.0	0.0	8.9	2.2
30～39歳	46.4	16.1	53.6	26.8	17.9	10.7	60.7	3.6	1.8	12.5	1.8
40～49歳	41.0	19.3	45.8	31.3	20.5	21.7	54.2	0.0	0.0	16.9	1.2
50～59歳	57.0	23.4	44.9	30.8	26.2	19.6	69.2	0.9	0.0	6.5	0.0
60～69歳	42.6	16.9	42.6	24.3	12.2	18.2	53.4	0.7	7.4	12.2	2.0
70～79歳	34.8	10.4	40.0	15.6	10.4	15.6	42.2	0.0	10.4	15.6	8.9
80歳以上	27.1	13.5	33.3	8.3	10.4	6.3	37.5	1.0	18.8	24.0	14.6

【結果】

- ①「プライバシーが公表され、私生活の平穩が保てなくなる

問15 インターネット（パソコンや携帯電話、スマートフォン）による人権問題で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。（あてはまる番号に3つまで○をつけてください）



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無
回答内容	と人権侵害情報や差別の助長など、誹謗中傷や差別的な掲載されること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	顔写真が掲載される未成年者の実名や捜査対象の未成年者の実名や顔写真が掲載されること	ホームページやブログなどに違法な内容や有害なコンテンツが存在すること	悪質商法などによる取引での被害が増えていること	法的規制が不十分であり、被害者が救済されにくいこと	インターネットを利用できない人々が情報を利用できないこと	その他	特になし	わからない	無回答
回答数	468	253	97	95	210	213	135	3	32	57	34
回答率(%)	69.6	37.6	14.4	14.1	31.3	31.7	20.1	0.4	4.8	8.5	5.1
前回(H28)	59.3	43.2	13.4	16.1	30.5	27.6	17.9	1.0	1.8	13.1	8.1
大分県(H30)	68.6	49.7	27.6	22.3	-	-	-	1.3	4.3	15.6	3.8
男性	67.9	36.1	12.3	13.6	35.4	34.4	18.2	0.0	6.3	8.3	4.0
女性	72.1	39.9	16.2	15.1	28.8	29.3	21.5	0.8	3.4	8.1	5.3
抵抗を感じる	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3
無記入	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	86.7	28.9	35.6	17.8	26.7	40.0	15.6	2.2	0.0	2.2	2.2
30～39歳	75.0	35.7	17.9	12.5	35.7	42.9	14.3	0.0	3.6	5.4	1.8
40～49歳	84.3	30.1	14.5	12.0	37.3	44.6	21.7	0.0	0.0	6.0	0.0
50～59歳	86.9	44.9	25.2	14.0	32.7	47.7	16.8	0.0	1.9	1.9	0.0
60～69歳	74.3	37.8	10.1	18.9	31.1	31.8	21.6	0.0	4.7	7.4	2.7
70～79歳	54.8	48.1	4.4	12.6	29.6	18.5	25.2	0.0	9.6	9.6	8.9
80歳以上	41.7	27.1	11.5	10.4	27.1	11.5	18.8	2.1	8.3	22.9	14.6

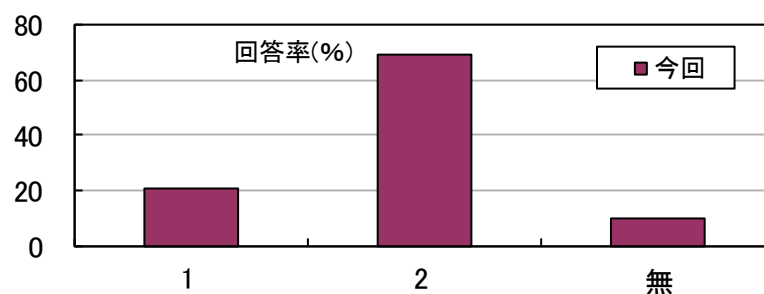
【結果】

- ①「誹謗中傷や差別の助長など、人権侵害情報が掲載されること」が 69.6%と高く、次いで「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」、その次に「法的規制が不十分であり、被害者が救済されにくいこと」及び「悪質商法などの取引での被害が増えていること」がほぼ同割合で続きます。
- ②性別や全年代でも、「誹謗中傷や差別の助長など、人権侵害情報が掲載されること」、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」、「法的規制が不十分であり、被害者が救済されにくいこと」が高い傾向にあります。

問 16-1 インターネット（パソコンや携帯電話、スマートフォン）で人権侵害と思われるものを見たことがありますか。

新

（人権侵害を見た経験）



項目	1	2	無
回答内容	ある	ない	無回答
回答数	142	465	65
回答率(%)	21.1	69.2	9.7
男性	20.9	68.9	10.3
女性	21.5	70.1	8.4
抵抗を感じる	28.6	42.9	28.6
無記入	0.0	60.0	40.0
18～29歳	37.8	60.0	2.2
30～39歳	48.2	50.0	1.8
40～49歳	24.1	69.9	6.0
50～59歳	23.4	76.6	0.0
60～69歳	14.2	81.8	4.1
70～79歳	14.8	68.1	17.0
80歳以上	12.5	59.4	28.1

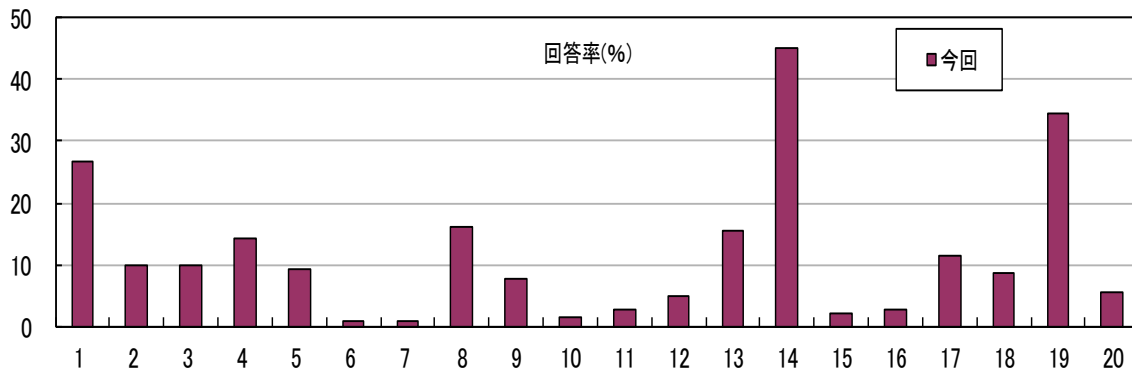
【結果】

- ①「見たことがない」が 69.2%と高くなっています。
- ②性別や全年代でも、「見たことがない」が高くなっており、そのうち、60 歳代で 8 割を超えています。

問16-2 見たことがある場合、実際に見たものはどのような内容でしたか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

(人権侵害の内容)

新



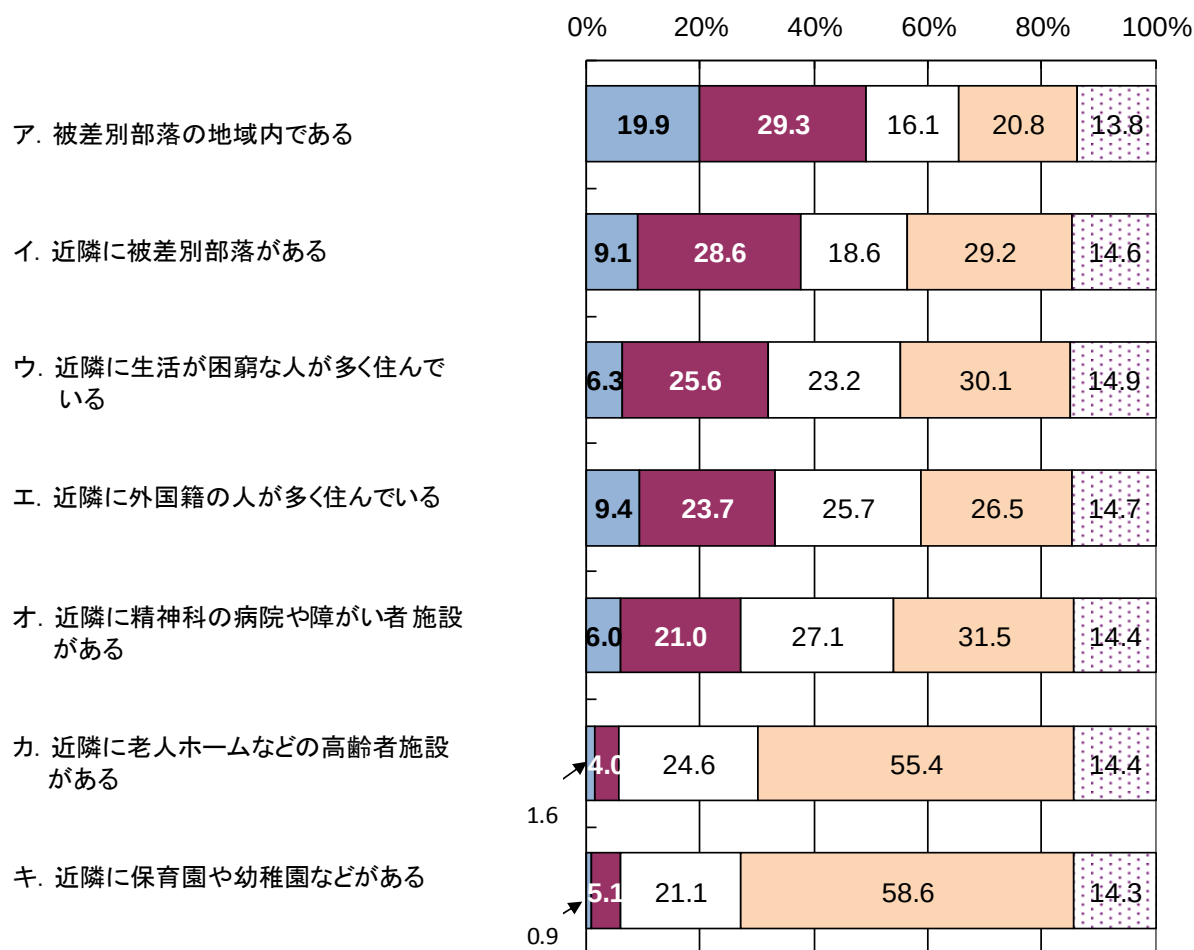
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
回答内容	女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題	アイヌの人々	留邦中国人（中国在	在日韓国人・朝鮮人	外国人	HIV感染者・エイズ患者	ハンセン病患者・元患者	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局に拉致された被害者や家族	ホームレス	性的少数者	東日本大震災や福島原発事故	等新型コロナウイルス感染者	その他
回答数	38	14	14	20	13	1	1	23	11	2	4	7	22	64	3	4	16	12	49	8
回答率(%)	26.8	9.9	9.9	14.1	9.2	0.7	0.7	16.2	7.7	1.4	2.8	4.9	15.5	45.1	2.1	2.8	11.3	8.5	34.5	5.6
男性	33.3	7.9	7.9	15.9	12.7	1.6	0.0	20.6	6.3	3.2	4.8	3.2	12.7	42.9	3.2	4.8	9.5	7.9	31.7	6.3
女性	20.8	10.4	11.7	13.0	6.5	0.0	0.0	11.7	7.8	0.0	1.3	6.5	18.2	48.1	1.3	1.3	11.7	9.1	36.4	5.2
抵抗を感じる	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無記入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	41.2	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	47.1	11.8	0.0	35.3	5.9	41.2	0.0
30～39歳	22.2	7.4	3.7	14.8	11.1	3.7	0.0	18.5	11.1	0.0	3.7	11.1	29.6	51.9	0.0	7.4	3.7	7.4	37.0	7.4
40～49歳	25.0	15.0	5.0	25.0	5.0	0.0	0.0	20.0	15.0	0.0	0.0	10.0	15.0	40.0	0.0	0.0	15.0	5.0	15.0	5.0
50～59歳	28.0	16.0	0.0	20.0	8.0	0.0	0.0	16.0	4.0	4.0	0.0	8.0	24.0	48.0	0.0	0.0	4.0	8.0	40.0	0.0
60～69歳	28.6	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	9.5	14.3	38.1	0.0
70～79歳	25.0	10.0	35.0	15.0	20.0	0.0	0.0	15.0	5.0	5.0	10.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0	5.0	5.0	25.0	15.0
80歳以上	16.7	0.0	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7

【結果】

- ①「インターネットによる人権侵害」が45.1%と高く、次いで「新型コロナウイルス感染者等」、「女性」の順となっています。
- ②性別では、「インターネットによる人権侵害」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、69歳以下で「インターネットによる人権侵害」が、70歳代で「高齢者」が、80歳以上で「新型コロナウイルス感染者等」が高くなっています。

問１７ あなたが、住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、次のような条件の場合、避けることがありますか。（ア～キのそれぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください）

☐ 避けると思う	☐ どちらかといえば避けると思う
☐ どちらかといえば避けないと思う	☐ 全く気にしない
☐ 無回答	



【結果】

- ①「避けると思う」については、「ア. 被差別部落の地域内である」が 19.9%と高く、次いで「エ. 近隣に外国籍の人が住んでいる」「イ. 近隣に被差別部落がある」の順になっています。
- ②ウ. からキ. については、「どちらかといえば避けないと思う」と「全く気にしない」を合わせると 50%を超えています。

※クロス集計表(問 17)が巻末にあります（P 79～80）

ア 被差別部落の地域内である

項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど えち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	134	197	108	140	93
回答率(%)	19.9	29.3	16.1	20.8	13.8
前回(H28)	15.4	30.5	14.6	24.7	14.9
男性	19.2	30.5	17.5	20.2	12.6
女性	21.2	29.1	15.1	20.4	14.2
抵抗を感じる	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3
無記入	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
18～29歳	15.6	17.8	26.7	37.8	2.2
30～39歳	21.4	26.8	16.1	33.9	1.8
40～49歳	24.1	32.5	13.3	25.3	4.8
50～59歳	22.4	36.4	17.8	21.5	1.9
60～69歳	21.6	33.1	20.3	15.5	9.5
70～79歳	17.0	28.9	12.6	19.3	22.2
80歳以上	16.7	20.8	10.4	11.5	40.6

イ 近隣に被差別部落がある

項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど えち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	61	192	125	196	98
回答率(%)	9.1	28.6	18.6	29.2	14.6
前回(H28)	8.1	23.8	16.7	34.4	16.9
男性	8.6	27.5	19.5	29.1	15.2
女性	9.8	30.4	17.9	28.5	13.4
抵抗を感じる	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3
無記入	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
18～29歳	13.3	17.8	17.8	48.9	2.2
30～39歳	8.9	23.2	23.2	42.9	1.8
40～49歳	12.0	27.7	22.9	33.7	3.6
50～59歳	9.3	31.8	23.4	35.5	0.0
60～69歳	10.8	37.2	19.6	23.0	9.5
70～79歳	6.7	26.7	16.3	25.9	24.4
80歳以上	5.2	24.0	9.4	15.6	45.8

ウ 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる

項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど えち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	42	172	156	202	100
回答率(%)	6.3	25.6	23.2	30.1	14.9
前回(H28)	5.5	24.0	19.0	34.4	17.1
男性	5.6	24.5	21.5	32.5	15.9
女性	7.0	27.1	24.9	27.7	13.4
抵抗を感じる	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3
無記入	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0
18～29歳	11.1	35.6	17.8	31.1	4.4
30～39歳	16.1	23.2	17.9	39.3	3.6
40～49歳	9.6	31.3	21.7	32.5	4.8
50～59歳	8.4	23.4	30.8	37.4	0.0
60～69歳	5.4	32.4	20.9	32.4	8.8
70～79歳	0.7	17.8	29.6	26.7	25.2
80歳以上	2.1	20.8	16.7	15.6	44.8

エ 近隣に外国籍の人が多く住んでいる

項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど えち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	63	159	173	178	99
回答率(%)	9.4	23.7	25.7	26.5	14.7
前回(H28)	7.1	24.0	22.8	29.3	16.7
男性	9.6	22.5	25.2	26.8	15.9
女性	9.5	25.1	26.5	25.7	13.1
抵抗を感じる	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3
無記入	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0
18～29歳	11.1	17.8	31.1	37.8	2.2
30～39歳	12.5	25.0	26.8	33.9	1.8
40～49歳	9.6	28.9	25.3	31.3	4.8
50～59歳	10.3	31.8	25.2	32.7	0.0
60～69歳	11.5	23.0	29.7	26.4	9.5
70～79歳	6.7	20.7	26.7	22.2	23.7
80歳以上	6.3	17.7	16.7	12.5	46.9

オ 近隣に精神科の病院や障がい者施設がある

項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど いえち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	40	141	182	212	97
回答率(%)	6.0	21.0	27.1	31.5	14.4
前回(H28)	7.5	21.4	22.5	32.0	16.7
男性	6.3	18.5	26.8	33.1	15.2
女性	5.9	23.5	27.9	29.6	13.1
抵抗を感じる	0.0	14.3	0.0	57.1	28.6
無記入	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0
18～29歳	6.7	31.1	28.9	28.9	4.4
30～39歳	7.1	21.4	30.4	41.1	0.0
40～49歳	3.6	22.9	30.1	38.6	4.8
50～59歳	8.4	29.0	24.3	38.3	0.0
60～69歳	6.8	16.2	35.8	32.4	8.8
70～79歳	4.4	19.3	25.9	26.7	23.7
80歳以上	5.2	15.6	13.5	19.8	45.8

カ 近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある

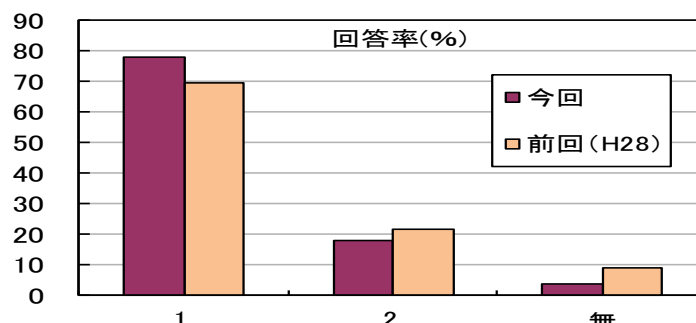
項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど いえち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	11	27	165	372	97
回答率(%)	1.6	4.0	24.6	55.4	14.4
前回(H28)	1.0	4.6	20.7	57.8	15.9
男性	1.7	3.6	24.2	55.3	15.2
女性	1.7	4.5	25.7	55.0	13.1
抵抗を感じる	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
無記入	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
18～29歳	2.2	2.2	33.3	60.0	2.2
30～39歳	0.0	5.4	25.0	67.9	1.8
40～49歳	1.2	2.4	24.1	67.5	4.8
50～59歳	0.9	4.7	25.2	69.2	0.0
60～69歳	0.7	4.7	29.7	56.1	8.8
70～79歳	3.0	3.7	23.0	45.9	24.4
80歳以上	3.1	4.2	14.6	33.3	44.8

キ 近隣に保育園や幼稚園などがある

項目	1	2	3	4	無
回答内容	避ける	るいど えち ばら 避け けと	ないど いえち ばら 避け けと	な全 いく 気に し	無回答
回答数	6	34	142	394	96
回答率(%)	0.9	5.1	21.1	58.6	14.3
前回(H28)	1.5	4.8	14.2	63.9	15.6
男性	1.0	3.6	18.2	61.9	15.2
女性	0.8	6.1	24.3	55.6	13.1
抵抗を感じる	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無記入	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0
18～29歳	0.0	6.7	28.9	62.2	2.2
30～39歳	0.0	5.4	19.6	73.2	1.8
40～49歳	1.2	6.0	16.9	72.3	3.6
50～59歳	0.0	4.7	21.5	73.8	0.0
60～69歳	1.4	4.7	21.6	64.2	8.1
70～79歳	2.2	4.4	23.7	45.2	24.4
80歳以上	0.0	5.2	17.7	31.3	45.8

問 18-1 あなたは、部落差別問題について知っていますか。

（問題の認知）



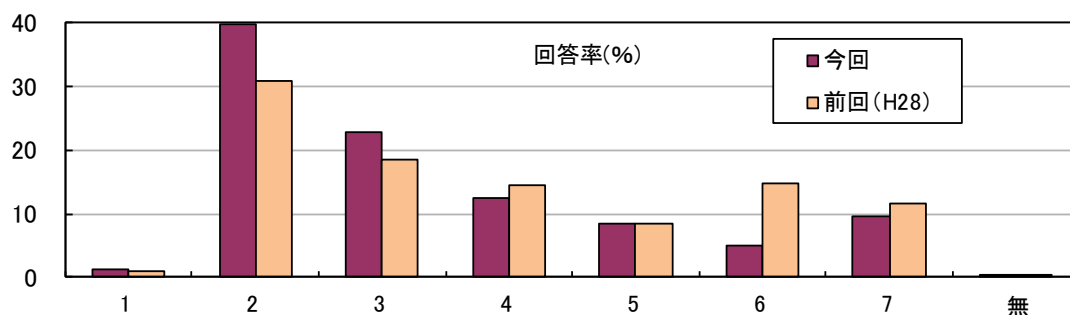
項目	1	2	無
回答内容	知っている	知らない	無回答
回答数	525	121	26
回答率(%)	78.1	18.0	3.9
前回 (H28)	69.4	21.5	9.1
男性	77.2	18.5	4.3
女性	79.1	17.6	3.4
抵抗を感じる	85.7	14.3	0.0
無記入	60.0	20.0	20.0
18～29歳	64.4	33.3	2.2
30～39歳	73.2	26.8	0.0
40～49歳	77.1	21.7	1.2
50～59歳	92.5	7.5	0.0
60～69歳	81.8	16.2	2.0
70～79歳	73.3	20.7	5.9
80歳以上	74.0	13.5	12.5

【結果】

- ①「知っている」が78.1%、「知らない」が18.0%となっています。前回(H28年)調査と比べると、「知っている」が8.7%増加し、「知らない」が3.5%減少しています。
- ②性別や全年代で、「知っている」が高くなっています。
- ③年代別では、50歳代で「知っている」が高く、一方「知らない」は29歳以下で高くなっています。

問 18-2 あなたが、被差別部落や部落差別問題について、【初めて知った時期】は、いつ頃ですか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

(初めて知った時期)



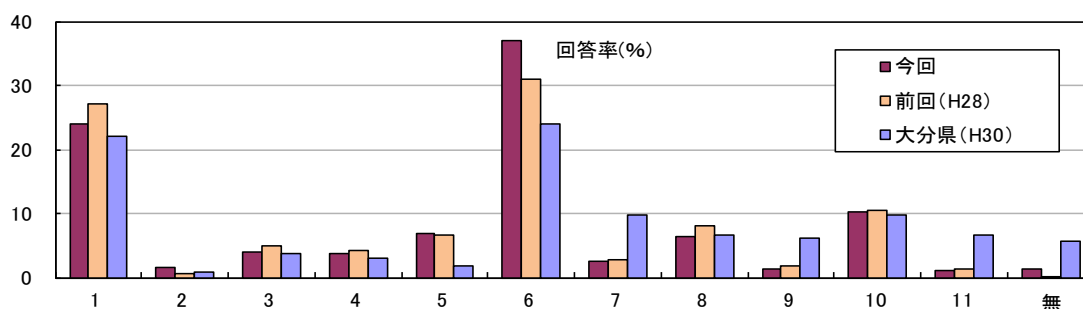
項目	1	2	3	4	5	6	7	無
回答内容	6歳未満	6歳～12歳	12歳～15歳	15歳～18歳未満	18歳～22歳未満	22歳以上	覚えていない	無回答
回答数	7	209	121	65	44	26	51	2
回答率(%)	1.3	39.8	23.0	12.4	8.4	5.0	9.7	0.4
前回(H28)	1.0	30.8	18.6	14.6	※ 8.4	※ 14.8	11.7	0.2
男性	1.7	33.9	25.8	16.7	8.6	4.7	8.2	0.4
女性	1.1	43.8	21.2	8.8	8.1	5.3	11.3	0.4
抵抗を感じる	0.0	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
無記入	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	0.0	58.6	17.2	6.9	10.3	3.4	3.4	0.0
30～39歳	0.0	61.0	19.5	12.2	2.4	0.0	2.4	2.4
40～49歳	1.6	73.4	7.8	6.3	1.6	3.1	4.7	1.6
50～59歳	2.0	55.6	17.2	8.1	8.1	4.0	5.1	0.0
60～69歳	0.0	26.4	28.1	17.4	11.6	7.4	9.1	0.0
70～79歳	1.0	19.2	31.3	15.2	12.1	7.1	14.1	0.0
80歳以上	4.2	18.3	29.6	14.1	7.0	4.2	22.5	0.0

※前回(H28)調査では、項目5は「18歳～20歳未満」、項目6は「20歳以上」に設定

【結果】

- ①「6歳～12歳」が39.8%と高く、次いで「12歳～15歳」、「15歳～18歳未満」の順となっています。
- ②性別では、「6歳～12歳」で男女とも高くなっています。
- ③年代別では、59歳以下で「6歳～12歳」が高く、60歳以上で「12歳～15歳」が高くなっています。

問19 問18の【知ったきっかけ】は「何」ですか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)



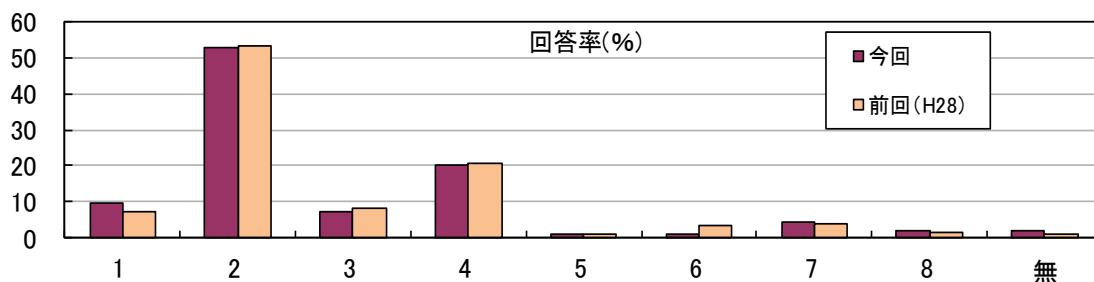
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無
回答内容	家族から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	友達から聞いた	学校の授業で学んだ	テレビやインターネット	部落差別問題の学習会で知った	市や県の広報紙や冊子で知った	はつきり覚えていない	その他	無回答
回答数	126	8	21	20	36	194	13	34	7	54	5	7
回答率(%)	24.0	1.5	4.0	3.8	6.9	37.0	2.5	6.5	1.3	10.3	1.0	1.3
前回(H28)	27.2	0.7	5.0	4.3	6.7	31.1	2.9	8.1	1.9	10.5	1.4	0.2
大分県(H30)	22.1	0.9	3.7	3.0	1.8	24.0	9.8	6.7	6.2	9.7	※ 6.6	5.7
男性	22.3	0.9	6.0	5.2	7.7	30.5	3.9	8.6	0.9	12.4	0.9	0.9
女性	25.4	2.1	2.5	2.8	6.4	41.7	1.4	4.6	1.8	8.8	1.1	1.4
抵抗を感じる	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
18～29歳	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	79.3	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0
30～39歳	12.2	0.0	0.0	2.4	2.4	75.6	0.0	2.4	0.0	4.9	0.0	0.0
40～49歳	12.5	0.0	1.6	0.0	4.7	68.8	1.6	3.1	0.0	7.8	0.0	0.0
50～59歳	24.2	2.0	1.0	3.0	4.0	46.5	2.0	5.1	0.0	9.1	2.0	1.0
60～69歳	31.4	0.8	3.3	5.8	7.4	28.9	1.7	8.3	1.7	9.9	0.0	0.8
70～79歳	28.3	2.0	10.1	5.1	12.1	7.1	5.1	9.1	3.0	15.2	2.0	1.0
80歳以上	31.0	4.2	7.0	5.6	8.5	11.3	2.8	8.5	1.4	14.1	1.4	4.2

※「11.その他」には「知らない」を含む

【結果】

- ①「学校の授業で学んだ」が37.0%と高く、次いで「家族から聞いた」の順となっています。
- ②性別では、「学校の授業で学んだ」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、59歳以下で「学校の授業で学んだ」が高く、60歳以上は「家族から聞いた」が高くなっています。

問20 被差別部落や部落差別問題について、初めて知ったとき、あなたはどう思いましたか。(最も近い番号に1つだけ○をつけてください)



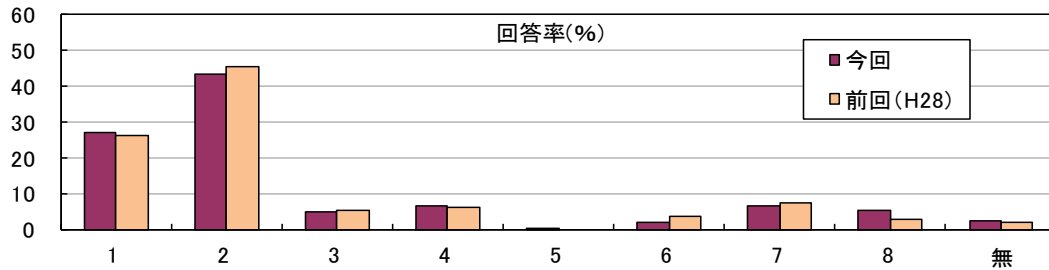
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	無
回答内容	な 差 い 別 と が 思 ある っ こと た を 許 せ	な ぜ 不 思 議 議 に 差 思 別 っ がある た の か 、	い 被 そ 差 う 別 だ 部 と 落 思 の っ 人 た は か わ	よ ど う 分 く い か う ら こ な と な か っ な た の か 、	思 流 被 っ は 差 た 避 別 た け 部 る 落 べ の き 人 だ と の 交	思 ま 自 っ れ 分 た が た 被 く 差 た て く 差 よ 別 部 か 部 っ 落 た っ と 生	だ 自 と 分 思 には っ 関係 た ない こと	そ の 他	無 回 答
回答数	51	277	38	105	5	6	23	10	10
回答率(%)	9.7	52.8	7.2	20.0	1.0	1.1	4.4	1.9	1.9
前回(H28)	7.2	53.5	8.1	20.5	1.0	3.3	4.1	1.4	1.0
男性	10.3	52.4	6.9	20.6	1.3	1.7	4.7	1.7	0.4
女性	8.8	53.0	7.8	19.8	0.7	0.7	4.2	2.1	2.8
抵抗を感じる	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
18～29歳	17.2	58.6	6.9	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	14.6	63.4	7.3	7.3	0.0	0.0	4.9	0.0	2.4
40～49歳	15.6	56.3	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
50～59歳	10.1	55.6	6.1	15.2	1.0	2.0	5.1	4.0	1.0
60～69歳	5.0	52.1	8.3	28.1	2.5	0.8	2.5	0.0	0.8
70～79歳	7.1	45.5	8.1	27.3	0.0	2.0	6.1	2.0	2.0
80歳以上	9.9	49.3	7.0	12.7	1.4	1.4	9.9	2.8	5.6

【結果】

- ①「なぜ差別があるのか、不思議に思った」が52.8%と高く、次いで「どういうことなのか、よく分からなかった」の順となっています。
- ②性別や全年代別でも、「なぜ差別があるのか、不思議に思った」が高くなっています。

※クロス集計表(問20.21)が巻末にあります (P81)

問 2 1 被差別部落や部落差別問題について、現在、あなたはどのように思っていますか。(最も近い番号に1つだけ○をつけてください)

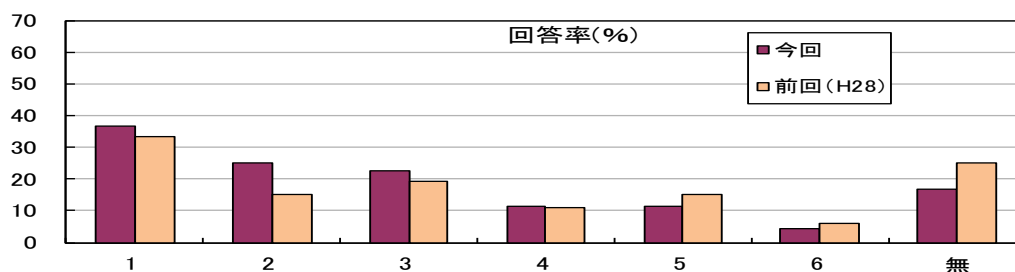


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	無
回答内容	な 差 い 別 が ある こ と を 許 せ	不 な 思 ぜ 議 差 に 別 思 有 っ て る の か、	い 被 そ 差 う 別 だ 部 と 落 思 の っ 人 て は い かわ	よ う く 分 か ら い こ と な の か、	思 流 被 っ は 差 て 避 別 い け 部 る 落 の 人 き だ と の 交	思 ま 自 っ れ 分 て な が い く 被 る 差 よ 別 か 部 つ 落 た に と 生	だ 自 と 分 思 に っ は て 関 い 係 る ない こ と	そ の 他	無 回 答
回答数	143	229	26	36	2	11	35	29	14
回答率(%)	27.2	43.6	5.0	6.9	0.4	2.1	6.7	5.5	2.7
前回(H28)	26.3	45.6	5.3	6.4	0.0	3.8	7.4	3.1	2.1
男性	33.0	36.5	6.0	7.3	0.9	2.6	7.7	5.6	0.4
女性	22.3	49.1	4.2	6.7	0.0	1.8	6.0	5.7	4.2
抵抗を感じる	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
18～29歳	34.5	41.4	6.9	13.8	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
30～39歳	36.6	43.9	2.4	4.9	0.0	0.0	0.0	9.8	2.4
40～49歳	31.3	48.4	3.1	7.8	0.0	1.6	3.1	4.7	0.0
50～59歳	30.3	38.4	4.0	4.0	0.0	2.0	9.1	11.1	1.0
60～69歳	24.8	47.1	4.1	6.6	0.8	3.3	6.6	4.1	2.5
70～79歳	21.2	45.5	6.1	8.1	1.0	3.0	7.1	4.0	4.0
80歳以上	23.9	39.4	8.5	7.0	0.0	0.0	12.7	2.8	5.6

【結果】

- ①「なぜ差別があるのか、不思議に思っている」が43.6%と高く、次いで「差別があることを許せない」の順となっています。
- ②性別や全年代別でも、「なぜ差別があるのか、不思議に思っている」が高くなっています。

問 2 2 被差別部落や部落差別問題について、初めて知ったときから現在までに、気持ちの変化があった方は、そのきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

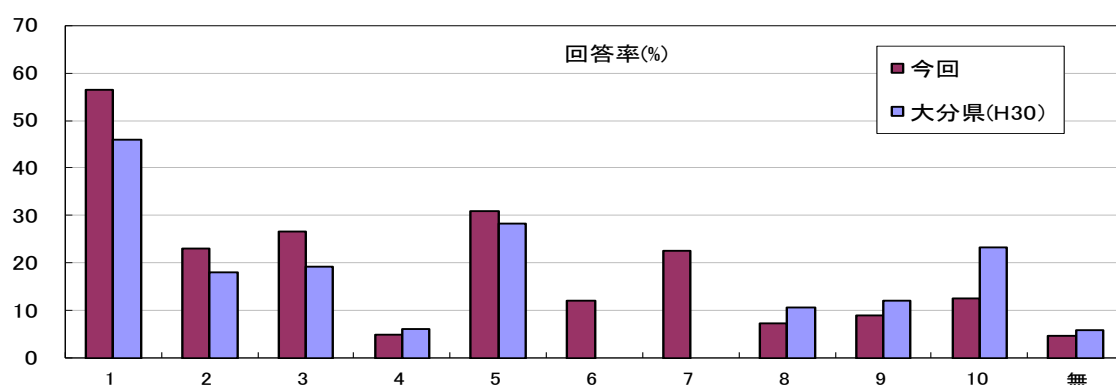


項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	研修会や講演会を聞いて	学校の授業で学んで	家族や友人、知人から聞いて	自分で学習して	被差別部落の人の交流を通して	その他	無回答
回答数	101	69	63	32	32	12	47
回答率(%)	36.6	25.0	22.8	11.6	11.6	4.3	17.0
前回(H28)	33.2	15.3	19.3	11.0	15.3	6.0	25.1
男性	42.1	23.3	21.1	14.3	13.5	3.8	12.8
女性	31.0	26.1	24.6	9.2	9.9	4.9	21.1
抵抗を感じる	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	28.6	78.6	7.1	21.4	0.0	0.0	14.3
30～39歳	21.1	47.4	21.1	21.1	15.8	5.3	10.5
40～49歳	20.7	37.9	20.7	17.2	6.9	6.9	24.1
50～59歳	33.3	37.0	25.9	9.3	7.4	7.4	16.7
60～69歳	44.9	15.9	24.6	5.8	11.6	1.4	20.3
70～79歳	42.6	5.6	22.2	13.0	16.7	1.9	18.5
80歳以上	40.5	10.8	24.3	10.8	16.2	8.1	8.1

【結果】

- ①「研修会や講演会を聞いて」が36.6%と高く、次いで「学校の授業で学んで」、「家族や友人、知人から聞いて」の順となっています。
- ②性別では、「研修会や講演会を聞いて」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、59歳以下で「学校の授業で学んで」が高く、60歳以上で「研修会や講演会を聞いて」が高くなっています。

問23 部落差別問題の中で、特に問題となっていると思われるのはどのようなことですか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)



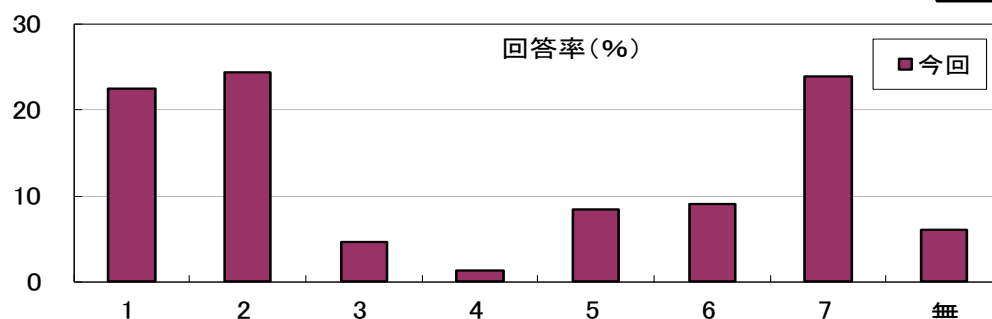
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無
回答内容	結婚を周囲が反対すること	就職や職場で不利な扱いをすること	差別的な言動をすること	差別的な落書きをすること	身元調査をすること	地域の活動やつきあいでの利な扱いをされること	被差別部落への居住が敬遠されること	インターネットを掲載すること	特に問題は起きていない	わからない	無回答
回答数	296	121	139	25	163	63	118	38	47	66	24
回答率(%)	56.4	23.0	26.5	4.8	31.0	12.0	22.5	7.2	9.0	12.6	4.6
大分県(H30)	46.0	18.1	19.2	6.0	28.3	-	-	10.7	12.0	23.2	5.8
男性	55.8	23.6	25.3	6.0	31.3	14.2	27.9	6.4	11.6	9.0	3.9
女性	58.0	22.6	26.7	3.5	30.7	9.9	18.4	7.8	7.1	15.9	4.6
抵抗を感じる	16.7	33.3	16.7	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
無記入	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
18～29歳	55.2	55.2	48.3	13.8	37.9	17.2	13.8	17.2	3.4	6.9	0.0
30～39歳	48.8	26.8	39.0	7.3	31.7	19.5	14.6	14.6	4.9	9.8	2.4
40～49歳	53.1	32.8	34.4	6.3	23.4	14.1	15.6	4.7	1.6	15.6	1.6
50～59歳	61.6	28.3	31.3	6.1	37.4	14.1	28.3	12.1	1.0	8.1	2.0
60～69歳	58.7	14.9	22.3	5.0	31.4	9.1	26.4	7.4	11.6	9.1	5.0
70～79歳	54.5	18.2	19.2	2.0	27.3	7.1	23.2	1.0	16.2	18.2	4.0
80歳以上	56.3	12.7	14.1	0.0	31.0	12.7	21.1	2.8	16.9	18.3	12.7

【結果】

- ①「結婚を周囲が反対すること」が56.4%と高く、次いで「身元調査をすること」、「差別的な言動をすること」の順となっています。
- ②性別では、「結婚を周囲が反対すること」が男女ともに高くなっています。
- ③全年代でも、「結婚を周囲が反対すること」が高くなっています。また、「就職や職場で不利な扱いをすること」「差別的な言動をすること」は、若い年代ほど高い傾向にあります。

問24 学校や職場など、日常生活の中で誰かが被差別部落出身者に対する差別的な発言をした時、あなたはこういった態度を取りますか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

新



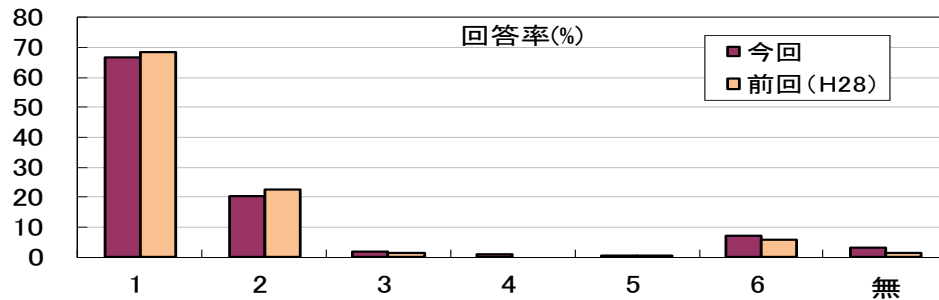
項目	1	2	3	4	5	6	7	無
回答内容	と差別的な発言を指摘して話し合う	が、差別は話合えないことを伝える	表向きは話合えない、何もできない	同調して自分も差別的な言葉を言ってしまう	他の話題に変えようとする	何もせず、その場は黙っている	差別はいけませんが、何もできない	無回答
回答数	118	128	24	7	44	47	125	32
今回	22.5	24.4	4.6	1.3	8.4	9.0	23.8	6.1
男性	23.2	31.3	4.7	1.7	6.9	11.6	13.7	6.9
女性	21.6	18.7	4.6	1.1	9.9	6.7	32.2	5.3
抵抗を感じる	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
無記入	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
18～29歳	31.0	31.0	3.4	0.0	17.2	3.4	10.3	3.4
30～39歳	31.7	26.8	4.9	2.4	2.4	17.1	12.2	2.4
40～49歳	28.1	23.4	3.1	3.1	14.1	15.6	12.5	0.0
50～59歳	27.3	21.2	5.1	2.0	11.1	7.1	24.2	2.0
60～69歳	16.5	27.3	5.0	0.0	7.4	7.4	28.9	7.4
70～79歳	15.2	24.2	7.1	1.0	7.1	8.1	29.3	8.1
80歳以上	22.5	21.1	1.4	1.4	2.8	7.0	29.6	14.1

【結果】

- ①「話を合わせるが、差別はいけなことを伝える」が24.4%と高く、次いで「差別はいけないが、何もできない」、「発言を指摘して話し合う」の順となっています。
- ②性別では、男性で「話を合わせるが、差別はいけなことを伝える」が、女性で「差別はいけないが、何もできない」が高くなっています。
- ③年代別では、59歳以下で「発言を指摘して話し合う」が高く、そのうち29歳以下で「話を合わせるが、差別はいけなことを伝える」と同率で高くなっています。一方、60歳以上で「差別はいけないが、何もできない」が高くなっています。

※クロス集計表(問24)が巻末にあります(P81)

問25 日頃からつきあっている人が被差別部落出身者だとわかった場合、あなたはどうしますか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

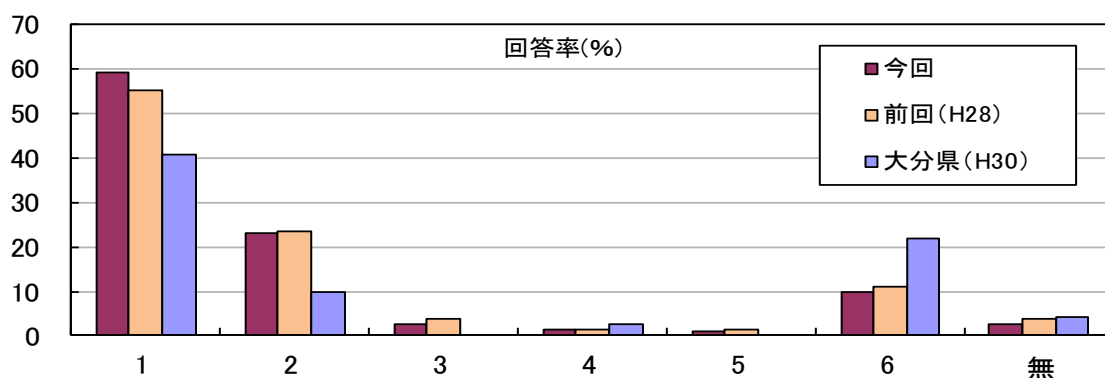


項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	これまでと同じように、親しくつきあう	つかあうが、何となく気を使う	表面的にはつきあうが、避けていく	つかあいは、やめてしまう	その他	わからない	無回答
回答数	349	106	9	4	2	37	18
今回	66.5	20.2	1.7	0.8	0.4	7.0	3.4
前回 (H28)	68.5	22.7	1.4	0.0	0.2	5.7	1.4
男性	70.0	18.9	2.1	0.4	0.9	4.7	3.0
女性	62.9	21.9	1.4	1.1	0.0	9.2	3.5
抵抗を感じる	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
18～29歳	86.2	6.9	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0
30～39歳	68.3	22.0	0.0	2.4	0.0	7.3	0.0
40～49歳	75.0	15.6	1.6	0.0	0.0	7.8	0.0
50～59歳	74.7	14.1	2.0	0.0	0.0	7.1	2.0
60～69歳	63.6	24.0	2.5	1.7	1.7	3.3	3.3
70～79歳	56.6	29.3	0.0	0.0	0.0	10.1	4.0
80歳以上	57.7	18.3	4.2	1.4	0.0	8.5	9.9

【結果】

- ①「これまでと同じように、親しくつきあう」が66.5%と高く、次いで「つきあうことは変わらないが、何となく気を使う」の順になっています。
- ②性別や全年代で、「これまでと同じように、親しくつきあう」が高くなっています。

問26 仮に、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落出身の人であるとわかった場合（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）、あなたはどのようにしますか。（あてはまる番号に1つだけ○をつけてください）

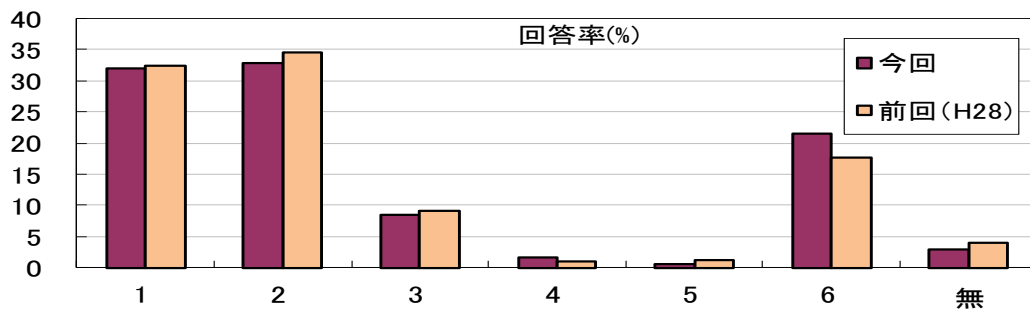


項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	子どもの意思を尊重する	子どもとしては反対するが、仕方がない	家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない	絶対に結婚を認めない	その他	わからない	無回答
回答数	311	121	13	8	6	52	14
回答率(%)	59.2	23.0	2.5	1.5	1.1	9.9	2.7
前回(H28)	54.9	23.6	3.8	1.4	1.2	11.2	3.8
大分県(H30)	40.8	10.0	-	2.4	-	21.7	4.2
男性	59.2	23.6	2.1	0.9	1.7	9.9	2.6
女性	58.7	23.3	2.8	2.1	0.7	9.9	2.5
抵抗を感じる	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
18～29歳	86.2	3.4	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0
30～39歳	73.2	12.2	2.4	0.0	2.4	9.8	0.0
40～49歳	65.6	14.1	1.6	0.0	1.6	17.2	0.0
50～59歳	69.7	20.2	2.0	0.0	2.0	5.1	1.0
60～69歳	59.5	28.9	0.8	2.5	0.8	5.0	2.5
70～79歳	39.4	33.3	2.0	4.0	0.0	18.2	3.0
80歳以上	47.9	25.4	8.5	1.4	0.0	8.5	8.5

【結果】

- ①「子どもの意思を尊重する」が59.2%と高く、次いで「親としては反対するが、子どもの意思が強ければ仕方がない」の順となっています。
- ②性別や全年代でも、「子どもの意思を尊重する」が高くなっています。
- ③また、年代別で、59歳以下で「絶対に認めない」は0%です。

問27 仮に、あなたが結婚しようとする相手が、被差別部落出身の人であるとわかった場合、あなたは、どうしますか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

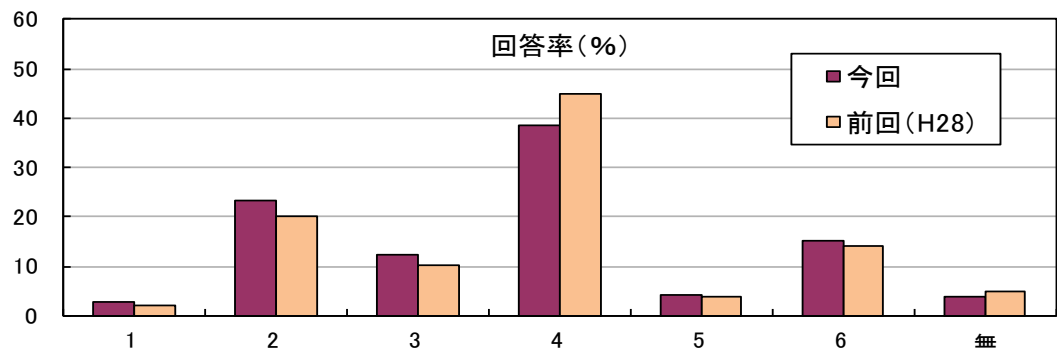


項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	自分の意思を貫いて結婚する	親の説得し、自分の意思を貫いて結婚する	家族や親戚の反対があれば、結婚しない	絶対に結婚しない	その他	わからない	無回答
回答数	168	172	44	9	3	113	16
回答率(%)	32.0	32.8	8.4	1.7	0.6	21.5	3.0
前回(H28)	32.5	34.6	9.1	1.0	1.2	17.7	4.1
男性	36.9	33.0	7.7	0.9	0.9	17.6	3.0
女性	27.6	32.9	9.2	2.5	0.4	25.1	2.5
抵抗を感じる	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
無記入	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
18～29歳	62.1	20.7	0.0	0.0	0.0	17.2	0.0
30～39歳	43.9	31.7	2.4	0.0	4.9	17.1	0.0
40～49歳	40.6	32.8	4.7	1.6	0.0	18.8	1.6
50～59歳	38.4	33.3	9.1	0.0	0.0	18.2	1.0
60～69歳	25.6	40.5	6.6	3.3	0.8	20.7	2.5
70～79歳	18.2	29.3	13.1	2.0	0.0	34.3	3.0
80歳以上	26.8	29.6	14.1	2.8	0.0	16.9	9.9

【結果】

- ①「親を説得し、自分の意思を貫く」が32.8%と高く、次いで「自分の意思を貫く」、「わからない」の順となっています。
- ②性別では、男性で「自分の意思を貫く」が、女性で「親を説得し、自分の意思を貫く」が高くなっています。
- ③年代別では、全体的に「親を説得し、自分の意思を貫く」、「自分の意思を貫く」、「わからない」が高い傾向にあります。また、60歳代と80歳以上で「親を説得し、自分の意思を貫く」が、70歳代で「わからない」が高くなっています。

問 2 8 部落差別問題に対するあなたのお考えをおたずねします。(最も近い番号に1つだけ○をつけてください)



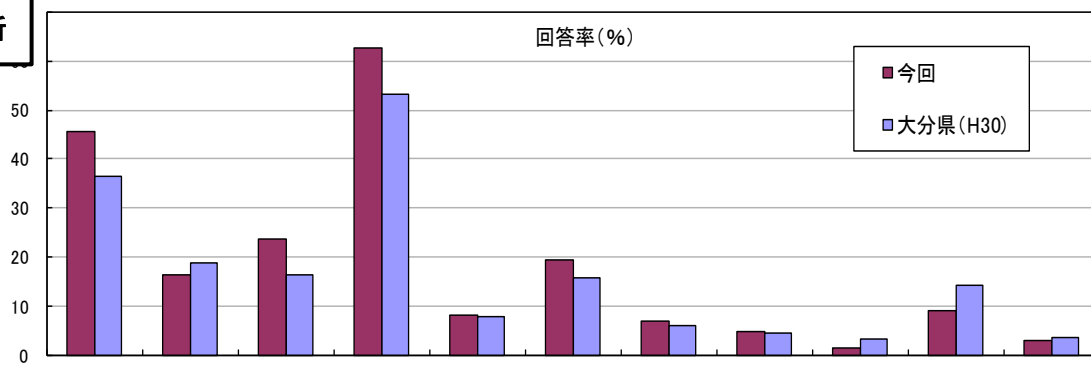
項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	なだ被 いから 差別問 題、自 部落 の人 だ は 直 接 の 関 係 問 題	うか問 せ題分 るだ よは りら ど う 仕 方 な し よ う な い き も に な い 思 ま い	人問自 が題分 解だ は ど う 誰 か し よ う か る か う も 思 べ い う き い	力しか基 すてら本 べ、自 きこ人 だの分 と問も 思題市 うの民 解の 決一 に問 人 努 と だ	そ 他	わ か ら な い	無 回 答
回答数	15	122	64	202	22	80	20
回答率 (%)	2.9	23.2	12.2	38.5	4.2	15.2	3.8
前回 (H28)	1.9	20.0	10.3	45.1	3.8	14.1	4.8
男性	2.6	26.6	11.6	40.3	4.3	11.2	3.4
女性	3.2	20.8	13.1	36.7	4.2	18.4	3.5
抵抗を感じる	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7
無記入	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
18～29歳	3.4	0.0	20.7	62.1	0.0	13.8	0.0
30～39歳	2.4	12.2	14.6	43.9	9.8	17.1	0.0
40～49歳	3.1	18.8	18.8	32.8	6.3	18.8	1.6
50～59歳	1.0	23.2	17.2	38.4	5.1	13.1	2.0
60～69歳	4.1	36.4	5.0	34.7	4.1	10.7	5.0
70～79歳	2.0	20.2	12.1	36.4	3.0	21.2	5.1
80歳以上	4.2	25.4	7.0	40.8	1.4	14.1	7.0

【結果】

- ①「自分も市民の一人として努力すべき」が38.5%と高く、次いで、「なりゆきにまかせる」「わからない」の順となっています。
- ②性別では、男女とも「自分も市民の一人として努力すべき」が高くなっています。
- ③年代別では、60歳代以外の年代で「自分も市民の一人として努力すべき」が高くなっていますが、60歳代では「なりゆきにまかせる」が高くなっています。また、「誰かしかるべき人が解決してくれる」「わからない」の回答も一定数あります。

問 2 9 現在も部落差別が存在するのは、なぜだと思いますか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

新

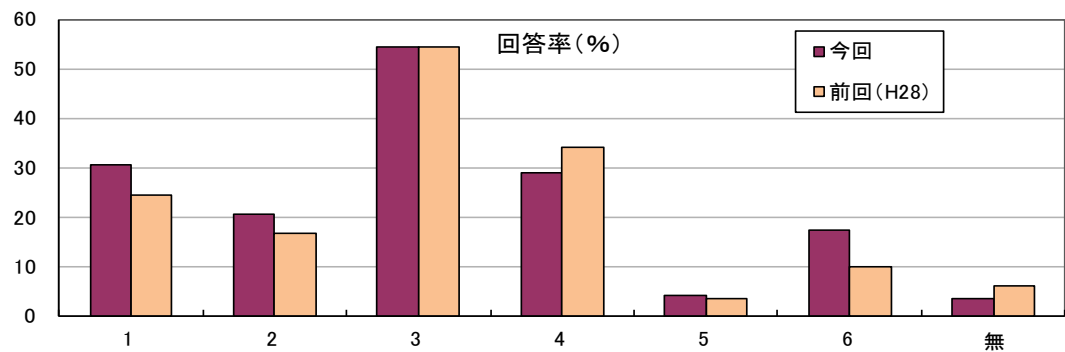


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無
回答内容	るた部 人が、 差別の 関心だ 知識が なかつ	す上落 るなき がでや い差イン か別ン か意ター 知識を 助ネ 長ッ	十こ 分れま でなか のつ教 育たや から啓 発が	て識昔 しまか うその 人が偏 多ま見 い受け から差 別入れ 意	話地域 題と社 な会 るや か家 庭に おい て	と「え 思部せ う落同 から差和 別行 問為 題な 怖ど いによ り	在部 し落 ない 差別 問題 はも はや 存	そ 他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
回答数	240	87	124	329	44	103	36	25	9	49	17
回答率(%)	45.7	16.6	23.6	62.7	8.4	19.6	6.9	4.8	1.7	9.3	3.2
大分県(H30)	36.5	18.8	16.6	53.2	8.0	15.8	6.2	4.6	3.5	14.2	3.7
男性	45.5	18.5	24.0	66.1	8.6	24.9	6.0	5.2	1.7	8.2	3.0
女性	45.9	14.5	23.3	60.1	8.5	15.9	7.8	4.2	1.4	10.6	2.8
抵抗を感じる	66.7	33.3	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
無記入	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
18～29歳	58.6	24.1	34.5	65.5	13.8	13.8	0.0	3.4	0.0	10.3	0.0
30～39歳	41.5	29.3	24.4	65.9	9.8	19.5	0.0	7.3	2.4	4.9	0.0
40～49歳	42.2	15.6	15.6	62.5	12.5	10.9	1.6	6.3	3.1	15.6	1.6
50～59歳	47.5	22.2	24.2	66.7	13.1	17.2	4.0	6.1	1.0	7.1	1.0
60～69歳	55.4	16.5	20.7	66.1	5.0	23.1	6.6	3.3	0.8	5.8	2.5
70～79歳	38.4	8.1	26.3	61.6	4.0	24.2	12.1	6.1	2.0	9.1	5.1
80歳以上	38.0	11.3	26.8	50.7	7.0	21.1	15.5	1.4	2.8	15.5	8.5

【結果】

- ①「昔からの偏見や差別意識をそのまま受け入れるから」が62.7%と高く、次いで「知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」の順となっています。
- ②性別や全年代でも、「昔からの偏見や差別意識をそのまま受け入れるから」が高くなっています。

問30 部落差別問題を解決するためには、どうすればよいと思いますか。（あてはまる番号に3つまで○をつけてください）



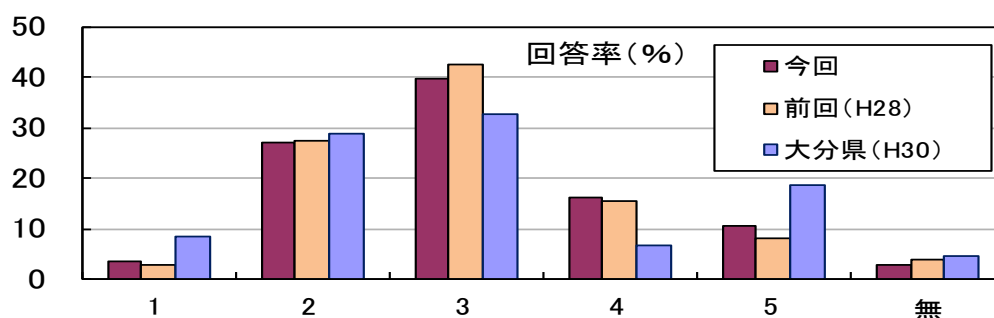
項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	被差別部落の理解を深めるに	差別をなくす、差別の解消、差別の解消、差別の解消	人権教育や啓発を積極的に推進する	部落差別は自然になくなる	その他	わからない	無回答
回答数	160	108	286	151	21	91	19
回答率 (%)	30.5	20.6	54.5	28.8	4.0	17.3	3.6
前回 (H28)	24.3	16.7	54.4	34.1	3.6	9.8	6.0
男性	35.6	26.6	58.4	27.5	6.4	13.3	2.6
女性	26.9	15.9	50.9	30.4	2.1	21.2	3.5
抵抗を感じる	16.7	16.7	83.3	16.7	0.0	0.0	16.7
無記入	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
18～29歳	37.9	31.0	65.5	13.8	6.9	17.2	0.0
30～39歳	19.5	19.5	61.0	26.8	7.3	12.2	0.0
40～49歳	35.9	18.8	54.7	21.9	4.7	23.4	1.6
50～59歳	32.3	21.2	69.7	16.2	4.0	19.2	1.0
60～69歳	24.8	19.0	49.6	30.6	4.1	15.7	5.0
70～79歳	30.3	15.2	42.4	43.4	3.0	16.2	4.0
80歳以上	36.6	28.2	50.7	36.6	1.4	16.9	8.5

【結果】

- ①「人権教育や啓発を積極的に推進する」が54.5%と高く、次いで「被差別部落の人と積極的に交流する」、「そっとしておけば、差別は自然になくなる」の順になっています。
- ②性別では、男女とも「人権教育や啓発を積極的に推進する」が高くなっています。
- ③年代別では、69歳以下と80歳以上で「人権教育や啓発を積極的に推進する」が、70歳代で「そっとしておけば、差別は自然になくなる」が高くなっています。

※クロス集計表(問30)が巻末にあります (P82)

問3 1 被差別部落の人に対する差別意識はまだあると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

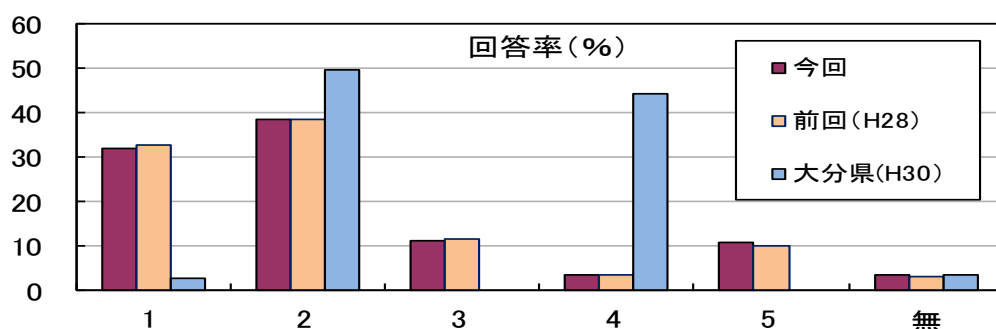


項目	1	2	3	4	5	無
回答内容	なる差別意識をもっていないと思う	と意識はほとんどの人がない	ともなかにいる差別意識を	うる差別意識をもっている	わからない	無回答
回答数	18	142	209	85	56	15
回答率(%)	3.4	27.0	39.8	16.2	10.7	2.9
前回(H28)	2.9	27.4	42.5	15.3	8.1	3.8
大分県(H30)	8.5	28.8	32.8	6.8	18.7	4.4
男性	3.4	27.5	44.2	15.9	6.4	2.6
女性	3.5	27.2	35.7	16.6	14.5	2.5
抵抗を感じる	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7
無記入	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
18～29歳	3.4	17.2	41.4	13.8	20.7	3.4
30～39歳	2.4	12.2	61.0	14.6	9.8	0.0
40～49歳	4.7	28.1	46.9	7.8	10.9	1.6
50～59歳	4.0	20.2	45.5	19.2	10.1	1.0
60～69歳	1.7	28.9	38.8	19.8	8.3	2.5
70～79歳	5.1	34.3	31.3	15.2	11.1	3.0
80歳以上	2.8	35.2	26.8	16.9	11.3	7.0

【結果】

- ①「なかには差別意識をもっている人がいると思う」が39.8%と高く、次いで「ほとんどの人が差別意識はもっていないと思う」の順となっています。
- ②性別においても、「なかには差別意識をもっている人がいると思う」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、69歳以下で「なかには差別意識をもっている人がいると思う」が高くなっていますが、70歳以上で「ほとんどの人が差別意識はもっていないと思う」が高くなっています。

問32 あなたは、被差別部落の人に対する就職差別や結婚差別は、将来なくすることができると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

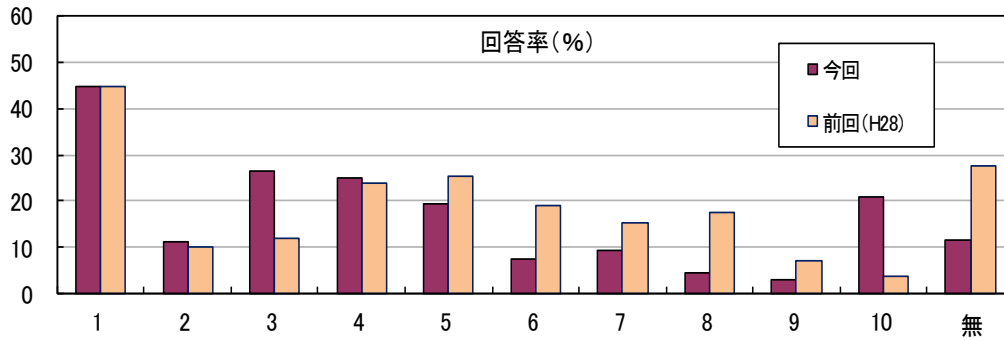


項目	1	2	3	4	5	無
回答内容	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	分からない	無回答
回答数	168	203	59	18	58	19
回答率(%)	32.0	38.7	11.2	3.4	11.0	3.6
前回(H28)	32.9	38.4	11.7	3.6	10.0	3.3
大分県(H30)	2.7	49.6	-	44.2	-	3.5
男性	35.2	35.2	12.0	4.7	9.4	3.4
女性	29.3	41.7	11.0	2.5	12.0	3.5
抵抗を感じる	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
無記入	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
18～29歳	34.5	41.4	13.8	0.0	10.3	0.0
30～39歳	41.5	29.3	9.8	4.9	9.8	4.9
40～49歳	31.3	37.5	14.1	3.1	10.9	3.1
50～59歳	28.3	48.5	12.1	0.0	10.1	1.0
60～69歳	24.8	44.6	10.7	6.6	9.1	4.1
70～79歳	33.3	33.3	12.1	4.0	14.1	3.0
80歳以上	42.3	28.2	7.0	2.8	12.7	7.0

【結果】

- ①「どちらかといえばそう思う」が38.7%と高く、次いで「そう思う」が32.0%で、就職差別や結婚差別をなくことができると考える人たちは合わせると70.7%になります。
- ②性別では、男性で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」が同率で高く、女性で「どちらかといえばそう思う」が高くなっています。
- ③年代別に見ると、29歳以下と40歳から79歳以下で「どちらかといえばそう思う」、30歳代と70歳以上で「そう思う」が高くなっています。なお、70歳代では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」が同率で高くなっています。

問33 あなたは、世間ではどのようなことで被差別部落出身者と判断していると思いますか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)



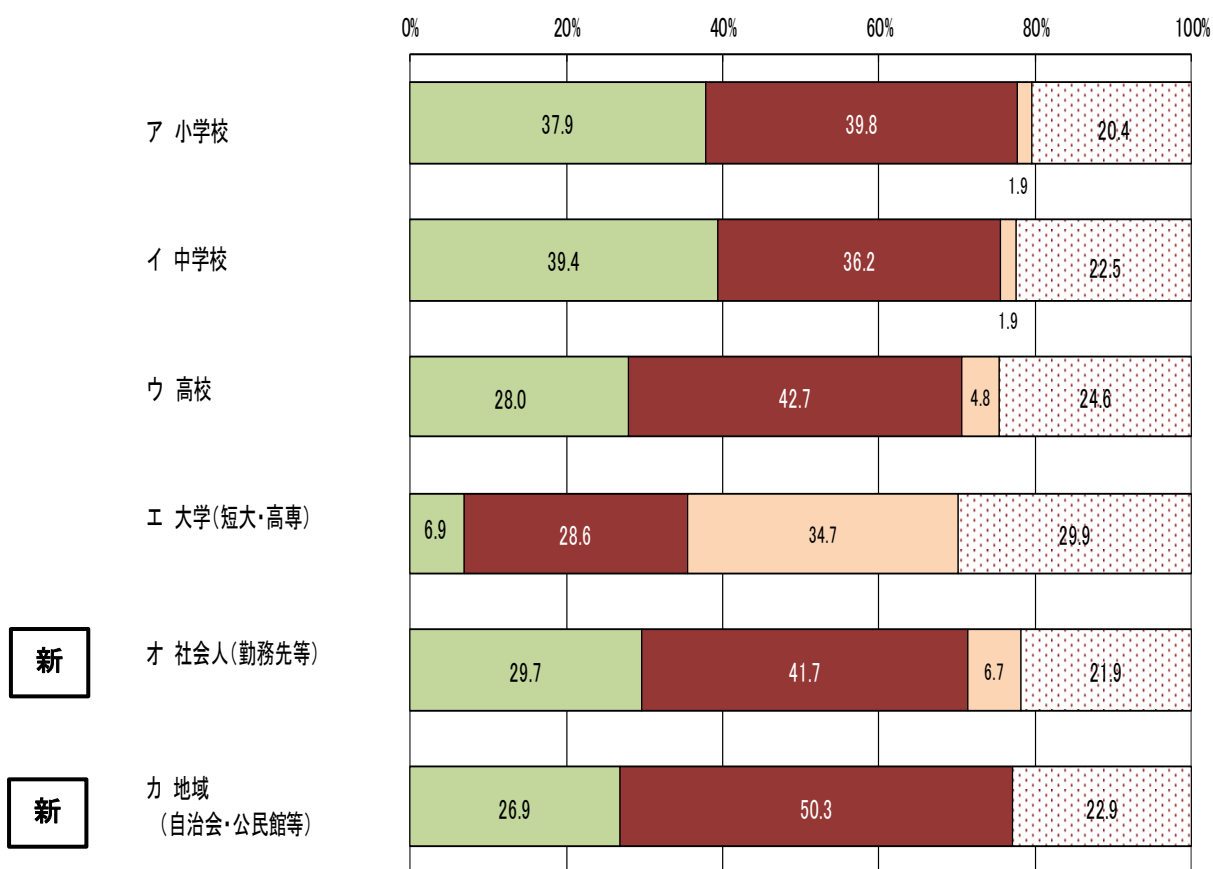
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無
回答内容	に本人が現在、被差別部落	落本人が過去に、被差別部落	落本人の本籍地が被差別部落	落本人の出生地が被差別部落	差別部落に居住する親が被差別部落	籍地がある別は部落である	生母がある別は部落である	職業によって判断している	その他	わからない	無回答
回答数	235	60	139	132	103	39	50	24	16	109	62
回答率(%)	44.8	11.4	26.5	25.1	19.6	7.4	9.5	4.6	3.0	20.8	11.8
前回(H28)	44.6	10.0	11.9	23.9	25.3	19.1	15.5	17.4	7.2	3.8	27.7
男性	48.5	12.4	28.8	27.0	20.2	7.3	7.7	5.6	3.0	17.2	12.9
女性	42.4	10.6	24.7	23.7	19.8	7.8	11.0	3.5	2.8	23.7	10.6
抵抗を感じる	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7
無記入	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
18～29歳	20.7	3.4	24.1	31.0	20.7	10.3	17.2	0.0	3.4	31.0	6.9
30～39歳	51.2	12.2	29.3	26.8	24.4	9.8	12.2	7.3	4.9	19.5	7.3
40～49歳	37.5	9.4	21.9	25.0	15.6	9.4	7.8	4.7	1.6	32.8	3.1
50～59歳	56.6	14.1	32.3	26.3	21.2	8.1	5.1	3.0	1.0	23.2	3.0
60～69歳	50.4	11.6	27.3	28.9	22.3	7.4	9.9	6.6	5.8	14.0	9.9
70～79歳	40.4	12.1	22.2	19.2	19.2	5.1	10.1	3.0	3.0	22.2	17.2
80歳以上	38.0	11.3	26.8	22.5	14.1	5.6	11.3	5.6	1.4	12.7	31.0

【結果】

- ①「現在、被差別部落に住んでいる」が44.8%と高く、次いで「本籍地が被差別部落である」、「出生地が被差別部落である」の順になっています。
- ②性別でも、「現在、被差別部落に住んでいる」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、29歳以下で「本人の出生地が被差別部落である」と「わからない」が同率で高く、30歳以上で「現在、被差別部落に住んでいる」が高くなっています。

問34 あなたは、部落差別問題について、学校や社会人になって教育や啓発研修等を受けましたか。(ア～カのそれぞれに、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)

□ 受けたことがある ■ 受けたことがない □ ここには行っていない □ 無回答



【結果】

- ①「受けたことがある」は、中学校が39.4%と高く、次いで小学校の順となっています。
- ②「受けたことがない」は、地域が50.3%と高く、次いで高校の順となっています。

ア 小学校

項目	1	2	3	無
回答内容	が受けたこと	が受けたこと	行っていない	無回答
回答数	199	209	10	107
回答率(%)	37.9	39.8	1.9	20.4
前回(H28)	45.4	43.4	0.2	11.0
大分県(H30)	52.0	35.1	1.8	11.2
男性	30.0	45.9	2.6	21.5
女性	43.5	35.7	1.4	19.4
抵抗を感じる	83.3	16.7	0.0	0.0
無記入	33.3	0.0	0.0	66.7
18～29歳	69.0	27.6	3.4	0.0
30～39歳	68.3	19.5	2.4	9.8
40～49歳	76.6	20.3	0.0	3.1
50～59歳	59.6	32.3	1.0	7.1
60～69歳	21.5	53.7	0.8	24.0
70～79歳	11.1	52.5	4.0	32.3
80歳以上	8.5	43.7	2.8	45.1

イ 中学校

項目	1	2	3	無
回答内容	が受けたこと	が受けたこと	行っていない	無回答
回答数	207	190	10	118
回答率(%)	39.4	36.2	1.9	22.5
前回(H28)	49.2	39.1	0.7	11.0
大分県(H30)	55.0	32.0	2.0	11.1
男性	34.3	39.5	2.6	23.6
女性	42.8	33.9	1.4	21.9
抵抗を感じる	83.3	16.7	0.0	0.0
無記入	33.3	33.3	0.0	33.3
18～29歳	62.1	31.0	3.4	3.4
30～39歳	65.9	26.8	2.4	4.9
40～49歳	65.6	25.0	0.0	9.4
50～59歳	57.6	32.3	1.0	9.1
60～69歳	27.3	45.5	1.7	25.6
70～79歳	23.2	42.4	3.0	31.3
80歳以上	9.9	35.2	2.8	52.1

ウ 高校

項目	1	2	3	無
回答内容	が受けたこと	が受けたこと	行っていない	無回答
回答数	147	224	25	129
回答率(%)	28.0	42.7	4.8	24.6
前回(H28)	41.3	38.2	4.5	16.0
大分県(H30)	43.7	36.8	6.3	13.2
男性	25.3	43.3	5.6	25.8
女性	29.0	43.1	4.2	23.7
抵抗を感じる	83.3	16.7	0.0	0.0
無記入	33.3	0.0	0.0	66.7
18～29歳	48.3	44.8	3.4	3.4
30～39歳	56.1	34.1	2.4	7.3
40～49歳	34.4	51.6	3.1	10.9
50～59歳	37.4	51.5	3.0	8.1
60～69歳	23.1	48.8	1.7	26.4
70～79歳	17.2	38.4	8.1	36.4
80歳以上	8.5	22.5	11.3	57.7

エ 大学(短大・高専)

項目	1	2	3	無
回答内容	が受けたこと	が受けたこと	行っていない	無回答
回答数	36	150	182	157
回答率(%)	6.9	28.6	34.7	29.9
前回(H28)	14.3	26.5	36.3	22.9
大分県(H30)	15.2	25.2	35.8	23.8
男性	5.6	26.2	37.8	30.5
女性	7.4	30.4	32.5	29.7
抵抗を感じる	33.3	33.3	33.3	0.0
無記入	0.0	33.3	0.0	66.7
18～29歳	20.7	41.4	34.5	3.4
30～39歳	19.5	41.5	34.1	4.9
40～49歳	7.8	39.1	37.5	15.6
50～59歳	8.1	35.4	46.5	10.1
60～69歳	4.1	26.4	34.7	34.7
70～79歳	3.0	20.2	30.3	46.5
80歳以上	1.4	12.7	22.5	63.4

新

才 社会人(勤務先等)

項目	1	2	3	無
回答内容	が受けたこと	が受けたこと	い行ってはな	無回答
回答数	156	219	35	115
回答率(%)	29.7	41.7	6.7	21.9
前回(H28)	-	-	-	-
大分県(H30)	-	-	-	-
男性	31.3	40.8	6.9	21.0
女性	27.9	43.5	6.0	22.6
抵抗を感じる	50.0	16.7	33.3	0.0
無記入	33.3	0.0	0.0	66.7
18～29歳	34.5	44.8	17.2	3.4
30～39歳	24.4	53.7	14.6	7.3
40～49歳	29.7	57.8	3.1	9.4
50～59歳	39.4	48.5	6.1	6.1
60～69歳	28.1	41.3	5.8	24.8
70～79歳	34.3	33.3	3.0	29.3
80歳以上	14.1	22.5	8.5	54.9

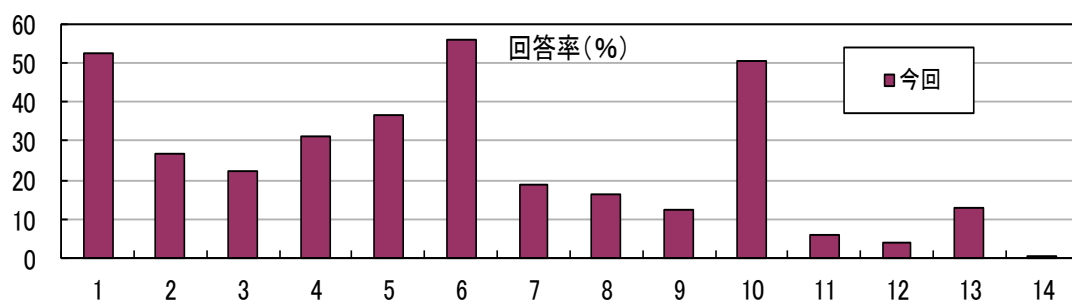
新

力 地域(自治会、公民館等)

項目	1	2	3	無
回答内容	が受けたこと	が受けたこと	い行ってはな	無回答
回答数	141	264		120
回答率(%)	26.9	50.3		22.9
前回(H28)	-	-		-
大分県(H30)	-	-		-
男性	26.6	47.6		25.8
女性	27.2	53.0		19.8
抵抗を感じる	33.3	33.3		33.3
無記入	0.0	33.3		66.7
18～29歳	6.9	69.0		24.1
30～39歳	12.2	78.0		9.8
40～49歳	7.8	75.0		17.2
50～59歳	33.3	57.6		9.1
60～69歳	33.9	45.5		20.7
70～79歳	42.4	32.3		25.3
80歳以上	18.3	28.2		53.5

問35 問34で受けたのはどのような内容だったのでしょうか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

新

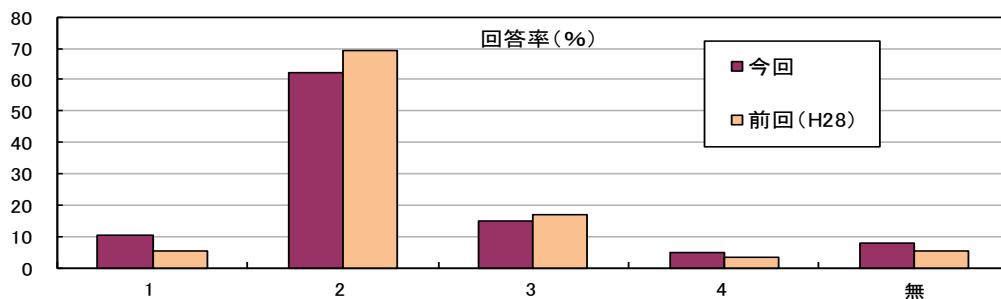


項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
回答内容	い差別はなぜいけないのか	要性部落差別対策の必	差別の厳しさ	厳しい身分制度	の過去の被差別部落	部落差別の歴史	他の人権問題との	な「寝た子を起す論」の誤り	す一人ひとりが努力	人権の大切さ	教科書の無償配布	学校職員の全国統一募集用紙等	覚えていない	無回答
回答数	199	101	84	118	139	211	71	62	47	191	23	16	48	3
回答率(%)	52.6	26.7	22.2	31.2	36.8	55.8	18.8	16.4	12.4	50.5	6.1	4.2	12.7	0.8
男性	52.2	32.1	27.0	37.7	42.8	59.1	20.1	18.9	17.0	50.3	6.3	4.4	8.8	0.6
女性	52.8	22.2	18.4	25.5	31.6	52.8	17.5	14.2	9.0	50.9	5.7	3.8	16.0	0.9
抵抗を感じる	50.0	50.0	16.7	50.0	50.0	66.7	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
無記入	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	58.3	33.3	29.2	33.3	54.2	79.2	16.7	12.5	12.5	58.3	8.3	4.2	16.7	0.0
30～39歳	65.7	31.4	17.1	28.6	48.6	54.3	22.9	11.4	14.3	45.7	14.3	5.7	17.1	0.0
40～49歳	50.0	16.1	19.6	30.4	37.5	50.0	17.9	10.7	14.3	37.5	5.4	7.1	19.6	1.8
50～59歳	48.2	22.4	22.4	28.2	35.3	61.2	16.5	17.6	11.8	56.5	7.1	5.9	10.6	0.0
60～69歳	58.0	30.9	23.5	34.6	38.3	56.8	21.0	22.2	12.3	48.1	7.4	3.7	9.9	0.0
70～79歳	44.1	26.5	17.6	32.4	20.6	45.6	19.1	13.2	5.9	60.3	0.0	0.0	11.8	1.5
80歳以上	55.2	37.9	34.5	31.0	44.8	55.2	17.2	24.1	24.1	41.4	3.4	3.4	6.9	3.4

【結果】

- ①「部落差別の歴史」が 55.8%と高く、次いで「差別はなぜいけないのか」、「人権の大切さ」の順となっています。
- ②性別では、男性は「部落差別の歴史」が、女性は「部落差別の歴史」と「差別はなぜいけないのか」が同率で高くなっています。
- ③年代別では、年代によりばらつきが見られますが、70歳代を除き、「部落差別の歴史」と「差別はなぜいけないのか」のいずれかが高くなっています。70歳代は「人権の大切さ」が高くなっています。

問36 人権問題については、部落差別問題のみならず、女性や子ども、高齢者、障がい者に関する問題もありますが、今後の部落差別問題における教育や啓発のあり方についておたずねします。（あなたのお考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください）

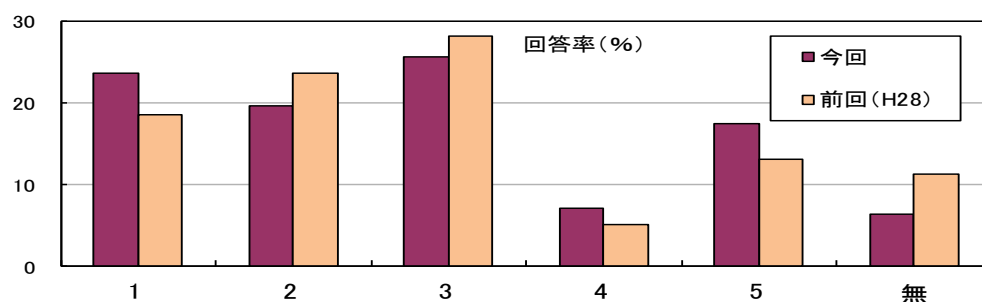


項目	1	2	3	4	無
回答内容	部落差別的に教育や啓発を行うべき	部落差別問題だけでなく、他の人権問題と合わせて積極的な教育や啓発を行うべき	部落差別問題だけでなく、他の人権問題と合わせて、教育や啓発の重要性を認識している	部落差別問題だけでなく、他の人権問題と合わせて、必要に応じて教育や啓発を行うべき	無回答
回答数	54	327	77	25	42
回答率(%)	10.3	62.3	14.7	4.8	8.0
前回(H28)	5.3	69.5	16.7	3.3	5.3
男性	11.2	62.7	14.2	5.2	6.9
女性	8.8	62.5	15.5	4.6	8.5
抵抗を感じる	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7
無記入	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
18～29歳	20.7	65.5	6.9	0.0	6.9
30～39歳	19.5	61.0	12.2	4.9	2.4
40～49歳	15.6	62.5	12.5	1.6	7.8
50～59歳	12.1	69.7	11.1	2.0	5.1
60～69歳	5.8	71.1	14.0	4.1	5.0
70～79歳	4.0	50.5	22.2	11.1	12.1
80歳以上	9.9	53.5	16.9	5.6	14.1

【結果】

- ①「他の人権問題とともに積極的な教育や啓発を行うべき」が62.3%で前回と同様に高くなっていますが、「特に重点的に教育や啓発を行うべき」の回答は、前回に比べ増えています。
- ②性別や全年代でも、「他の人権問題とともに積極的な教育や啓発を行うべき」が高くなっていますが、その割合は前回調査に比べ減少しています。

問37 さまざまな人権問題の解決とあなたの関係についておたずねします。(あなたの考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください)



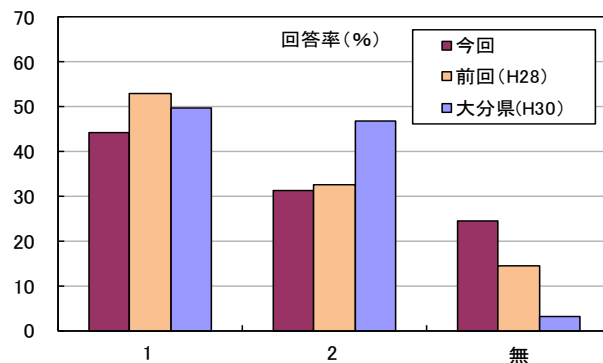
項目	1	2	3	4	5	無
回答内容	自分にも関係があるので解決のために努力する	自分とは関係がないが解決に努力する	自分とも個人関係があるが、問題はどうなるでしょうか	自分とは関係がない	分からない	無回答
回答数	159	132	172	48	117	44
回答率(%)	23.7	19.6	25.6	7.1	17.4	6.5
前回(H28)	18.5	23.7	28.1	5.1	13.2	11.3
男性	25.2	22.2	23.8	7.0	15.2	6.6
女性	22.1	17.9	27.1	7.5	19.3	6.1
抵抗を感じる	42.9	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3
無記入	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0
18～29歳	33.3	17.8	26.7	2.2	13.3	6.7
30～39歳	50.0	16.1	23.2	3.6	7.1	0.0
40～49歳	30.1	14.5	25.3	2.4	25.3	2.4
50～59歳	29.9	16.8	27.1	3.7	18.7	3.7
60～69歳	18.9	23.0	28.4	7.4	18.9	3.4
70～79歳	13.3	20.0	23.7	12.6	19.3	11.1
80歳以上	13.5	25.0	22.9	11.5	12.5	14.6

【結果】

- ①「個人ではどうしようもない問題なのでなりゆきに任せる」が25.6%と高く、次いで、「自分にも関係があるので解決に努力する」、「自分とは関係がないが解決に努力する」の順となっています。
- ②性別では、男性で「自分にも関係があると思うので解決のために努力する」が、女性で「個人ではどうしようもない問題なのでなりゆきに任せる」が高くなっています。
- ③年代別では、59歳以下で「自分にも関係があるので解決に努力する」が、60歳から79歳以下で「個人ではどうしようもない問題なのでなりゆきに任せる」が、80歳以上で「自分とは関係がないが解決に努力する」がそれぞれ高くなっています。

※クロス集計表(問37)が巻末にあります (P82)

問38 日田市では自治会や職場、公民館、学校などでさまざまな人権問題に関する研修会や講演会を行っています。今までに、あなたは参加されたことがありますか。
(ア～オのそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください)



総括(*)

ア 自治会
イ 職場
ウ 公民館
エ 学校
オ その他の団体
(市役所、育友会
PTA、老人クラブ
福祉団体等)

項目	1	2	無
回答内容	が参加した こと	全くが参加 した	無回答
回答数	297	211	164
回答率(%)	44.2	31.4	24.4
前回(H28)	53.0	32.5	14.6
大分県(H30)	49.9	46.9	3.2
男性	48.0	27.8	24.2
女性	40.8	34.6	24.6
抵抗を感じる	57.1	14.3	28.6
無記入	40.0	40.0	20.0
18～29歳	44.4	33.3	22.2
30～39歳	37.5	41.1	21.4
40～49歳	28.9	42.2	28.9
50～59歳	57.9	25.2	16.8
60～69歳	46.6	36.5	16.9
70～79歳	48.9	21.5	29.6
80歳以上	35.4	29.2	35.4

(*)

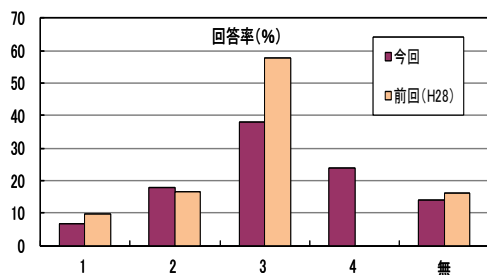
参加したことがあるは
ア～オのいずれかに
1. よく参加している
又は
2. 時々参加している
を回答した数値

全く参加したことがないは、
ア～オのすべてに
3. 参加したことがない
4. 知らない
を回答した人の数値

【結果】

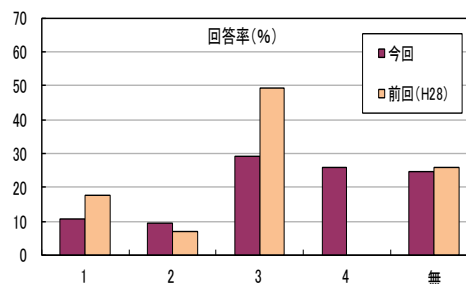
- ①「参加したことがある」は44.2%と高くなっています。
- ②性別では、「参加したことがある」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、30歳から49歳以下で「全く参加したことがない」が、それ以外の年代で「参加したことがある」が高くなっています。

ア 自治会



項目	1	2	3	4	無
回答内容	てよいくる参加し	加ときどいきる参	と参加がなしたこ	知らない	無回答
回答数	45	118	256	160	93
回答率 (%)	6.7	17.6	38.1	23.8	13.8
前回 (H28)	9.8	16.7	57.5	-	16.1
男性	9.9	17.9	35.8	22.5	13.9
女性	3.9	17.6	40.5	24.6	13.4
抵抗を感じる	14.3	0.0	14.3	57.1	14.3
無記入	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0
18～29歳	0.0	8.9	48.9	37.8	4.4
30～39歳	3.6	7.1	55.4	32.1	1.8
40～49歳	1.2	4.8	49.4	39.8	4.8
50～59歳	8.4	21.5	40.2	26.2	3.7
60～69歳	6.8	23.6	39.9	22.3	7.4
70～79歳	10.4	28.1	23.7	13.3	24.4
80歳以上	9.4	9.4	29.2	13.5	38.5

イ 職場



項目	1	2	3	4	無
回答内容	てよいくる参加し	加ときどいきる参	と参加がなしたこ	知らない	無回答
回答数	72	64	197	173	166
回答率 (%)	10.7	9.5	29.3	25.7	24.7
前回 (H28)	17.7	7.1	49.3	-	25.8
男性	10.9	10.3	24.5	27.8	26.5
女性	10.3	8.9	34.4	23.5	22.9
抵抗を感じる	28.6	0.0	0.0	57.1	14.3
無記入	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0
18～29歳	0.0	20.0	37.8	40.0	2.2
30～39歳	7.1	14.3	48.2	28.6	1.8
40～49歳	9.6	10.8	41.0	32.5	6.0
50～59歳	22.4	13.1	30.8	27.1	6.5
60～69歳	13.5	9.5	31.8	26.4	18.9
70～79歳	7.4	7.4	18.5	20.0	46.7
80歳以上	6.3	0.0	14.6	17.7	61.5

※前回の調査では「参加したことがない」だけでしたので、今回はそのうち「知らない」人の割合を確認するために、項目を追加しています。

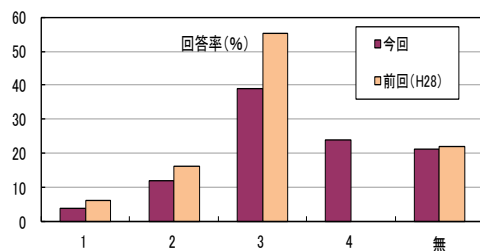
【結果】

- ①「参加したことがない」が 38.1%と高くなっています。
- ②性別では、「参加したことがない」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、70 歳代で「ときどき参加している」が高く、それ以外で「参加したことがない」が高くなっています。

【結果】

- ①「参加したことがない」が 29.3%と高くなっています。
- ②性別では、男性は「知らない」が、女性は「参加したことがない」が高くなっています。
- ③年代別では、29 歳以下と 70 歳以上で「知らない」が、それ以外は「参加したことがない」が高くなっています。

ウ 公民館

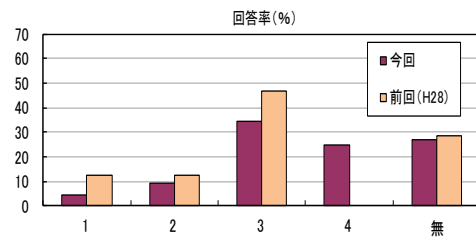


項目	1	2	3	4	無
回答内容	てよいくる参加し	加としきでいきる参	と参加なしたこ	知らない	無回答
回答数	26	81	262	160	143
回答率 (%)	3.9	12.1	39.0	23.8	21.3
前回 (H28)	6.3	16.2	55.3	-	22.2
男性	4.0	11.9	36.8	25.2	22.2
女性	3.6	12.3	41.3	22.3	20.4
抵抗を感じる	14.3	14.3	14.3	57.1	0.0
無記入	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0
18～29歳	0.0	4.4	53.3	37.8	4.4
30～39歳	3.6	5.4	57.1	32.1	1.8
40～49歳	0.0	7.2	50.6	36.1	6.0
50～59歳	7.5	16.8	43.9	25.2	6.5
60～69歳	3.4	14.9	41.9	22.3	17.6
70～79歳	5.2	14.1	24.4	16.3	40.0
80歳以上	4.2	11.5	22.9	13.5	47.9

【結果】

- ①「参加したことがない」が 39.0%と高くなっています。
- ②性別や全年代でも、「参加したことがない」が高くなっています。

エ 学校

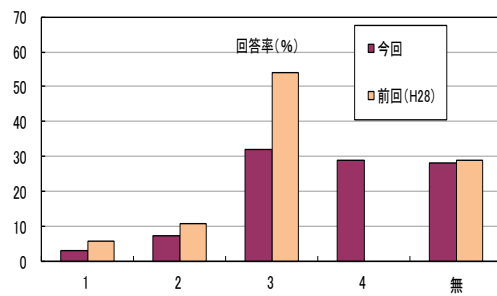


項目	1	2	3	4	無
回答内容	てよいくる参加し	加としきでいきる参	と参加なしたこ	知らない	無回答
回答数	29	64	231	165	183
回答率 (%)	4.3	9.5	34.4	24.6	27.2
前回 (H28)	12.4	12.4	46.7	-	28.5
男性	2.6	8.9	32.1	27.5	28.8
女性	5.3	10.1	36.9	22.1	25.7
抵抗を感じる	28.6	0.0	14.3	42.9	14.3
無記入	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0
18～29歳	11.1	20.0	37.8	26.7	4.4
30～39歳	3.6	10.7	50.0	30.4	5.4
40～49歳	3.6	9.6	49.4	31.3	6.0
50～59歳	10.3	19.6	39.3	22.4	8.4
60～69歳	2.7	8.8	37.8	29.7	20.9
70～79歳	1.5	5.2	21.5	20.0	51.9
80歳以上	2.1	0.0	18.8	15.6	63.5

【結果】

- ①「参加したことがない」が 34.4%と高くなっています。
- ②性別や全年代でも、「参加したことがない」が高くなっています。

オ その他の団体

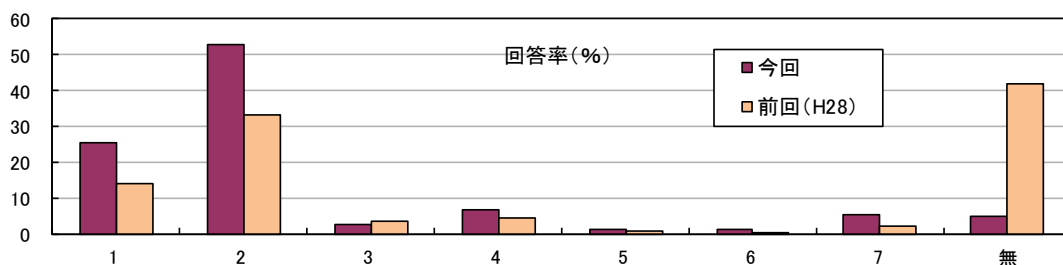


項目	1	2	3	4	無
回答内容	てよいくる参加し	加としきていきる参	と参加がなしたこ	知らない	無回答
回答数	21	50	216	196	189
回答率 (%)	3.1	7.4	32.1	29.2	28.1
前回 (H28)	5.8	10.9	54.1	-	29.1
男性	3.6	7.9	31.5	28.8	28.1
女性	2.8	6.4	33.0	29.6	28.2
抵抗を感じる	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3
無記入	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0
18～29歳	0.0	6.7	37.8	46.7	8.9
30～39歳	1.8	5.4	53.6	30.4	8.9
40～49歳	0.0	3.6	43.4	47.0	6.0
50～59歳	4.7	14.0	38.3	31.8	11.2
60～69歳	4.7	7.4	34.5	29.7	23.6
70～79歳	3.0	6.7	19.3	20.7	50.4
80歳以上	4.2	6.3	15.6	13.5	60.4

【結果】

- ①「参加したことがない」が 32.1%と高くなっています。
- ②性別では、「参加したことがない」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、29 歳以下と 40 歳代、70 歳代で「知らない」が、それ以外で「参加したことがない」が高くなっています。

問 3 9 問 3 8 でア～オのいずれかに「参加した」人におたずねします。研修会や講演会の内容についてどのような印象を受けましたか。(あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください)

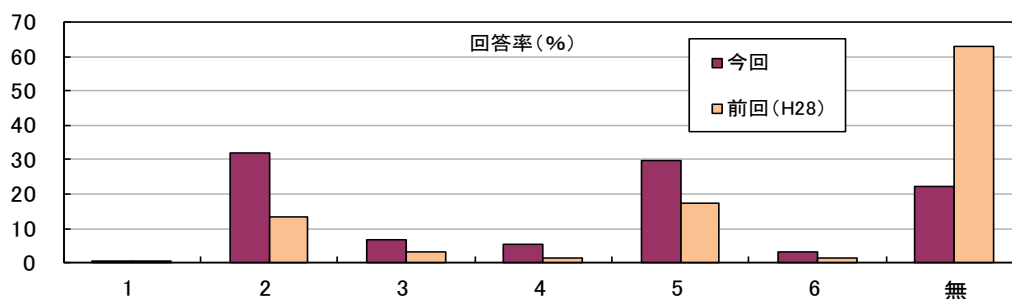


項目	1	2	3	4	5	6	7	無
回答内容	人権問題の理解にたいへん役立った	人権問題について多少知ることができた	内容が難しすぎた、よくわからなかった	内容でも同じような内容だった	内容が物足りなかった	その他	わからない	無回答
回答数	75	158	8	20	4	3	16	14
回答率 (%)	25.2	53.0	2.7	6.7	1.3	1.0	5.4	4.7
前回 (H28)	13.8	33.4	3.4	4.4	0.6	0.3	2.2	41.9
男性	29.0	49.0	2.8	5.5	2.1	0.7	6.9	4.1
女性	21.1	57.1	2.0	8.2	0.7	1.4	4.1	5.4
抵抗を感じる	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	20.0	70.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0
30～39歳	19.0	66.7	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8
40～49歳	33.3	54.2	0.0	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0
50～59歳	32.3	48.4	4.8	3.2	1.6	1.6	6.5	1.6
60～69歳	18.8	63.8	2.9	5.8	0.0	0.0	2.9	5.8
70～79歳	23.9	49.3	1.5	11.9	0.0	1.5	4.5	7.5
80歳以上	29.4	29.4	2.9	8.8	8.8	2.9	8.8	8.8

【結果】

- ①「人権問題について多少知ることができた」が 53.0% と高く、次いで「人権問題の理解にたいへん役立った」となっています。
- ②性別では、「人権問題について多少知ることができた」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、「人権問題について多少知ることができた」が高くなっており、80 歳以上で「人権問題の理解にたいへん役立った」と同率で高くなっています。

問４０ 問３８で、ア～オのすべてに「参加したことがない」人におたずねします。
参加しなかったのはなぜですか。（あてはまる番号に１つだけ○をつけてください）

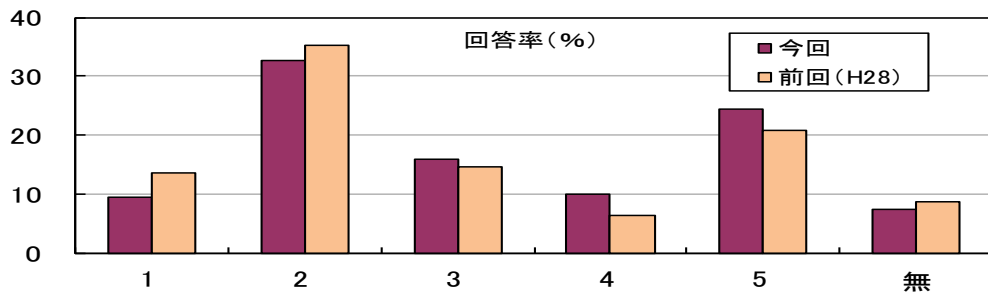


項目	1	2	3	4	5	6	無
回答内容	たが参加しようと思わなかった	知開られなかったことを	たい人の権で問題に関心なかった	よく権知問題のことは、	特に理由はない	その他	無回答
回答数	2	102	22	17	95	10	70
回答率(%)	0.6	32.1	6.9	5.3	29.9	3.1	22.0
前回(H28)	0.5	13.3	3.1	1.5	17.3	1.5	62.8
男性	0.0	32.4	8.8	7.4	23.5	5.1	22.8
女性	1.1	32.8	5.6	4.0	35.0	1.7	19.8
抵抗を感じる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無記入	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
18～29歳	0.0	45.8	8.3	4.2	16.7	4.2	20.8
30～39歳	2.9	28.6	2.9	0.0	28.6	5.7	31.4
40～49歳	1.8	41.1	1.8	1.8	28.6	1.8	23.2
50～59歳	0.0	25.0	4.5	4.5	27.3	2.3	36.4
60～69歳	0.0	33.3	12.5	5.6	33.3	1.4	13.9
70～79歳	0.0	27.7	10.6	12.8	29.8	4.3	14.9
80歳以上	0.0	25.0	5.0	7.5	37.5	5.0	20.0

【結果】

- ①「開催を知らなかった」が32.1%と高く、次いで「特に理由はない」となっています。
- ②性別では、男性では「開催を知らなかった」が、女性は「特に理由はない」がそれぞれ高くなっています。
- ③年代別に見ると、49歳以下と60歳代で「開催を知らなかった」が、30歳代、50歳以上で「特に理由はない」がそれぞれ高くなっています。なお、30歳代と60歳代で「開催を知らなかった」と「特に理由はない」が同率で高くなっています。

問４１ 日田市では、「広報ひた」の毎月１日号やホームページ等に「人権コラム」を掲載しています。あなたは、市報やホームページ・SNSなどで「人権コラム」や人権に関する記事を読んだことがありますか。（あてはまる番号に１つだけ〇をつけてください）

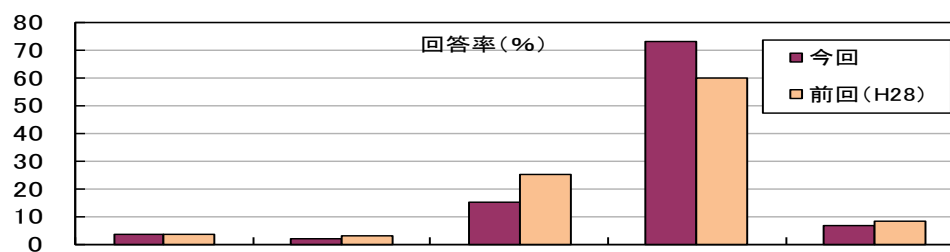


項目	1	2	3	4	5	無
回答内容	毎月読んでいる	ときどき読んでいる	載っていることは知っているが、読むことはない	読んだことはない、関心がないので	載っていることを知らない	無回答
回答数	64	219	107	68	164	50
回答率 (%)	9.5	32.6	15.9	10.1	24.4	7.4
前回 (H28)	13.7	35.3	14.7	6.5	20.9	8.9
男性	10.9	27.2	18.9	12.3	23.8	7.0
女性	8.4	37.2	13.7	8.7	24.9	7.3
抵抗を感じる	14.3	28.6	0.0	0.0	42.9	14.3
無記入	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0
18～29歳	2.2	24.4	6.7	6.7	57.8	2.2
30～39歳	7.1	37.5	14.3	7.1	33.9	0.0
40～49歳	4.8	22.9	16.9	10.8	41.0	3.6
50～59歳	5.6	35.5	21.5	7.5	29.9	0.0
60～69歳	10.1	33.1	22.3	10.1	18.9	5.4
70～79歳	11.1	40.0	11.1	14.8	11.9	11.1
80歳以上	19.8	27.1	11.5	9.4	9.4	22.9

【結果】

- ①「ときどき読んでいる」が32.6%と高く、次いで「載っていることを知らない」の順となっています。
- ②性別では、「ときどき読んでいる」が男女とも高くなっています。
- ③年代別では、30歳代と50歳以上で「ときどき読んでいる」が高く、29歳以下と40歳代で「載っていることを知らない」が高くなっています。

問４２ あなたは、平成２５年度から日田市で始まった「本人通知制度」を知っていますか。（あてはまる番号に１つだけ○をつけてください）



項目	1	2	3	4	無
回答内容	るで知 にっ 登てい 録して すい	うれ知 とから 考てい え登て 録し、 るよこ	い登知 録っ はして いて いなが、	知らない	無 回答
回答数	24	12	101	490	45
回答率(%)	3.6	1.8	15.0	72.9	6.7
前回(H28)	3.6	3.1	25.2	59.8	8.3
男性	4.3	2.6	13.6	73.8	5.6
女性	2.5	1.1	16.8	72.6	7.0
抵抗を感じる	14.3	0.0	0.0	71.4	14.3
無記入	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0
18～29歳	4.4	2.2	11.1	80.0	2.2
30～39歳	5.4	1.8	23.2	69.6	0.0
40～49歳	4.8	4.8	9.6	79.5	1.2
50～59歳	5.6	1.9	12.1	79.4	0.9
60～69歳	2.7	0.0	16.9	75.7	4.7
70～79歳	0.7	0.7	16.3	70.4	11.9
80歳以上	4.2	3.1	15.6	58.3	18.8

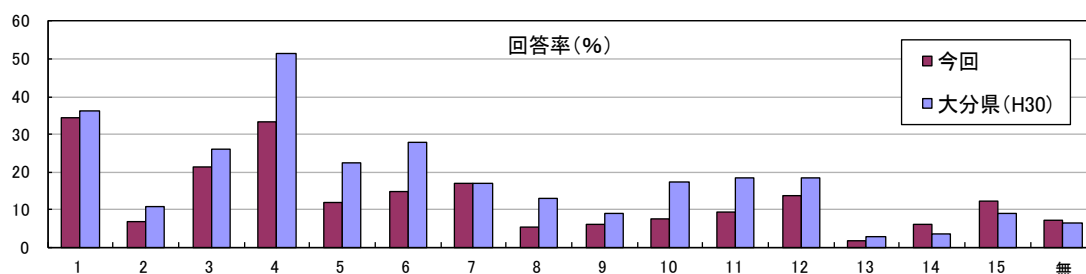
【結果】

- ①「知らない」が72.9%と高く、次いで「知っているが、登録はしていない」の順になっています。
- ②性別や全年代でも、「知らない」が高くなっており、年齢が若いほど「知らない」が高くなる傾向があります。

※クロス集計表(問42)が巻末にあります（P82）

問４３ あなたは、人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか（または、あなたならどれが良いですか）。（あてはまる番号に３つまで○をつけてください）

新



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	無
回答内容	講演会・シンポジウム・研修会	展示会（資料・写真等）	広報誌・パンフレット・ポスター	テレビ・ラジオを利用した啓発広報	映画・ビデオを利用した啓発広報	新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報	インターネット・SNS等を利用した啓発広報	交通広告	ワークショップ	高齢化や障がい者の疑似体験	高齢者・障がい者・外国人との交流会	自由な意見の交換ができる会合	その他	特になし	わからない	無回答
回答数	232	47	144	223	79	99	114	37	40	51	64	92	13	41	82	50
回答率(%)	34.5	7.0	21.4	33.2	11.8	14.7	17.0	5.5	6.0	7.6	9.5	13.7	1.9	6.1	12.2	7.4
大分県(H30)	36.2	10.9	26.2	51.4	22.5	27.9	17.0	13.1	9.0	17.4	18.5	18.4	3.0	3.6	9.2	6.6
男性	36.8	7.0	23.5	36.8	10.6	16.2	17.5	6.0	7.0	5.0	7.3	13.9	2.0	7.0	13.2	4.3
女性	33.2	7.0	19.6	30.4	12.8	13.7	16.8	5.3	5.0	10.1	11.7	13.7	1.7	5.3	11.5	9.2
抵抗を感じる	14.3	0.0	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6
無記入	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0
18～29歳	28.9	6.7	24.4	24.4	13.3	4.4	44.4	4.4	8.9	13.3	6.7	11.1	6.7	2.2	8.9	2.2
30～39歳	28.6	7.1	10.7	33.9	21.4	14.3	39.3	10.7	5.4	12.5	12.5	10.7	3.6	3.6	10.7	1.8
40～49歳	27.7	3.6	14.5	38.6	12.0	13.3	21.7	12.0	6.0	7.2	12.0	13.3	2.4	3.6	21.7	2.4
50～59歳	38.3	11.2	19.6	45.8	15.0	20.6	29.9	3.7	13.1	6.5	12.1	11.2	1.9	0.9	10.3	0.0
60～69歳	38.5	6.8	21.6	34.5	12.2	10.1	9.5	5.4	4.7	9.5	11.5	13.5	1.4	6.1	10.1	8.1
70～79歳	34.8	8.1	27.4	30.4	7.4	19.3	5.2	1.5	2.2	5.2	7.4	15.6	0.7	11.9	8.1	12.6
80歳以上	36.5	3.1	26.0	20.8	7.3	15.6	1.0	5.2	4.2	4.2	4.2	17.7	1.0	9.4	17.7	16.7

【結果】

- ①「講演会・シンポジウム・研修会」が34.5%と高く、次いで「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」、「広報誌・パンフレット・ポスター」の順となっています。
- ②性別では、男性で「講演会・シンポジウム・研修会」と「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」が同率で高く、女性では「講演会・シンポジウム・研修会」が高くなっています。
- ③年代別では、39歳以下で「インターネット・SNS等を利用した啓発広報」、40歳から59歳以下で「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」が高く、60歳以上で「講演会・シンポジウム・研修会」が高くなっています。

問 4 4 人権問題について、また、市の人権問題の取り組みなどについて、あなたの自由な意見をお聞かせください。

1. 自由意見記載者の状況

回答者数	意見記載者数	意見記載件数	意見記載者の割合	記載件数の割合
672	188	227	27.9%	33.7%

2. 自由意見の内容

意見の内容を項目別に分けると、下記のようにになりました。
今後の啓発活動の参考として活用させていただきます。

1	人権問題全般	51 件
2	女性の人権	3 件
3	子どもの人権	3 件
4	高齢者の人権	3 件
5	障がい者の人権	7 件
6	外国人の人権	4 件
7	感染症患者等の人権	1 件
8	性的少数者の人権	1 件
9	インターネット上の人権	3 件
10	部落差別問題	41 件
11	人権教育・啓発活動	73 件
12	意識調査について	18 件
13	上記の内容に含まれないもの	19 件

4. ま と め

今回の意識調査は、前回（平成 28 年）の調査票の調査項目の変更や追加を行い、「人権問題全般に関する質問」6 問、「女性の人権に関する質問」1 問、「子どもの人権に関する質問」1 問、「高齢者の人権に関する質問」1 問、「障がい者の人権に関する質問」1 問、「外国人の人権に関する質問」1 問、「感染症患者等（ハンセン病患者・元患者、HIV 感染者、エイズ患者、新型コロナウイルス感染者など）の人権に関する質問」1 問、「性的少数者の人権に関する質問」1 問、「犯罪被害者等の人権に関する質問」1 問、「インターネットによる人権問題に関する質問」2 問、「部落差別問題に関する質問」20 問、「人権教育及び人権啓発活動に関する質問」8 問、「自由意見」1 問の計 44 問について行いました。

調査結果については、調査項目の単純集計と前回や大分県、性別、年代別の割合をグラフと表にしました。

さらに、関心のある人権問題、法律等の認知度、人権侵害を受けたときの対応、部落差別問題に関する対応、人権問題の解決方法等について、人権に関する研修会・講演会への参加並びに広報ひたや市ホームページ等の「人権コラム」を読んだことがあるかの質問とクロス集計を行いました。

今後は、今回の意識調査の回答結果や意見等を踏まえ、「日田市人権施策基本計画」の見直しや人権研修会等での資料として積極的に活かしていきます。

（1）調査票の回収状況について

回収率を上げる工夫として、今回はインターネットによる回答を導入したほか、前回同様に調査票送付時に人権に関するリーフレットとボールペンを同封し、期間終了前に対象者全員に調査回答の協力に対するお礼を兼ねたハガキによる提出依頼を 1 回行いました。

その結果、今回の有効回収率は、前回より 5.6 ポイント増加の 56.2%でした。また、未記入件数（白紙提出）は、前回の 39 件から 5 件に減少しています。

男女別の有効回収率は、前回と同様に女性の有効回収率が男性よりも高く、年代別では、18～29 歳を除く全年代で有効回収率が前回より上がりました。

今後の方向性

- 次回調査においては、調査の意図や質問内容の明確化及び回答者の負担軽減に配慮するとともに、インターネットによる回答や調査票の回収方法の効果的な手法を研究することにより、さらなる回収率の向上に努め、調査結果の信頼性の向上を目指します。

（２）人権問題全般について （問１～問６）

人権問題の関心度については、「障がい者」に続き、「女性」、次いで「インターネットによる人権侵害」が高く、続いて「高齢者」、「子ども」、「部落差別問題」の順となっています。

このことは、自分自身に関係あるようなことや社会的にクローズアップしてきた人権問題に関心が高い傾向が見られます。

さらに、人権に関する宣言や法律等の認知度については、平成 28 年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（略称：障害者差別解消法）、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（略称：ヘイトスピーチ解消法）、「部落差別の解消の推進に関する法律」（略称：部落差別解消推進法）の差別解消三法が施行されたことから、今回、これらの認知度についても調査を行いました。三法とも、市民に十分に認知できていない状況です。法の実効性を高めるためには、「内容を知っている」の割合を高めることが重要と考え、今後もあらゆる機会を捉えて法の周知のみならず目的や趣旨等についても周知していく取組が必要です。

また、これらの法律に精通した様々な啓発手法を持つ講師の育成に加え、あらゆる分野の人権問題の啓発に対応できる地域リーダーとなる人材の発掘が必要であると考えます。

人権に関する宣言や法律等の認知度については、特に部落差別に関連する認知度が、前回同様、低い結果となっており、研修会や講演会等のほかに新しい啓発手法の構築が急務です。

人権侵害の経験については、「ある」が前回より増加しています。自分の人権が侵害された時の対処方法については、「抗議も相談もしなかった」が前回と同様に高い割合となっています。また、行政機関等への相談が依然として低いことから、より一層、国や県等の相談機関との連携や相談窓口等の周知徹底を行う必要があります。

今後の方向性

- あらゆる人権問題の教育・啓発に対応できる人材の発掘や講師等の育成を図ります。
- 市民の人権尊重の意識を高めるため、社会情勢を踏まえ、より効果的な手法による教育・啓発に取り組みます。
- 誰もが信頼し相談できる相談窓口の体制強化を図ります。
- 市民に公的な相談機関の周知を図るとともに各関係機関との連携を推進します。

（３）女性の人権について （問７）

女性に関する人権問題については、「職場における差別待遇」が全年代で最も高く、次いで「男女の固定的役割分担意識」、「ドメスティック・バイオレンス」と続き、特に若年層が問題意識を強く持っている傾向が伺えます。

女性の社会参画が進む一方で解決すべき課題が今なお多く残されています。

今後の方向性

- 学校、家庭、地域、職場などあらゆる場で、男女平等意識の醸成や男女共同参画について教育・啓発を推進し、個性を認め合う社会の実現を目指します。
- 配偶者等による暴力被害者に対して、相談にあたる職員の資質の向上と救済体制の整備に努めます。

（４）子どもの人権について （問８）

子どもに関する人権問題については、「いじめを受けること」が高く、次いで「虐待を受けること」、「いじめ等を見て見ぬふりをする事」の順となっています。このことから、いじめや虐待問題が大きな課題といえます。

今後の方向性

- 発達段階に応じた子どもの心の教育を推進します。
- 子どもの人権問題（いじめや虐待）の相談窓口の周知徹底を図ります。
- 家庭、学校、地域が一体となっていじめや虐待の早期発見に努め、関係機関と連携した早期対応の取組を推進します。

（５）高齢者の人権について （問９）

高齢者に関する人権問題については、「振り込め詐欺や悪徳商法の被害が多い」が高く、次いで「施設への入居など老後の不安がある」、「一人暮らし、寝たきりなどへの不安や不便がある」の順になっています。

日田市の65歳以上の高齢化率は、35.78%（令和2.10.1国勢調査）であり、前回の32.72%（平成27.10.1国勢調査）より増加しており、今後の超高齢社会に対応した人権施策が求められています。

今後の方向性

- 高齢者の不安の軽減を図るため、相談・支援体制の充実に取り組みます。
- 高齢者が家庭や地域の中で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、若年層など他世代との交流を図りながら社会参加の促進を図ります。
- 関係機関との連携を図り、高齢者に対する家族や地域の理解と認識を深める教育・啓発を推進します。

（６）障がい者の人権について （問１０）

障がい者に関する人権問題については、「就職・職場で不利な扱いをされること」が高く、次いで「差別的な取扱・言動をされること」、「施設整備が十分でないこと」の順となっており、社会参加を阻む要因である障壁（物理的、心理的）を取り除くことが必要であると考えます。

今後の方向性

- 平成 28 年 4 月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」に基づき、社会的障壁を取り除くことについての啓発を行い、共生社会の実現を目指します。
- 障がい者の社会参加と自立を促進するとともに、障がい者に対する理解を深める教育・啓発活動を推進します。
- 身体・知的・精神・発達障害等、それぞれの障がい特性に応じた就労の機会を確保するため、関係機関と連携して促進を図ります。

（７）外国人の人権について （問１１）

外国人に関する人権問題については、「外国語で対応できる病院や施設などの整備が不十分であること」が前回と同様に高く、次いで「文化や習慣の違いなどから地域とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」、「偏見と先入観で一個人として見られないこと」の順となっています。

日田市に居住している外国人は、476 人（令和 3. 3. 31 現在）で総人口に占める割合は 0. 75% と前回（336 人 0. 49%（平成 28. 3. 31）より増加しており、外国人とのふれあいや理解を深める取組が必要であると考えます。

今後の方向性

- 民族や文化の違いを認め合い、多文化共生を進める教育・啓発や交流活動を推進します。
- 平成 28 年 6 月に施行された「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」に基づき、社会的障壁を取り除くことについての啓発を行い、共生社会の実現を目指します。
- 国や民族の違う人々が同じ地域社会で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

(8) 感染症患者（ハンセン病患者・元患者、HIV 感染者、エイズ患者、新型コロナウイルス感染者など）の人権について （問 1 2）

感染症患者に関する人権問題については、「差別的な言動をされる」が高く、次いで「正しい知識や理解が得られていないこと」、「結婚問題で周囲の反対を受けること」の順となっています。

令和 2 年から感染拡大した「新型コロナウイルス感染症」の蔓延に伴い、『コロナ差別』という新たな人権侵害が発生し、未知のウイルスに対する恐怖心や正しい知識の不足などから、感染者やその家族、医療従事者等に対する偏見や誹謗中傷が問題となりました。

今後においても、すべての感染症患者の病気に対する思い込みや理解不足が、差別や偏見を助長する結果となり得ることから、正しい知識の普及や冷静な判断が重要であるとの理解を深め、偏見や差別を解消していくことが必要であると考えます。

今後の方向性

- 感染症患者や関係者などに対する差別や偏見を解消するため、正しい知識と理解を深める教育・啓発を行います。

(9) 性的少数者に関する人権について （問 1 3）

同性愛や両性愛といった性的指向・性自認（性同一性）などの性的少数者に関する人権問題については、「社会的理解が低いこと、誤解や偏見があること」が高く、次いで「同性パートナーシップ制度などの整備が十分でないこと」、「地域、職場や学校などで差別的な言動を受ける」の順となっています。

性的少数者の中には、偏見や差別を恐れ一人で悩み苦しんでいる人もいます。一人ひとりの違いを認め、偏見や差別をなくす教育や啓発活動を推進していくことが必要であると考えます。

今後の方向性

- 性的少数者に対する人権侵害を防止するため、性の多様性への理解と認識を深める教育・啓発を推進します。
- パートナーシップ宣誓制度の導入と市民へ向けた周知を推進します。

(10) 犯罪被害者等に関する人権問題について （問 1 4）

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題については、「プライバシーが公表され、私生活の平穏が保てなくなること」が高く、次いで「周囲でうわさ話をされること」、「精神的なショックを受けること」の順となっています。

犯罪被害者とその家族が、興味本位のうわさや心無い中傷などによって名誉を傷つけられ、

私生活の平穏が脅かされないように、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要と考えます。

今後の方向性

- 犯罪被害者等に対する人権侵害を防止するため、関心と理解を深める教育・啓発を推進します。

(11) インターネットによる人権問題について （問 15～問 16）

インターネットによる人権問題については、「誹謗中傷や差別の助長など、人権侵害情報が掲載されること」が高く、次いで「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」の順となっています。

総務省の「令和3年度通信情報白書」では、個人のインターネット利用率は約8割となっており、近年のスマートフォンやSNS等の情報通信の進展に伴い、書き込みだけでなく、画像や動画などの発信による誹謗中傷や差別など、名誉毀損等の問題が深刻な状況となっています。職場や学校等での情報教育や社会全体で情報モラルの啓発活動を推進していくことが必要であると考えます。

今後の方向性

- 情報化社会における人権侵害を防止するため、人権意識の高揚とモラルについての教育・啓発を推進します。
- インターネットモニタリングを行い、現状の把握、必要に応じ削除要請、モニタリングの周知を図り、インターネットによる人権侵害抑止を図ります。
- インターネットによる人権侵害の相談に対応するとともに、他の相談機関との連携を図ります。

(12) 部落差別問題について （問 17～問 36）

部落差別問題の認知度については、「知っている」は78.1%（前回69.4%）となっており、増加しています。また、「知ったきっかけ」は、「学校の授業で学んだ」が59歳以下で高く、「家族から聞いた」が60歳以上で高くなっています。

住まいを選ぶ際の条件については、「被差別部落の地域内」を「全く気にしない」が20.8%で、39歳以下は「全く気にしない」が高くなっていますが、その他の年代は「どちらかといえば避ける」が高くなっています。

「近隣に被差別部落がある」を「どちらかといえば避けない」と「全く気にしない」を合わせると47.8%で、59歳以下では、「全く気にしない」が高くなっています。

部落差別問題についての思いは、「初めて知ったとき」に「差別があることを許せないと思った」が9.7%でしたが、「現在」では増加して27.2%となり、気持ちの変化が顕著に現れています。また、「ということなのか、よく分からなかった」が、20.0%から6.9%に減少しています。そのきっかけとなったのは「研修会や講演会を聞いて」が高く（今回36.6%、前回33.2%）、次いで「学校の授業で学んで」（今回25.0%、前回15.3%）、「家族や友人、知人から聞いて」（今回22.8%、前回19.3%）の順になっています。

被差別部落出身の人との結婚については、子どもの結婚は「子どもの意思を尊重する」が高くなっていますが（今回59.2%、前回54.9%）、本人の結婚については「親の説得に全力を傾けた後、自分の意思を貫いて結婚する」（今回32.8%、前回34.6%）と「自分の意思を貫いて結婚する」（今回32.0%、前回32.5%）がほぼ同程度の割合で推移しています。

部落差別問題解決に向けた考えについては、「人権教育や啓発を積極的に推進する」が高く（今回54.5%、前回54.4%）、次いで「被差別部落の人と積極的に交流を図り、理解を深める」（今回30.5%、前回24.3%）となっています。一方で「そっとしておけば差別はなくなる」は（今回28.8%、前回34.1%）と前回より減っていますが、まだ高い割合で「寝た子を起こすな」という意識が残っている傾向にあります。

部落差別地区の人に対する「差別意識をもっている人がいるか」については、「差別意識をもっている人はもういなくなった」は全体で3.4%と依然低く、「なかには差別意識をもっている人がいる」が、39.8%と高くなっています。

未だに残る差別意識の解消のため、あらゆる機会をとらえ「部落差別解消推進法」の周知を含めた研修会や講演会の開催及び被差別部落出身者との交流などを通して、教育・啓発を推進していくことが必要であると考えます。

今後の方向性

- 被差別部落に対する偏見や差別意識を解消するため、平成28年12月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨等を周知することで、法の実効性を高めます。
- 市民が部落差別を身近な人権問題として正しく理解し、解決に向けた努力ができるよう教育・啓発を推進します。
- 部落差別問題の解決に向け啓発内容や手法を研究し、より効果的な教育・啓発活動の推進に努めます。
- 地域や世代間での交流活動を通じて理解を深める取組を推進します。

(13) 人権教育及び人権啓発活動等について（問37～問43）

さまざまな人権問題とあなたとの関係については、「自分にも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題なのでなりゆきに任せる」が25.6%（前回28.1%）で高く、次いで「自分にも関係があると思うので解決のために努力する」が23.7%（前回18.5%）となっています。

年代別では、59歳以下の各年齢層で、「自分にも関係があると思うので解決のために努力する」が高く、若年層ほど高い傾向にあり、30歳代では50%でした。60歳から79歳以下では「自分にも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題なのでなりゆきに任せる」が高くなっています。また、59歳以下の年齢層において、「自分とも関係あると思うが、個人ではどうしようもない問題であるのでなりゆきに任せる」が各年代で25%前後の回答率となっています。

人権問題の解決について無力感を持った人が一定数いることから、「人権」は憲法に保障された一人ひとりが幸せに生きる権利であり、自分のみならず他者の人権を守らなければならないという意識を醸成する教育や啓発が今後必要と考えます。

自治会、職場等での研修会の参加状況については、「参加した」が44.2%で、前回の53.0%よりも減少しています。また、研修会へ参加した人のうち、「役立った」（今回25.2%、前回13.8%）「知ることができた」（今回53.0%、前回33.4%）と前回よりも増加が見られますが、今後も、研修会や講演会の内容について参加者の理解度など考慮し工夫する必要があります。さらに、「参加したことがない」人の中で、「研修会や講演会が開かれていることを知らなかった」が32.1%で、前回の13.3%より増加していることから、「参加したことがない」「開かれていることを知らない」人への周知方法を工夫する必要があります。

広報ひたや市ホームページの『人権コラム等』に関しては、42.1%（前回は49.0%）の人が読んでいますが、「載っていることを知らない」が29歳以下と40歳代で高くなっています。

「本人通知制度」については、72.9%の人が「知らない」と答えており、前回の59.8%から、知らない人が増加しています。今後、研修会や講演会開催時やあらゆる機会をとらえて制度の重要性を周知するとともに登録方法や申請用紙の見直しを行い利用しやすい制度にすることが必要と考えます。

「人権の大切さを多くの人に知ってもらうための方法」については、「講演会・シンポジウム・研修会」が最も高く、「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」、「広報誌・パンフレット・ポスター」の順となっています。

市民が人権に関する正しい知識と理解に努め、学習の成果として日常生活の中で生かされる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動でなければならないと考えます。

今後の方向性

●講演会や研修参加者、人権に関心がある層は比較的高い人権意識を持つことから、幅広い

年齢層に届く教育・啓発活動に努めます。

- さまざまな方法での学習の場の提供、研修講師及び地域や企業等における人権啓発リーダーの育成と人材の活用に取り組みます。
- 講演会や研修会の開催については、より多くの市民が参加できるよう手法や内容を工夫します。
- さまざまな分野の人権について、学校、地域、家庭、職場等あらゆる場を活用した教育・啓発を推進します。

(14) クロス分析表の結果について

クロス集計については、人権問題の関心度（問 2）、人権に関する法律等の認知度（問 3）、人権侵害を受けたときの対応と相談機関（問 5～6）、住まいを選ぶ際の条件（問 17）、部落差別問題について気持ちの変化（問 20～21）、部落差別発言に出会ったときの態度（問 24）、部落差別問題の解決方法（問 30）、人権問題の解決と意識（問 37）、本人通知制度の認知度（問 42）について、性別、年代別、人権に関する研修会・講演会への参加（問 38）、広報ひたや市ホームページの「人権コラム」等を読んだことがあるか（問 41）を設問ごとに分析を行いました。

その結果、さまざまな人権問題について、多くの人が何らかの人権に関心を持っていることがわかりました。

人権研修会や講演会に「よく参加した」や「ときどき参加した」及び『人権コラム等』を「毎月読んでいる」「ときどき読んでいる」と回答があった人は、人権に関する法律や宣言等の認知度や人権侵害を受けたときの対応及び人権に関する相談機関、人権問題を解決するための方法と関係「本人通知制度の認知度」が高くなっています。

また、部落差別問題のうち、「部落差別問題について気持ちの変化」では、「差別があることを許せないと思った」と回答した人の「初めて知ったとき」と「現在」の差は、全体が 17.5%と高いことに対し、人権に関する研修会等に参加している人は 23.9%と高く、『人権コラム等』を毎月読んでいる人は 29.6%、ときどき読んでいる人は 24.4%と、意識の変化が大きいことがわかりました。

「部落差別発言に出会ったときの態度」については、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」と回答があった人のうち、人権に関する研修会等に参加している人及び『人権コラム等』を毎月読んでいる人は、全体平均よりも高く、逆に「何もせず黙っている」「いけないと思っていても何もできない」の回答は、人権に関する研修会に参加がない人及び『人権コラム等』に関心がない人、載っていることを知らない人が高くなっています。

「部落差別問題を解決するためには」については、「人権研修会等に参加している人」及び

『人権コラム等』を読んでいる人は、「正しい理解が深まるように行政や市民が一体となって、教育・啓発を積極的に推進する」が高くなっています。一方で、「口に出さずそっとしておけば差別は自然になくなる」や「わからない」と回答があった人は、「参加しない」「知らない」人の割合が高くなっています。同様に「本人通知制度の認知度」についても、「知らない」と答えた人は、「参加しない」「知らない」人の割合が高くなっています。

このことから、研修会等による教育や啓発が人権問題の解決に有効であると考えられます。

今後の方向性

- クロス集計による分析を参考に、講演会や研修会の内容や手法を工夫し、市民一人ひとりがお互いに人権を尊重し合う心豊かな共生社会の実現を目指します。
- あらゆる年代の市民が参加したくなる講演会や『人権コラム等』が話題となるような情報発信に努めます。

5.クロス集計表

(クロス集計表 問2)

【問2】 日本の社会には、人権に関わるさまざまな問題がありますが、あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(あてはまる番号に3つまで○をつけてください)

× 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

		回答数	女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題	アイヌの人々	中国帰国者（中国在留邦人）	在日韓国人・朝鮮人	外国人	H I V感染者等	ハンセン病患者・元患者	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族	インターネットなどによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス	性的少数者	東日本大震災やそれに伴う福島原発事故の被害者	新型コロナウイルス感染者等	その他	無回答
全体		672	33.2	24.6	28.1	49.0	21.3	2.2	1.6	9.1	6.7	4.9	5.7	12.4	9.5	29.0	5.1	4.0	7.7	5.4	18.2	1.2	2.5
問38 人権に関する研修会・講演会への参加	ある(よく参加、時々参加)	298	33.6	22.5	23.8	51.0	25.5	2.3	1.3	11.1	7.0	3.4	5.4	12.4	7.7	29.9	6.7	4.0	7.4	5.7	18.8	0.7	2.0
	ない(参加なし、知らない)	318	33.0	25.2	27.4	48.7	18.2	2.2	1.9	7.9	6.9	6.0	6.0	12.3	11.6	32.1	3.1	4.4	8.8	3.8	18.6	1.6	1.3
	無記入	56	32.1	32.1	55.4	39.3	16.1	1.8	1.8	5.4	3.6	7.1	5.4	12.5	7.1	7.1	7.1	1.8	3.6	12.5	12.5	1.8	12.5
問41 広報ひたや市ホームページ等の「人権コラム」等の記事を読んだことがありますか	毎月読んでいる	64	29.7	28.1	28.1	53.1	26.6	3.1	1.6	9.4	4.7	3.1	1.6	9.4	7.8	26.6	7.8	1.6	9.4	3.1	9.4	3.1	1.6
	ときどき読んでいる	219	32.9	23.7	30.1	55.3	27.4	1.8	0.9	10.0	7.3	5.9	8.7	14.2	9.1	29.7	5.5	4.1	4.6	6.4	20.5	0.9	1.4
	知っているが、読んだことはない	107	30.8	27.1	24.3	45.8	20.6	0.9	1.9	5.6	9.3	1.9	5.6	13.1	10.3	36.4	5.6	4.7	5.6	4.7	27.1	0.0	1.9
	関心がないので、読んだことはない	68	26.5	16.2	23.5	41.2	16.2	2.9	2.9	13.2	1.5	4.4	2.9	14.7	8.8	23.5	4.4	5.9	4.4	5.9	13.2	0.0	2.9
	載っていることを知らない	164	43.3	26.8	22.6	49.4	15.9	3.7	2.4	9.1	8.5	6.1	5.5	9.1	11.6	33.5	3.0	4.9	15.2	3.0	17.1	1.8	1.8
	無記入	50	20.0	22.0	52.0	32.0	14.0	0.0	0.0	6.0	2.0	6.0	2.0	14.0	6.0	6.0	6.0	0.0	4.0	12.0	10.0	2.0	12.0

【集計結果】

- ・ どの人権問題に関心があるかについては、研修会等への参加の有無及び『人権コラム』等の購読の有無に限らず、「障がい者」「女性」「インターネット」「高齢者」と全体の数値をほぼ変わらない結果が出ています。
- ・ 人権問題のうち、「部落差別問題」に関心があると答えた人の全体は21.3%であるのに対し、研修会等への参加がある人は、25.5%、『人権コラム等』を毎月読んでいる人は26.6%、ときどき読んでいる人は27.4%と高い結果が出ている一方、研修会等への参加がない人は18.2%、『人権コラム等』に関心がないので読んだことがない人は16.2%、知らない人は15.9%と低いため、読んだことがない人や知らない人に対し、研修会への参加や『人権コラム等』の工夫などの取組が必要と言えます。

(クロス集計表 問3)

【問3】 次の人権に関する宣言や法律をどの程度知っていますか

各法律等 × 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

ア)世界人権宣言

		回答数	て内容 を知る 知っ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無回 答
全体		672	11.0	53.4	22.3	13.2
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	16.1	55.7	17.4	10.7
	ない(参加なし、知らない)	318	7.9	55.7	27.7	8.8
	無記入	56	1.8	28.6	17.9	51.8
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	25.0	48.4	9.4	17.2
	ときどき読んでいる	219	15.5	59.4	15.5	9.6
	知っているが、読んだことはない	107	8.4	59.8	20.6	11.2
	関心がないので、読んだことはない	68	0.0	51.5	39.7	8.8
	載っていることを知らない	164	7.3	54.3	29.9	8.5
	無記入	50	6.0	20.0	24.0	50.0

【集計結果】

・世界人権宣言の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では64.4%、研修会等への参加がある人」は71.8%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は73.4%、「ときどき読んでいる人」は74.9%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が22.3%あり、前回調査から4.4%上昇していることなどから、さらに啓発が必要です。

ウ)男女共同参画社会基本法

		回答数	て内容 を知る 知っ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無回 答
全体		672	23.1	42.6	20.7	13.7
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	31.5	44.0	14.4	10.1
	ない(参加なし、知らない)	318	18.9	43.7	28.0	9.4
	無記入	56	1.8	28.6	12.5	57.1
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	42.2	35.9	7.8	14.1
	ときどき読んでいる	219	28.3	46.6	13.7	11.4
	知っているが、読んだことはない	107	23.4	43.0	21.5	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	11.8	41.2	39.7	7.4
	載っていることを知らない	164	18.9	45.1	27.4	8.5
	無記入	50	4.0	26.0	18.0	52.0

【集計結果】

・男女共同参画社会基本法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では65.7%、「研修会等への参加がある人」は75.5%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は78.1%、「ときどき読んでいる人」は74.9%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が20.7%あることから、今後も継続的な法律の周知が必要です。

イ)日本国憲法

		回答数	て内容 を知る 知っ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無回 答
全体		672	41.5	45.1	2.5	10.9
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	49.3	40.6	2.3	7.7
	ない(参加なし、知らない)	318	39.6	51.3	2.2	6.9
	無記入	56	10.7	33.9	5.4	50.0
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	50.0	28.1	4.7	17.2
	ときどき読んでいる	219	51.6	39.3	1.8	7.3
	知っているが、読んだことはない	107	38.3	52.3	1.9	7.5
	関心がないので、読んだことはない	68	27.9	60.3	2.9	8.8
	載っていることを知らない	164	39.6	53.7	1.8	4.9
	無記入	50	18.0	28.0	6.0	48.0

【集計結果】

・日本国憲法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では86.6%、「研修会等への参加がある人」は89.9%で、高い水準となっています。前回調査と比較しても高い水準で推移していますが、憲法の根幹である「基本的人権の尊重」等について引き続き啓発に取り組むことが必要です。

エ)児童虐待の防止等に関する法律

		回答数	て内容 を知る 知っ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無回 答
全体		672	25.0	52.1	9.4	13.5
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	29.9	50.7	9.4	10.1
	ない(参加なし、知らない)	318	23.6	56.9	10.4	9.1
	無記入	56	7.1	32.1	3.6	57.1
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	32.8	50.0	4.7	12.5
	ときどき読んでいる	219	32.0	52.5	4.1	11.4
	知っているが、読んだことはない	107	23.4	54.2	10.3	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	19.1	48.5	23.5	8.8
	載っていることを知らない	164	20.1	59.1	13.4	7.3
	無記入	50	12.0	30.0	4.0	54.0

【集計結果】

・児童虐待の防止等に関する法律の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では77.1%、「研修会等への参加がある人」は80.6%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は82.8%、「ときどき読んでいる人」は84.5%と高くなっています。「名前も知らない」は、前回の結果から4.2%減少していることから、社会的関心の高さが要因と考えられます。

(クロス集計表 問3)

【問3】 次の人権に関する宣言や法律をどの程度知っていますか

各法律等 × 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

オ)高齢者虐待防止法

		回答数	て内容 るを知 つ	知 名 つ前 てだ いけ る	知 名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	18.0	40.8	27.2	14.0
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	22.1	45.0	22.1	10.7
	ない(参加なし、知らない)	318	16.0	40.3	34.6	9.1
	無記入	56	7.1	21.4	12.5	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	29.7	35.9	17.2	17.2
	ときどき読んでいる	219	23.3	48.9	16.4	11.4
	知っているが、読んだことはない	107	18.7	43.0	28.0	10.3
	関心がないので、読んだことはない	68	11.8	39.7	39.7	8.8
	載っていることを知らない	164	10.4	37.8	44.5	7.3
	無記入	50	12.0	18.0	12.0	58.0

【集計結果】

・高齢者虐待防止法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では58.8%、「研修会等への参加がある人」は67.1%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は65.6%、「ときどき読んでいる人」は72.2%となっており、前回調査と比較しても大きな変化は見られませんが、「名前も知らない」割合が27.2%あり、前回調査から5%上昇していることから、今後も継続的な法律の周知が必要です。

キ)人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

		回答数	て内容 るを知 つ	知 名 つ前 てだ いけ る	知 名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	8.2	35.9	40.6	15.3
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	13.1	43.3	30.9	12.8
	ない(参加なし、知らない)	318	4.7	32.4	52.8	10.1
	無記入	56	1.8	16.1	23.2	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	18.8	42.2	21.9	17.2
	ときどき読んでいる	219	11.9	47.0	28.3	12.8
	知っているが、読んだことはない	107	5.6	43.9	37.4	13.1
	関心がないので、読んだことはない	68	1.5	32.4	57.4	8.8
	載っていることを知らない	164	4.3	22.0	65.2	8.5
	無記入	50	6.0	12.0	22.0	60.0

【集計結果】

・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では44.1%、「研修会等への参加がある人」は56.4%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は61.0%、「ときどき読んでいる人」は58.9%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が40.6%あることから、今後も継続的な法律の周知が必要です。

カ)障害者基本法

		回答数	て内容 るを知 つ	知 名 つ前 てだ いけ る	知 名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	16.4	43.0	26.0	14.6
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	20.8	47.3	21.5	10.4
	ない(参加なし、知らない)	318	14.5	42.5	33.0	10.1
	無記入	56	3.6	23.2	10.7	62.5
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	31.3	39.1	14.1	15.6
	ときどき読んでいる	219	20.5	51.1	16.9	11.4
	知っているが、読んだことはない	107	12.1	45.8	29.0	13.1
	関心がないので、読んだことはない	68	7.4	42.6	41.2	8.8
	載っていることを知らない	164	13.4	39.6	38.4	8.5
	無記入	50	10.0	18.0	14.0	58.0

【集計結果】

・障害者基本法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では59.4%、「研修会等への参加がある人」は68.1%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は70.4%、「ときどき読んでいる人」は71.6%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が26.0%あることから、今後も継続的な法律の周知が必要です。

ク)障害者差別解消法

		回答数	て内容 るを知 つ	知 名 つ前 てだ いけ る	知 名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	10.0	34.5	41.7	13.8
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	13.4	39.6	36.6	10.4
	ない(参加なし、知らない)	318	13.4	39.6	36.6	10.4
	無記入	56	0.0	19.6	23.2	57.1
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	15.6	43.8	25.0	15.6
	ときどき読んでいる	219	13.7	41.6	32.9	11.9
	知っているが、読んだことはない	107	11.2	38.3	38.3	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	0.0	33.8	57.4	8.8
	載っていることを知らない	164	7.3	25.0	60.4	7.3
	無記入	50	6.0	16.0	26.0	52.0

【集計結果】

・障害者差別解消法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では44.5%、「研修会等への参加がある人」は53.0%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は59.4%、「ときどき読んでいる人」は55.3%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が41.7%あることから、今後もさらなる法律の周知が必要です。

(クロス集計表 問3)

【問3】 次の人権に関する宣言や法律をどの程度知っていますか

各法律等 × 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

ケ)ヘイトスピーチ解消法

		回答数	て内容 を知る つ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 なも い	無回 答
全体		672	7.0	33.3	45.8	13.8
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	10.1	38.6	40.9	10.4
	ない(参加なし、知らない)	318	5.0	32.1	53.8	9.1
	無記入	56	1.8	12.5	26.8	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	17.2	40.6	28.1	14.1
	ときどき読んでいる	219	7.8	40.2	40.2	11.9
	知っているが、読んだことはない	107	5.6	38.3	43.9	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	2.9	19.1	69.1	8.8
	載っていることを知らない	164	5.5	30.5	56.7	7.3
	無記入	50	4.0	12.0	30.0	54.0

【集計結果】

・ヘイトスピーチ解消法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では40.3%、「研修会等への参加がある人」は48.7%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は57.8%、「ときどき読んでいる人」は48.0%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が45.8%あることから、今後もさらなる法律の周知が必要です。

サ)水平社宣言

		回答数	て内容 を知る つ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 なも い	無回 答
全体		672	7.0	16.8	62.4	13.8
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	11.4	23.2	55.4	10.1
	ない(参加なし、知らない)	318	4.1	12.6	73.9	9.4
	無記入	56	0.0	7.1	33.9	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	14.1	23.4	48.4	14.1
	ときどき読んでいる	219	9.6	23.3	55.3	11.9
	知っているが、読んだことはない	107	4.7	18.7	64.5	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	0.0	5.9	85.3	8.8
	載っていることを知らない	164	6.1	12.8	73.8	7.3
	無記入	50	4.0	4.0	38.0	54.0

【集計結果】

・水平社宣言の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では23.8%、「研修会等への参加がある人」は34.6%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は37.5%、「ときどき読んでいる人」は32.9%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が62.4%あることから、継続的に水平社宣言を含めた部落差別解消の啓発推進が必要です。

コ)部落差別解消推進法

		回答数	て内容 を知る つ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 なも い	無回 答
全体		672	14.7	38.5	32.4	14.3
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	22.8	41.9	24.8	10.4
	ない(参加なし、知らない)	318	9.4	39.0	41.5	10.1
	無記入	56	1.8	17.9	21.4	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	23.4	45.3	15.6	15.6
	ときどき読んでいる	219	19.6	42.5	25.6	12.3
	知っているが、読んだことはない	107	15.0	43.0	28.0	14.0
	関心がないので、読んだことはない	68	5.9	36.8	48.5	8.8
	載っていることを知らない	164	9.8	33.5	49.4	7.3
	無記入	50	10.0	22.0	16.0	52.0

【集計結果】

・部落差別解消推進法の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では53.2%、「研修会等への参加がある人」は64.7%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は68.7%、「ときどき読んでいる人」は62.1%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が32.4%あることから、今後も継続的に法律の周知及び部落差別解消の啓発推進が必要です。

シ)同和対策審議会答申

		回答数	て内容 を知る つ	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 なも い	無回 答
全体		672	7.3	32.3	47.0	13.4
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	11.7	40.9	37.2	10.1
	ない(参加なし、知らない)	318	4.1	26.4	60.1	9.4
	無記入	56	1.8	19.7	25.0	53.6
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	20.3	37.5	29.7	12.5
	ときどき読んでいる	219	8.2	39.7	40.2	11.9
	知っているが、読んだことはない	107	4.7	38.3	44.9	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	0.0	26.5	63.2	10.3
	載っていることを知らない	164	5.5	22.0	65.2	7.3
	無記入	50	8.0	22.0	22.0	48.0

【集計結果】

・同和対策審議会答申の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では39.6%、「研修会等への参加がある人」は52.6%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は57.8%、「ときどき読んでいる人」は47.9%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が47.0%あることから、継続的に同和対策審議会答申の周知が必要です。

(クロス集計表 問3)

【問3】 次の人権に関する宣言や法律をどの程度知っていますか

各法律等 × 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

ス)人権週間＜12月4日～10日＞

		回答数	て内容 を知る 知	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	19.8	48.8	17.6	13.8
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	26.5	52.0	12.1	9.4
	ない(参加なし、知らない)	318	16.7	50.0	23.6	9.7
	無記入	56	1.8	25.0	12.5	60.7
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	37.5	43.8	4.7	14.1
	ときどき読んでいる	219	27.4	50.7	10.5	11.4
	知っているが、読んだことはない	107	19.6	53.3	15.9	11.2
	関心がないので、読んだことはない	68	5.9	55.9	25.0	13.2
	載っていることを知らない	164	12.2	50.6	29.9	7.3
	無記入	50	8.0	22.0	18.0	52.0

【集計結果】

・人権週間＜12月4日～10日＞の内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では68.6%、「研修会等への参加がある人」は78.5%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は81.3%、「ときどき読んでいる人」は78.1%と高くなっています。

ソ)日田市部落差別等をなくし人権を守る条例

		回答数	て内容 を知る 知	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	8.2	25.3	53.3	13.2
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	13.8	35.2	41.6	9.4
	ない(参加なし、知らない)	318	4.1	17.9	68.9	9.1
	無記入	56	1.8	14.3	26.8	57.1
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	18.8	42.2	25.0	14.1
	ときどき読んでいる	219	11.0	33.8	44.3	11.0
	知っているが、読んだことはない	107	9.3	28.0	50.5	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	1.5	26.5	64.7	7.4
	載っていることを知らない	164	2.4	10.4	79.9	7.3
	無記入	50	8.0	8.0	32.0	52.0

【集計結果】

・日田市部落差別等をなくし人権を守る条例の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では33.5%、「研修会等への参加がある人」は49.0%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は61.0%、「ときどき読んでいる人」は44.8%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が53.3%で前回同様半数を超えていることから、条例の周知を含めた情報発信が必要です。

セ)差別をなくす運動月間＜8月＞

		回答数	て内容 を知る 知	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	12.1	41.2	31.8	14.9
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	17.4	46.0	25.2	11.4
	ない(参加なし、知らない)	318	8.5	40.9	40.3	10.4
	無記入	56	3.6	17.9	19.6	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	21.9	45.3	14.1	18.8
	ときどき読んでいる	219	18.3	46.1	22.8	12.8
	知っているが、読んだことはない	107	11.2	49.5	26.2	13.1
	関心がないので、読んだことはない	68	4.4	44.1	39.7	11.8
	載っていることを知らない	164	4.9	33.5	54.3	7.3
	無記入	50	8.0	18.0	22.0	52.0

【集計結果】

・差別をなくす運動月間＜8月＞の内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では53.3%、「研修会等への参加がある人」は63.4%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は67.2%、「ときどき読んでいる人」は64.4%と高くなっていますが、「名前も知らない」は31.8%あることから、今後も周知方法検討を含め、積極的な情報発信が必要です。

タ)差別をなくす日田市民集会宣言文

		回答数	て内容 を知る 知	知名 つ前 てだ いける	知名 ら前 ない	無 回 答
全体		672	5.7	20.2	60.6	13.5
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	10.4	28.5	51.0	10.1
	ない(参加なし、知らない)	318	1.9	13.8	75.5	8.8
	無記入	56	1.8	12.5	26.8	58.9
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	14.1	28.1	43.8	14.1
	ときどき読んでいる	219	6.8	30.6	51.1	11.4
	知っているが、読んだことはない	107	5.6	23.4	58.9	12.1
	関心がないので、読んだことはない	68	1.5	13.2	76.5	8.8
	載っていることを知らない	164	3.0	6.7	83.5	6.7
	無記入	50	4.0	12.0	30.0	54.0

【集計結果】

・差別をなくす日田市民集会宣言文の「内容を知っている」「名前だけ知っている」を合わせると、全体では25.9%、「研修会等への参加がある人」は38.9%、「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は42.2%、「ときどき読んでいる人」は37.4%と高くなっていますが、「名前も知らない」割合が60.6%と高いことから、定期的な情報発信が必要です。

(クロス集計表 問5、問6))

【問5】 自分の人権が侵害されたと答えた人におたずねします。そのとき、あなたはどうしましたか。

× 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

		回答数	し相 た手 に 抗 議	相身 談近 しな た人 に	相相 談談 し機 た関 に	談弁 し護 た士 に 相	し警 た察 に 相 談	たも抗 し議 なも か相 つ談	そ の 他	無 回 答
全体		219	20.1	23.7	1.8	0.9	1.4	40.2	4.6	7.3
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	94	23.4	25.5	3.2	1.1	1.1	38.3	4.3	3.2
	ない(参加なし、知らない)	109	18.3	22.9	0.9	0.9	0.9	45.9	4.6	5.5
	無記入	16	12.5	18.8	0.0	0.0	6.3	12.5	6.3	43.8
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	28	17.9	35.7	3.6	7.1	0.0	21.4	3.6	10.7
	ときどき読んでいる	78	20.5	24.4	2.6	0.0	1.3	42.3	2.6	6.4
	知っているが、読んだことはない	35	20.0	28.0	0.0	0.0	0.0	45.7	5.7	0.0
	関心がないので、読んだことはない	13	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0	30.8	15.4	7.7
	載っていることを知らない	54	24.1	14.8	1.9	0.0	0.0	48.1	5.6	5.6
	無記入	11	0.0	18.2	0.0	0.0	18.2	27.3	0.0	36.4

【集計結果】

・全体的に「研修会等への参加がある人」及び「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」は、人権が侵害されたときに身近な人や相談機関等に相談した割合が高い傾向が見受けられます。

・「研修会等への参加がない人」や『人権コラム等』を載っていることを知らない人」は、「抗議も相談もしなかった」の回答が全体に比べて高い結果が出ています。
・人権侵害を受けた際に、適切な対応に繋げるために、相談機関等の周知等を含めた啓発活動が必要です。

【問6】 あなたは差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関(場所)があることを知っていますか。知っている機関(場所)を教えてください。

× 【問38】人権に関する研修会・講演会への参加＋【問41】広報「人権コラム」等

		回答数	法 務 局	委人 員権 擁 護	課県市 庁役 の所 担や 当	民N 間P 団O 体等 の	警 察 署	会へ弁 し弁護 護士 士	そ の 他	知 ら な い	未 回 答
全体		672	23.1	20.2	40.3	12.2	31.8	33.6	0.9	26.6	5.5
問38 人権に関する 研修会・講演会への 参加	ある(よく参加、時々参加)	298	30.9	30.5	49.0	15.1	34.6	35.2	0.7	20.5	3.4
	ない(参加なし、知らない)	318	16.4	12.3	34.9	11.0	31.4	36.2	1.3	33.0	3.1
	無記入	56	19.6	10.7	25.0	3.6	19.6	10.7	0.0	23.2	30.4
問41 広報ひたや市 ホームページ等の「人 権コラム」等の記事を 読んだことがあります か	毎月読んでいる	64	40.6	32.8	54.7	18.8	37.5	40.6	6.3	10.9	7.8
	ときどき読んでいる	219	31.1	32.0	50.2	17.8	33.8	36.5	0.0	16.4	3.7
	知っているが、読んだことはない	107	18.7	21.5	42.1	11.2	33.6	41.1	0.9	26.2	1.9
	関心がないので、読んだことはない	68	17.6	10.3	33.8	7.4	27.9	33.8	0.0	35.3	4.4
	載っていることを知らない	164	10.4	5.5	26.2	7.9	30.5	28.7	0.6	44.5	2.4
	無記入	50	24.0	12.0	30.0	2.0	22.0	12.0	0.0	22.0	30.0

【集計結果】

・「研修会等への参加がある人」及び「『人権コラム等』を毎月読んでいる人」「ときどき読んでいる人」は、人権侵害を受けた場合の相談機関を知っている割合が高くなっていますが、「研修会等への参加がない人」や『人権コラム等』を載っていることを知らない人」は、「知らない」の回答が高く出ています。

・全体的にすべての相談機関の認知度が低いようですので、相談機関の周知を含めた人権啓発活動が必要です。

～～平成 28 年に施行された法律～～

（１）「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

略称：「障害者差別解消法」

（平成 28 年 4 月 1 日施行）

【法律の概要】

この法律は、「障がい」を理由とする差別」をなくし、すべての人が障がいの有無にかかわらず、ともに生活できる「共生社会」をつくることを目的としています。

「共生社会」の実現には、日常生活や社会生活における障がい者の活動を制限し、社会参加を制約している社会的障壁を取り除くことが重要です。社会的障壁とは、障がい者が利用しにくい施設や設備及び制度、さらに障がい者の参加を意識していない慣習や文化、障がい者への偏見などを指します。

また、行政機関や民間事業者は、障がい者に対し、正当な理由もなく、障がい者を理由として、区別や排除、制限するなど、**不当な差別的取扱いをすることを禁止**しています。

さらに、行政機関や事業者が、事務や事業を行うにあたり、障がい者が社会的障壁を取り除くことを希望した場合、その実施に伴う負担が過重でないときは、状況に応じた**合理的配慮の提供**が求められます。例えば、車いすでの移動の手助けや公共施設のバリアフリー化、筆談などがあります。

（２）「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」

（平成 28 年 6 月 3 日施行）

【法律の概要】

特定の民族や国籍の人々を排除する差別的言動（ヘイトスピーチ）は、人としての尊厳を傷つけ、該当者や周囲の人に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく差別意識を生じさせることにつながりかねません。

この法律では、このような差別的言動の解消に向けた取組についての基本的理念を定め、国等の責務を明らかにしています。そのうえで、国や地方自治体等は国民に対し、「不当な差別的言動は許されない」ということを周知し、差別的言動の解消に向けた人権教育や啓発の取組の推進や相談体制の整備を明記しています。

（３）「部落差別の解消の推進に関する法律」

（平成 28 年 12 月 16 日施行）

【法律の概要】

この法律は、現在もなお部落差別が存在し、部落差別が許されないものであるとの認識のもとに、部落差別の解消の必要性について、国民の理解を深めるよう努めることにより、**部落差別のない社会を実現することを目的**としています。

その中で、国や地方自治体の責務として、部落差別の解消を実現するために「相談体制の充実」、「教育・啓発の推進」、「部落差別の実態調査」に取り組んでいくことを明記しています。

差別をなくす日田市民集会 宣言文

わたくしたちすべての市民は、日本国憲法が保障する基本的人権を享有し、一人ひとりが自分らしく幸せに生きていくことを願うものです。しかし、この願いや思いに反し、今なお許すことのできない差別が人々を傷つけ、苦しめています。

わたくしたちは、人権教育や人権啓発をすすめて、同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくすために努めてきましたが、今なお差別が存在することから、今一度、市民一人ひとりの力を結集し、あらゆる差別に立ち向かい、人権が尊重される、明るく差別のない日田市をめざして、次のことを宣言します。

わたくしたちは、この日田市からあらゆる差別をなくすため、

- 一. 一人ひとりの基本的人権を永久の権利として尊重します。
- 一. 一人ひとりが、お互いに尊重しあえる地域づくりに努めます。
- 一. 人権意識の高揚に努め、差別を許さない輪を広げます。

平成22年7月12日

差別をなくす日田市民集会

人 権 に 関 す る 市 民 意 識 調 査 報 告 書

令和4年3月 発行

編集・発行者 日田市 市民環境部 人権・部落差別解消推進課
〒877-8601 日田市田島2丁目6番1号
電話 (0973)22-8017
FAX (0973)22-8259
メール jinkensuisin@city.hita.oita.jp

印刷所 カワハラ企画
〒877-1365 日田市大字有田315番地4
電話 (0973)22-1241
